

# DAILY<sup>®</sup> TRAINING PAPER<sup>(特許出願中)</sup>

# PROGRAM

## 高校入試60日間デイリープログラム

中学3年

国語(見本)

No. 1

合格必修 45 日間

第 1 日～第 15 日 (解答は別冊)

12月10日(第1日)	説明的文章(1)/指示する語句 …………… 6 漢字/頻度順 1~20 言葉/熟語の構成①
12月11日(第2日)	説明的文章(2)/語句の意味 …………… 14 漢字/頻度順 21~40 言葉/熟語の構成②
12月12日(第3日)	説明的文章(3)/接続する語句 …………… 22 漢字/頻度順 41~60 言葉/熟語の構成③
12月13日(第4日)	説明的文章(4)/語句や文の補充 …………… 30 漢字/頻度順 61~80 言葉/熟語の構成④
12月14日(第5日)	説明的文章(5)/理由吟味 …………… 38 漢字/頻度順 81~100 言葉/四字熟語①
12月15日(第6日)	説明的文章(6)/具体内容 …………… 46 漢字/頻度順 101~120 言葉/四字熟語②
12月16日(第7日)	説明的文章(7)/対応・対立関係 …………… 54 漢字/頻度順 121~140 言葉/四字熟語③
12月17日(第8日)	説明的文章(8)/段落内容・要点 …………… 62 漢字/頻度順 141~160 言葉/四字熟語④
12月18日(第9日)	説明的文章(9)/文章構成 …………… 70 漢字/頻度順 161~180 言葉/四字熟語⑤
12月19日(第10日)	説明的文章(10)/要旨 …………… 78 漢字/頻度順 181~200 言葉/慣用句①
12月21日(第11日)	文学史(1)/奈良~江戸時代の文学 …………… 86 漢字/頻度順 201~220 言葉/慣用句②
12月22日(第12日)	文学史(2)/明治・大正・昭和の文学 …………… 94 漢字/頻度順 221~240 言葉/慣用句③
12月23日(第13日)	文学史(3)/総合 …………… 102 漢字/頻度順 241~260 言葉/慣用句④
12月24日(第14日)	作文(1)/課題作文の基本 …………… 110 漢字/頻度順 261~280 言葉/慣用句⑤
12月25日(第15日)	第1日~第14日の総合/総合テスト …………… 118

60日分のデイリープログラムの第1巻です。

うーん、こんなにやれるかな……？

というのが、正直なところではないでしょうか。

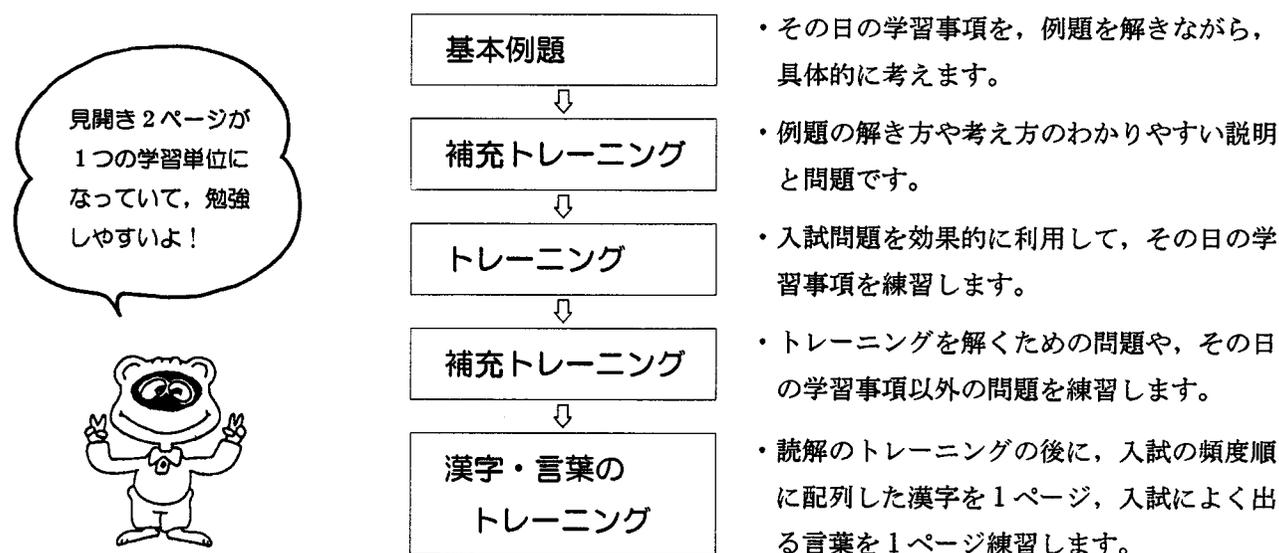
でも、やるのです。やれるはずですよ。——デイリープログラムでは、一日の分量が決まっています。一日分は、50分程度で終わる量です。それを順にやっていけば、必ず成果があがるようになっていきます。

これだったら、やれますね。やるのです。約束！

過去10数年間の高校入試を分析し、その結果をもとにどう学習すればいいかを考えて作ってあります。安心してデイリープログラムで学習を進めましょう。下段の説明と2～4ページにさっと目をとおしてから、さっそく始めましょう。

教育社 国語デイリープログラム編集部

◎ 第1巻の一日分は、次のような構成になっています。



◎ 第1巻から第4巻の構成は、次のようになっています。

合格必修45日間		合格完成15日間	
<b>第1巻</b>	<b>第2巻</b>	<b>第3巻</b>	<b>第4巻</b>
• 説明的文章の読解 10日 • 文学史 3日 • 作文 1日 • 総合テスト 1日	• 文学的文章の読解 8日 • 文法 5日 • 作文 1日 • 総合テスト 1日	• 詩・短歌・俳句 5日 • 古文・漢文 8日 • 作文 1日 • 総合テスト 1日	• 総合問題 11日 • 模擬テスト 4回

◎ 漢字や言葉、それに文法の識別問題は、テスト以外の各日の最後で学習します。

# 入試問題なんかこわくない

今からどんなふうに入試を勉強するか

## ◆これからでも、国語の力はアップする

国語の問題には答えられるが、解答に確信がもてず、勉強方法もわからない、いままさら勉強しても効果がないなど思っているあなた！  
そうではありません。

このデイリープログラムを使って一日一日確実に学習すれば、これからでも、国語の力はアップします。以下の説明を読めば、納得するはずですよ。

第 7 日  
12月16日

### 説明的文章(7) 対応・対立関係

あまこととあることを対比しながら説明していくというのは、説明的文章の典型的な構図パターンの一つです。何と何を対比しているか、どのような事柄とどのような事柄が対比しているかに注意しながら文章を読み進めていきましょう。

#### 基本例題

▼ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

文章を書くのは難しいが、しよべるのは何でもない。そう思っている人がすくなくないが、誤解である。名文を書くのなら別だが、とにかく書くというのなら、話すよりもとやさしい。書きそなえは直すことができる。推敲という手もある。時間がかげられるのである。たゞが、口から出たことばは、しまった、と思ふときはもう手遅れ。とり直すことができない。それで、ひとこと多いと口をきかされる人間がたくさんでしてしまふ。

天子のことは一度口から出たが最後とり消すことができない。それを、「論旨汗の」として、出た汗はひっこまない、とたとえた。しかし、話すことは汗のようなものであるのは、何も王侯に限ったことではない。のびわかれたの日本の金胎もすべてこれ、汗でなものはない。そう思えば、話なんか……などとは言つていられなくなる。

である。おもしろいことに、どうも散文を書く方が詩よりも難しいらしい。やはり、必ず詩を書く、と誓うとたいへんなことのようにだが、散文を書くのなら、だれにでもできよう。おもしろいことに、詩を書く方が詩よりも難しいらしい。やはり、必ず詩を書く、と誓うとたいへんなことのようにだが、散文を書くのなら、だれにでもできよう。おもしろいことに、どうも散文を書く方が詩よりも難しいらしい。やはり、必ず詩を書く、と誓うとたいへんなことのようにだが、散文を書くのなら、だれにでもできよう。おもしろいことに、どうも散文を書く方が詩よりも難しいらしい。やはり、必ず詩を書く、と誓うとたいへんなことのようにだが、散文を書くのなら、だれにでもできよう。

#### ◆語句法令

- 天子……
- 論旨……
- 散文……
- 名文……

#### 補充トレーニング

(4) 上の文章の対応・対立関係を、表にまとめます。後の1-4の問いに答えて、次の表を完成させなさい。

文章	対応
○(見)⑤	○(見)⑥
○(見)⑥	○(見)⑦
○(見)⑦	○(見)⑧
○(見)⑧	○(見)⑨
○(見)⑨	○(見)⑩

## ◎ 国語の入試では、読解力と基礎学力が試される

読解力は、文章の内容を正確に読み取る力です。基礎学力とは、漢字や言葉、あるいは文法などの力です。どういうふうに入試を勉強すれば、二つの力がつくのでしょうか。デイリープログラムの学習方法とあわせて説明します。

### ① 読解は、入試に必ず出題される

読解は、入試に必ず出題されますから、百パーセントの出題率といえます。では、これからの短期間で読解力をつけるためには、どうしたらよいでしょう。

それには、漫然と入試問題などの長文に取り組むのではなく、目標を決めて取り組むのが効果的です。この学習方法をとっているのがデイリープログラムです。

具体的に第1巻の説明的文章の目標を見てみましょう。

【説明的文章の目標】 第1巻	目標	割合
第1日……指示する語句	(8%)	
第2日……語句の意味	(6%)	
第3日……接続する語句	(5%)	
第4日……語句や文の補充	(22%)	
第5日……理由吟味		
第6日……具体内容	(37%)	
第7日……対応・対立関係		
第8日……段落内容・要点	(3%)	
第9日……文章構成	(4%)	
第10日……要旨	(7%)	



読解のテクニックは、この練習で確実に身につきます。読解力をアップさせる独特の学習法です。

国語のデイリープログラムでは、こうした目標にそった基本例題(Ⅱ入試問題)を解き、補充トレーニングで基本例題の解き方を学習し、さらにトレーニングで学習をくり返すのです。

◆右の見本について

目標は、文章の中で、どことどこが同じことを述べているのか(Ⅱ対応関係)、どことどこが対立したことを述べているのか(Ⅱ対立関係)をつかむことです。

●筆者は、自分の考えをわかりやすく、正確に伝えるために、このような言いかえや、対立を使っているのです。対応・対立関係をつかむことによって、筆者の意図が正確につかめるわけです。

①文章と会話についても、ほぼ同じことが言えるのはあるまいか。文章術の方が先に成立する。いかにもやさしそうな会話が実はたいへんやっかいなものであることは、文章術がかなり高度の段階に達した時件になってもなお、一般によく理解されない。

文章を書かせる時、すばらしい名文をもつものに、実にあわれな話しかできないという例はいくつもある。文章上達もやさしいことではないが、話し方がうまくなるには、それ以上の長い時間がかかるようだ。

(外山雄三「吉」は「吉」)

(1) 対応・対立関係 ①で、筆者は、われわれの日常の会話を汗だと言っています。それは、話すことばのどのような性質と、汗のどのような性質とが対応するからですか。それぞれの性質を書きなさい。ただし、それぞれ十五字以内とします。

1 話すことばの性質

2 汗の性質

(2) 対応・対立関係 ②は、筆者が自分の考えを展開するうえでつけた条件です。筆者は、これと似た条件を、最初の段落の中でも用いています。最初の段落の中で用いている条件とは何ですか。それに当たる部分を抜き出さないさい。

(3) 対応・対立関係 ③④の中の「文章」に相当する例を、直前の段落の中から探すとすれば、何をあげるのが最も適切ですか。本文中の(ア)～(イ)の中から一つを選び、記号で答えなさい。

1 ( )に、「文章」と対立する漢字二つの語句を書き入れなさい。

2 (ア)～(イ)の( )に、「難しい」「やさしい」のうち、適切な方を書き入れなさい。

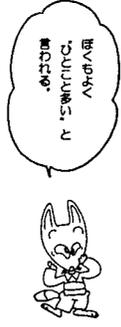
3 第二段落では、( )を何にたとえて表現していますか。(ア) (イ)に書き入れなさい。

4 上の( )は、これを効果させようとする問題です。

4 第三段落、第四段落では、何と何を対比して説明していますか。それぞれ漢字二つで抜き出し、「文章」と対応する方法を(ア)～(イ)の( )と対応する方を( )に書き入れなさい。

「文章」は「やさしい」「やさしい」

「文章」は「やさしい」「やさしい」



①( )の中の数字は、入試に出た説明的文章の中で、それに關した設問が占める割合です。(小数点以下四捨五入)ここにあげた数字を合計すると、92パーセントになり、残りは1パーセント未満のものばかりです。ただし、漢字や言葉、文法など、基礎学力に關するものは除外してあります。

このデータは、教育社デイリープログラム編集部が、過去10数年間の入試を分析した資料に基づくものです。

目標の意味がわからないものもあると思いますが、それは学習日の説明を読めばわかります。

こうした目標にそった設問を解くことによって、同じ種類の設問を解く考え方が身につきます。つまり、出題意図を理解し、その解き方のテクニックを身につける学習方法といつてよいでしょう。

この方法で学習することによって、読解力がつき、確実に合格レベルまで得点アップを図ることができます。

デイリープログラムの第1巻の読解は、説明的文章です。説明的文章は苦手だ、と思う人はたくさんいるはずですが。説明的文章は、重たいし、読む機会も少ないからでしょう。ですから、説明的文章が征服できれば、読解で差をつけることができます。第1巻の説明的文章を確実にこなせば、第2巻の小説や物語などの文学的文章は軽いはずで、一日一日確実にやってください。

ポイント 第1巻の第1日～第10日の説明的文章をやり終えれば読解の三分の二は終わりと考えてよい。

② 文学史は、入試によく出題されるものが大体決まっている

高校入試に出題された文学史のベスト5は、次の作品、人物です。

〔古典〕 ① 松尾芭蕉 ② 枕草子 ③ 徒然草

④ 万葉集 ⑤ 平家物語

〔近代〕 ① 夏目漱石 ② 森鷗外 ③ 島崎藤村

④ 芥川龍之介 ⑤ 高村光太郎

〔教育社デイリープログラム編集部入試分析資料より〕

入試の調査結果をふまえ、文学史で必ず覚えなければならぬものを重点的に学習するのが、デイリープログラムの学習方法です。

次の見本をやってもらいなさい。よくわかるはずです。

**基本例題**

(1) 次から適切な人名を選び、( ) に記入して、文学史の表を完成しなさい。

時代	ジャンル	作品名	作者名	など
鎌倉時代	随筆	徒然草	著者…①	( )
江戸時代	随筆	方丈記	著者…②	( )

**トレーニング**

④ 徒然草の作者名を書きなさい。

(大分県ほち)

④ 次の①～⑤のうち、徒然草に当てはまるものはどれですか。正しく組み合わされているものを表の( )から選びなさい。

① 平安時代	② 鎌倉・室町時代	③ 江戸時代	( ) 京師( )
④ 物語	⑤ 随筆	⑥ 紀行	
⑦ 清少納言	⑧ 吉田兼好	⑨ 松尾芭蕉	

(第11日より・一部省略)

- ① 基本例題で、覚える必要のあるものを学習します。これだけを覚えておけば入試問題も解けます。この後、トレーニングで入試問題をくり返し練習します。
- ② 覚えるべきポイントが明確なので、学習しやすいはずです。また、過去のデータに基づいた学習ですから、安心して取り組んでください。

③ 漢字と言葉は、何らかの形で必ず出題される

デイリープログラムでは、これらの力を効率的に養うために、次のような学習方法をとっています。

- 1 漢字……過去10数年間の出題結果(教育社調査)から、入試によく出たものから順に学習します。
- 2 言葉……入試によく出るものを重点的に学習します。

**漢字と言葉**

① 漢字の学習方法

漢字の学習は、毎日20分ずつ行います。第1巻で読み書きをそれぞれ280、第4巻までで合計1280を練習します。これだけ練習すれば、漢字は安心です。

② 言葉の学習方法

言葉の学習は、上の文学史と同じ学習方法をとっています。第1巻では、熟語の構成、四字熟語、慣用句について学習します。

◆ 漢字の学習方法

漢字の学習は、毎日20分ずつ行います。第1巻で読み書きをそれぞれ280、第4巻までで合計1280を練習します。これだけ練習すれば、漢字は安心です。

◆ 言葉の学習方法

言葉の学習は、上の文学史と同じ学習方法をとっています。第1巻では、熟語の構成、四字熟語、慣用句について学習します。

- ① 漢字は、巻末の総合テストを除いて、読み書きを毎日それぞれ20ずつ学習します。第1巻で読み書きをそれぞれ280、第4巻までで合計1280を練習します。これだけ練習すれば、漢字は安心です。
- ② 言葉は、上の文学史と同じ学習方法をとっています。第1巻では、熟語の構成、四字熟語、慣用句について学習します。

ポイント 文学史は、覚えるべきポイントを決めて学習する。

ポイント 漢字と言葉は、毎日20分ずつ確実に自分の力で学習する。

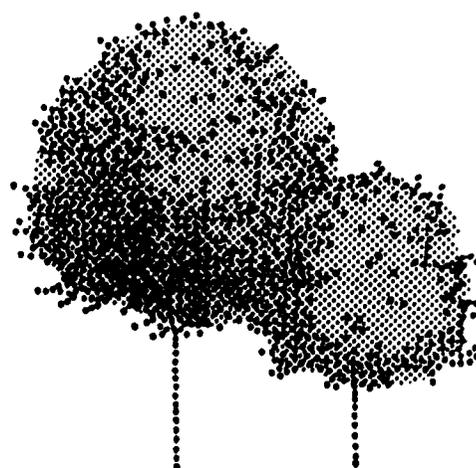
# 合格必修 45 日間

## 〈第1日～第15日〉

第1日～第10日……………説明的文章  
第11日～第13日……………文学史  
第14日……………作文  
第15日……………総合テスト

---

第1日～第14日の後には、入試の頻度順の漢字と熟語の構成などの言葉の学習ページがあります。



第 1 日

12月10日

説明的文章 (1)

### 指示する語句

指示する語句に関する問題は、高校入試によく出題されます。読解の基本となる事柄ですから、確実に解けるようにしておきましょう。

### 基本例題

■ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔長崎県〕

日本人は他人に贈り物をする際、それをまず奇麗な紙で包み、更にその上を風呂敷ふろしきで包んで持参するのを常としたと思われる。もともと、贈り物を包むことだけなら必ずしも日本人だけとは限るまいが、①これを実際に相手に渡す時に口にする挨拶あいさつはかなり日本人に独特であったと思われる。というのは、渡す側は「これはほんとにおしるしです」とか、「つまらぬものですが」といい、中に何が入っているかは明かさなかつた。受け取る側も「そんなにお心遣いして頂いて」とか何とか礼はいうが、中に何が入っているかは決してその場で聞こうとせず、まして客がいる前で包みを開けたりはしなかつた。

私は昔、子供心に②このことを大変いぶかしく思った記憶がある。恐らく客がなかなか帰らず、折角せつかくもらつてもすぐに開けて見られないので、もどかしく思ったのだろうが、そんなわけで戦後間もなく渡米して、アメリカ人が贈り物をもらうとすぐその場で開けるのを知りびっくりするとともに、③この方が合理的ではるかによいと思つたものである。

しかしこの頃ころになつてようやく日本の従来の習慣じゆんぐわんに捨て難い良さがあると思ふようになった。なぜなら物を贈るのは心を贈るので、物は心のしるしに過ぎない。だから心が肉体に包まれて外からは見えないように贈り物も念入りに包まれねばならぬ。

またそうであればこそ受け取つた贈り物をすぐその場で開けて中を見るのは心なき業わざということになる。そうすることはあたかも相手の心のしるしとして贈り物を受け取るのではなく、中の品物だけが目当てであるような印象を与えかねないからである。

### 補充トレーニング

指示する語句

指示する語句は、前後に述べられた内容を簡潔にまとめ指し示す語句です。文脈を把握したうえで、指している内容を明らかにしましょう。

(2) ①「これ」は何を指していますか。文中から三字で書き抜きなさい。

-----  
-----  
-----

(3) ②「このこと」の表す内容として、最も適切なものを、次の(ア)～(イ)の中から一つ選びなさい。

- (ア) 贈り物を奇麗な紙や風呂敷で包むこと。
- (イ) 贈り物を渡すときに、挨拶の言葉を口にする事。
- (ウ) 贈り物をもらつても、その場では開けないこと。
- (エ) 贈り物をすぐその場で開けて見ること。

③「このこと」は、筆者が子供の頃に経験したことですね。



トレーニング

下の補充トレーニングは、発展問題です。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔埼玉県〕

①春と夏、われわれを楽しませてくれるキアゲハの幼虫は、セリ科植物のニンジン、ミツバ、パセリ、セロリなどの栽培植物につく、緑と黒のしまのあるイモムシだ。②この派手な幼虫は、大部分のヒトが気味悪がる。ミカンにつけば、またあまりよい虫とはいわれない。このかぎりでは、私たちが親しんでいるチョウだって、害虫と呼ばれる資格は十分あるのである。だいたいヒトの思わくとは別のところに、本来の昆虫の世界がある。彼らにとって、それは厳しい自然なのである。③その中でなんとか生きつづけなければならぬのだ。

〔奥井一満「悪者にされた虫たち」へなぜ害虫なのか〕より〕

(1)\* 「指示する語句」——「それ」は何を指していますか。——「それ」にあたる語句を文章中から探して、本文どおりに八文字で書き抜きなさい。

Five empty boxes for writing answers to question 1.

補充トレーニング

ほかの指示する語句の内容も考えましょう。

(2) 【指示する語句】——②「この派手な幼虫」は何を指していますか。本文どおりに七文字で書き抜きなさい。

Five empty boxes for writing answers to question 2.

(3) 【指示する語句】——③「その中」は何を指していますか。文章中の語句を使って答えなさい。

Two empty boxes for writing answers to question 3.

④「〜の中」という形で答えなさい。

文の組み立てに関する問題も出題されています。

(4)\* 【文の組み立て】——①「春と夏、われわれを楽しませてくれるキアゲハの幼虫は、セリ科植物のニンジン、ミツバ、パセリ、セロリなどの栽培植物につく、緑と黒のしまのあるイモムシだ。」の文の主語と述語をそれぞれ一文節で書き抜きなさい。

主語 [ ]

述語 [ ]

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔茨城県〕

われわれが文章を読んで理解するというとき、それは結局、自分のもっているものさしによってわかるということをしているにすぎないといえるでしょう。早い話が、

彼女の端麗な横顔に、一まつのうれいのかげりがあった。

という文を読むとき、われわれは、ひとりの女性の顔を思いえがこうとするでしょう。そのとき浮かんでくるものは、なんとかさんという女優に似た顔であるかもしれません。いつかホテルのロビーで見たひとりの女性に似た顔であるかもしれません。あるいは、雑誌の口絵かなにかで見た美しい人の顔かもしれません。あるいはまた、自分が空想的に構成しているひとりの美女の顔かもしれません。だが、いずれにしても、それは自分のもっている美女の顔であり、①それ以外のものではないのです。だから、②これがその「彼女」なのだといって、現実はその女性の前に立たされたときは、おおかた、いだいていたイメージがずいぶんちがったものであったことを発見させられるはずです。

われわれは、自分のもつ内容しか読むことができない。読むとは結局自分を読むことである、ということができなのです。読み手の経験量や経験領域が読み方を決定するともいえるわけです。

（大石初太郎「読むということ」より）

◆語句と表現◆

○一まつのうれいのかげり＝やや心配そうな表情。

(1) 【指示する語句】 ①「それ」、②「これ」は、何を指しますか。それぞれ十

五字以内にまとめて書きなさい。

①	②

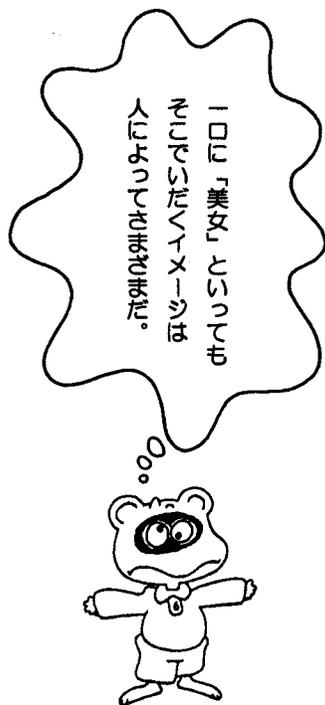
補充トレーニング

ほかの入試問題も解いてみましょう。

(2) 【具体内容】 ……「自分のもっているものさし」と

ありますが、その内容を示している部分を文章の中からそのまま抜き出して書きなさい。

「



4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔静岡県〕

思い、考えるということには陰鬱感いんうつがつきまといがちである。日本語の「思案」ということばにしてもそうだ。それには、働きとしての「思いめぐらすこと、考えること」のほか、**「心配、もの思い」といった意味があり、「思案に暮れる」とか「思案投げ首」とか**という言いまわしが、**あとの方**の意味で使われている。

〔中村雄二郎「哲学の現在」より〕

(1)\* 【指示する語句】「あとの方」は、本文中のどのことばを指していますか。抜き出しなさい。

「 」

5 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔福島県〕

先日、ラジオを聞いていたら、平城宮を発掘している考古学の先生が、こんなことを言っておられた。天平時代てんひやうにつけた道と、現在土地開発で造った新道は、掘ってみるとはかrazuも一致しているという。人間は、幸か不幸か、そう変わったことはできないのではないか。だから道にはずれるとか、道を踏みはずすことはまずいのである。『古事記』や『日本書紀』をひもとくと、そのころの人々は道に「美知」の字を当てているが、単なる思いつきではあるまい。美しいものを知る、あるいは知ることが美しい、どちらに解してもいいが、おそらく古代人がみちというとき、それは字引に書いてあるような道ではなかったにちがいない。

〔白洲正子「道」より〕

(1)\* 【指示する語句】「で、考古学の先生が言った「こんなこと」に当たる部分のはじめと終わりの四字を書きなさい。(句読点は含まない。)

はじめ

-----

終わり

-----

補充トレーニング

(2) 【指示する語句】「それ」が指すことばを本文中から抜き出しなさい。

「 」

(3) 【具体内容】本文の「思案」の意味を、出てきた順に二つ、本文中から抜き出しなさい。

前の方 「 」

あとの方 「 」

補充トレーニング

(2) 【指示する語句】「それ」は何を指しますか。本文中のことばを使って答えなさい。

「 」

● 本文のままだと「それ」に当てはめるとき、うまくつながらないので、つながりのいいようにまとめます。

カンタン。カンタン！



引用範囲が短いと、指示する語句をつかむのも楽ですね。ですから、長文になったときは、自分の頭で内容を分けて考えるようにします。



漢字／頻度順 一～二〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

□(1) 凝視 □(2) 納得 □(3) 促す

□(4) 募る □(5) 潜む □(6) 潤う

□(7) 克服 □(8) 凝る □(9) 妨げる

□(10) 乏しい □(11) 営む □(12) 汚染

□(13) 詳しい □(14) 貢献 □(15) 巧み

□(16) 伴う □(17) 陥る □(18) 費やす

□(19) 戒める □(20) 穏やか

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

□(1) この問題はなかなかよくに解けない。

□(2) 兄は大学で哲学をせんもんに勉強している。

□(3) ふくざつな迷路をくぐり抜ける。

□(4) 父は農業をいとなんでいる。

--	--	--	--

□(5) お祝いの花をとどける。

□(6) 受験にそなえて勉強する。

□(7) チョウウの成長かていを観察する。

□(8) なつとくがいく説明を求める。

□(9) 一刻も早く平和な時代がおとずれてほしい。

□(10) 早寝早起のしゅうかんをつける。

□(11) 新製品の開発には、そうぞう性が必要だ。

□(12) この調査のたいしょうは、中学生です。

□(13) 銀行にお金をあずける。

□(14) きけんを冒して旅に出る。

□(15) 体重が三キロへった。

□(16) こころよい春の風が吹いてきた。

□(17) 菜っ葉を包丁できざむ。

□(18) 母が家計をささえている。

□(19) 図書館から本をかりる。

□(20) 結婚式の披露宴に恩師をしようたいする。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

上の□□□□□□□□□□  
でまななかつたものは完全に  
覚えるまで練習しよう。



◆ 言葉／熟語の構成 ①

チェックしよう

漢字どうしがどのように結びついて熟語をつくっているのかを考えます。熟語の構成を考えるために大切な基礎です。

■ 次の問いに答えなさい。

- (1) ①・②は似た意味、③・④は反対の意味の漢字を後から選んで□に記入し、熟語を作りなさい。

① 善 □ ② 救 □ ③ □ ④ 暗 □ ④ 有 □  
 へ 無 害 命 助 明 示 悪 良 へ

- (2) □に適切な漢字を記入し、次の熟語を構成している漢字の関係を示しなさい。

① 海水 ↓ □ の □  
③ 着席 ↓ 席に □ く □  
② 必要 ↓ □ ず □  
④ 国营 ↓ □ が □  
 □ る □

- (3) 次の熟語を構成している漢字のうち、接頭語、または接尾語的に意味を添えている漢字を○で囲みなさい。

① 無色                    ② 未来                    ③ 不公平  
④ 詩的                    ⑤ 整然                    ⑥ 創造性

トレーニング

\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

- ②\* 次の漢字と、対立する意味を持つ漢字または同じような意味を持つ漢字を、それぞれ一字ずつ後のへくから選び、圓にならって、二字の熟語を作りなさい。  
 (石川県)

圓 近 へ 遠 近 へ 守 へ 守 護 へ  
 (1) 道 へ (2) 愛 へ  
 (3) 失 へ (4) 大 へ  
 へ 格 車 得 望 少 憎 国 巨 路 着 遠 護 へ

- ③\* 「執筆」という語を、組み立てに注意して読書へ書を読むくのような形に直して四字で書きなさい。  
 (秋田県)

□ □ □ □

- ④\* 「無自覚」は「自覚」ということばのうえに「無」という否定の意味をもつ漢字がついてできた熟語です。次の□それぞれにあてはまる否定の意味をもつ漢字を一字ずつ書き入れて、三字の熟語にしなさい。  
 (大阪府)

(1) □ 常識                    (2) □ 本意                    (3) □ 完成                    (4) □ 理解

漢字の意味がわかっていたら、熟語の構成なんて簡単さ！



答え合わせを忘れずに。

第 2 日

12月 11日

説明的文章 (2)

語句の意味

- 1 語句の意味や類義語を選択させる問題
  - 2 語句の意味や類義語を本文から書き抜かせる問題
  - 3 語句の意味や類義語を書かせる問題
  - 4 語句の使い方を問う問題
- 今日は、入試によく出題される1・2・4について学習します。

基本例題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔福井県〕

(この文章は、「タッチ」という言葉について述べたものです。)

コマーションなどでは、タッチに「さわやか」とか「軽やか」「しなやか」などの語をつけた表現がよく目につく。さらに、「タッチ」の日本語的表現を含めると、「ふれあいの街」「ふれあい広場」といった言葉が好んで使われている。いずれの使い方においても、「タッチ」にはもっとすすめるべきもの、もっと強調すべきものであるという気持ちが込められている。ここには、私たちが失ってきたもの、なおざりにしてきたものを再発見し、回復したいという願いをみてとることができる。

私たちはこれまで、豊かさや便利さを求めて①一直線に走ってきたわけだが、今、それが一定の満足した段階に達して、何かから遠く離れてきてしまったという想いに駆られるようになってきた。都市化が進行し、科学技術が急速な発展を示し、情報化が進展している中で、私たちの生活は便利にもなり快適にもなった。長寿も世界一を達成するまでに変わった。そんな中で、何かから離され切り離されているという気持ちが強くなりつつあるように思われる。

それでは、私たちは一体何かから離れてしまったというのだろうか。まず自然である。都市生活の中では、きれいな空気、きれいな水、きれいな川が遠ざかってしまった。緑化運動が進められているとはいえ、まだまだ緑は少ない。そのうえに、小鳥や昆虫が舞い戻るまでには②道は長く険しい。情報化の進展で、職場にロボットが導入されると、これまで

補充トレーニング

語句の意味や使い方を考えましょう。

すでに身につけている知識をもとに、前後の文脈に即して、語句の意味を考えます。

パターンごとに、解き方を示しておきましょう。

● 語句の意味や類義語を選択させる問題

上段(1)がこれにあたります。――①の代わりに(ア)～(エ)の語句をあてはめてみて、意味のとおりものを選びます。

(4) (ア)～(エ)の語句の意味として適切なものをそれぞれ後から選び、記号を書きなさい。

- (ア) 一般に「 」 「 」
- (イ) 一挙に「 」
- (ウ) 一心に「 」 「 」
- (エ) 一瞬に「 」
- (A) ひといきに。いっぺんに。
- (B) それだけに集中して。
- (C) わずかの間に。
- (D) 広く。全体的に。ふつうは。

の手職の仕事がなくなって、すべてが機械に任されていく。直接に物を手にすることがない。物にふれる機会がますます減る。ビルのドアも自動化が進み、タッチしなくても開いてしまう。両手に荷物などがあるときは実に便利がよいが、ここでも手を使わなくてすんでしまう。これまでの医者は、患者の体に手を当てて診察をしたが、それが見られなくなつた。症状はデータや写真にとられて記号化されるので、その記号が伝送されれば、手を当てるどころか遠くにいて診断ができることにもなる。さらに、単身赴任が増え、ひとり住まいの老人が増えているという現象なども現代社会の特徴である。ということは、<sup>③</sup>人間関係のタッチが薄らいできているということが考えられる。最近、猫や犬のペットを飼う人が非常に多くなったが、それも寂しい人間関係への穴埋めということであろうか。

(井上宏「いま」の時代より)

(1)\* 【語句の意味】——①とほぼ同じ意味の言葉を、次のうちから選んで、その記号を書きなさい。

- (ア) 一般に (イ) 一挙に (ウ) 一心に (エ) 一瞬に (オ) 〔 〕

(2)\* 【語句の意味】——②の「道」は、次のどの使い方と似ていますか。適当なものを選んで、その記号を書きなさい。

- (ア) 彼はその道の達人である。 (イ) その行為は人の道にそむく。  
 (ウ) この病氣も治す道はある。 (エ) 宇宙旅行実現への道は遠い。 (オ) 〔 〕

(3)\* 【語句の意味】——③に含まれている「タッチ」は、どういう意味で使われていますか。この文章の中の四字の言葉で書きなさい。


語句の意味を問う問題では、それまでの蓄積がものを言います。「どれだけの語句を知り、使いこなしているか」ということが、勝負を決めるカギとなるのです。「わからない語句が出てきたら、すぐに辞書を引く」という習慣を身につけて、ふだんから語彙を豊富にするよう、努めましょう。

● 多義語の意味を選択させる問題

上段(2)では、「道」という語句のいろいろな意味を知っているかどうかのポイントとなります。

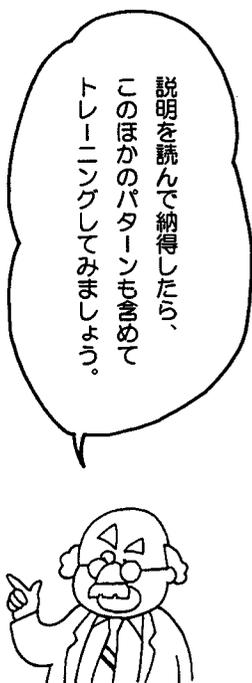
(5) 本文中の——②と上段(2)の(ア)～(エ)の「道」は、それぞれどのような意味で使われていますか。次から適切なものを選んで、記号で答えなさい。

- (A) 道理。道徳。 (B) 手段。方法。  
 (C) 専門の分野。 (D) 到達するための過程。  
 (ウ) 〔 〕 (イ) 〔 〕 (エ) 〔 〕 (オ) 〔 〕

● このほか、「道路」「みちのり」という意味もありますね。

● 同じ意味の語句を本文から書き抜かせる問題

上段(3)は、「タッチ」の意味にあたる語を探します。第一段落に、「タッチ」の日本語的表現を含めると、「……」とありますね。この「タッチ」の日本語的表現にあたる語句を探せばいいのです。



トレーニング

下の補充トレーニングは、上段の問題を解くためのものです。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔岐阜県〕

中国古代の思想家が、「粘土をこねて器を作る。その器の内側が空間であるからこそ、器として役に立つのである。」と言っている。われながらうかつな話だが、この言葉によってあらためて古い陶器を追いかけている者の目の汚れといったものを感じた。外側ばかりに気を取られている者にとって、壺つぼの本体は内側の空間であると教えられ、足をすくわれる思いがした。

思えば原始社会の人々は、このことを当然として意識もせず、淡々と壺を作り、使っていたのではないだろうか。

また、古代や中世の飾り気のない壺を見ると、これらを作り、使った人々はその中の空間を意識していたのであって、外側はどうでもよかったのではないか。今でも一日に何百という壺を作り上げる人で名人といわれる人は、その一つ一つの容量にほとんど狂いが無い。この人たちもまた、作っているのは器の本体である空間であらう。

〔出川直樹〕壺 ― 内なる無へ寄せて〔より〕

(1) 【語句の意味】 ― 「淡々と」の意味として適切なものを、(ア)～(エ)から選び、符号で書きなさい。

- (ア) たのしげなさま
- (イ) せわしいさま
- (ウ) くりかえすさま
- (エ) こだわらないさま

補充トレーニング

文脈を把握するために、次の問題を解いてみましょう。

(2) 【指示する語句】 ……「このこと」は、何をさしていますか。本文中から適切な部分を抜き出して書きなさい。ただし、字数は□□の字数とします。


① 十三字の部分を抜き出して答えなさい。

(3) 【語句の意味】 ― 「淡々と」と同じような意味で使われている五字の語句を、本文中から抜き出して書きなさい。


② これを参考にして、上段(1)に答えなさい。

漢字の意味から語句の意味を考える方法もあります。「淡」には、次のような意味がありますね。

- 1 色・味・調子などがうすい。 ㊶ 濃淡
- 2 感情などが浅い。 ㊷ 冷淡
- 3 あっさりしている。 ㊸ 淡泊(白)

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(佐賀県)

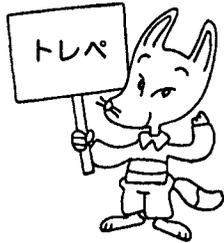
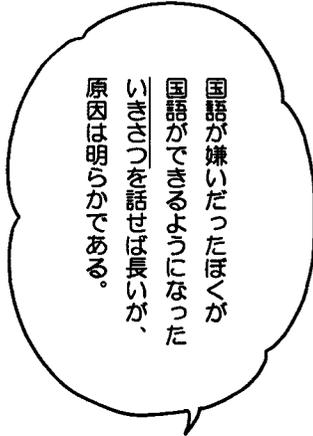
森林は水を消費する、その分だけ人間は水を取られて損をするという意見がある。実は小川内ダム建設の際にもそうした議論が出され、いつその際、上流の森林を払ってしまおうということ、実際にその費用が計算された。だが、当時としてもその費用があまりに膨大であったため、実現されなかったという有名ないきさつがある。もしもこの時山々が丸坊主にされていたら、多くの都民は生命を失ったことであろう。ものの見方、考え方というものは、なんと大切なことであろうか。

(富山和子「水の文化史」より)

(1) 【語句の意味】——「いきさつ」の使い方正しいものを、次の(ア)～(エ)の中から一

- つ選び、記号を書きなさい。
- (ア) 二人が助け合うようになったいきさつはよく分からない
- (イ) あの人のいきさつにはたくさんの人が迷惑をした
- (ウ) 私の立ち直ったいきさつは彼の思いやりのたまものである
- (エ) 昔からのいきさつのために人は年をとることになる

(1)は、「いきさつ」という語句の使い方方を問う問題です。語句は、使い方がわからなければ、本当にその語句の意味を知っていることにはなりません。



補充トレーニング

「いきさつ」の内容を整理すると、次のようになります。

○「森林が水を消費した分だけ、人間は損をする」という議論が出された。

○「上流の森林を払ってしまおう。」

○費用が計算された。

○費用があまりに膨大であったため、実現されなかった。

「いきさつ」は、この中の一部分を指しているのではなく、全体を指しているのです。

(2) 【語句の意味】——「いきさつ」に最も近い意味を

表す語句を次から選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 原因
- (イ) 経過
- (ウ) 結果

## 4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(筑波大附属高)

「日本人は美には敏感だけれど、醜には鈍感だ。」と、ある外国人が言った。①うまいことを言ったものだ。

京都にあこがれてやってきた外国人は、街並みのきたなさにがっかりする。看板、電柱、アーケード、どれをとってもお世辞にも美しいとはいえない。そう言われればそんなものかと思う。京都人である私自身、たいして気にもとめていないのだ。いわば醜に鈍感なのである。

ここにいう「醜」とは、おおかた、外国文化の影響である。看板にしろ、アーケードにしろ、「外国」とはこういうものだというイメージが、②子供っぽく並べたてられている。外国文化にたいする適応能力——それを、看板の「醜」は示しているのではないか。

京都なら京都の「美」は、もっと奥ぶかいところに秘められている。内へ入れば、すばらしい美が未だにのこっている。日本では「表文化」ではなく「裏文化」が大事だといわれる。まちや家の美しさにしても同じことがいえる。雑然とした通りから内に入ると、すばらしい箱階段にぶつかったりする。

裏の世界とは、無意識の世界といいかえてもよい。私たち自身が、ふだん、あまり気づかないところ、そこに美がひそんでいる。美がのこっている。

古い面にベシミという面がある。口をぎゅつとつぐんで断じて答えないと表情である。強力な神が外からやってきたとき、土着の内なる神は口をつぐんで答えなかったのである。答えれば相手の土俵にのってしまう。日本人自身は日本文化の良さといったことを外国人に問われても、答えない。答えられない。ベシミの心境であろう。無意識には感じている。しかし表立って主張するというのをしない。主張すれば、水泡のように消えてしまいかもしれない。

日本人の③しぐさの乏しさも、ここからきている。ちかごろ私はデズモンド・モリスの「ジェスチュア」という本を訳したが、あれを見ても、西洋人のジェスチュアというのがいかにえげつないものか、わかる。ジェスチュアは相手を説得するための武器なのだ。日本人はああい武器をふるうことを好まない。

外に攻めるのではなく、内を守る型である。日本人は無意識のうちに「美」を守っている。

## 補充トレーニング

上段(1)の設問文にある二つの「甘い」は、次のような意味で使われています。

○甘くておいしいお菓子

|| 砂糖やみつのような味がしておいしいお菓子

○ピントが甘い

|| ピントがちゃんと合っていない

(3) 【語句の意味】 「うまい」という語には、次のような意味があります。——①の「うまい」は、どの意味で使われていますか。符号に○をつけなさい。

(ア) 味がいい。おいしい。 ㊦ 飯がうまい。

(イ) 巧みだ。じょうずだ。 ㊦ 絵がうまい。

(ウ) 都合がいい。 ㊦ うまい具合

② (ア)の「うまい」は常に良い意味で使われますが、(イ)と(ウ)の「うまい」は良い意味でも悪い意味でも使われます。

㊦ 彼女は、歌がともうまい。 (良い意味)

㊦ 彼は、口はうまいが信用できない。 (悪い意味)

(4) 【語句の意味】 ——①「うまい」は、良い意味、悪い意味のうち、どちらで使われていますか。適切なほうの符号に○をつけなさい。

(ア) 良い意味 (イ) 悪い意味

③ 筆者は、「ある外国人」の言ったことに感心しているのでしょうか。それとも、皮肉っているのでしょうか。前者なら良い意味、後者なら悪い意味ということになります。

る。自分で気づかないことが多いし、他人に指摘されても、そうかなあ——なんて言っている。

(多田道太郎の文章より)

(1) 【語句の意味】 「甘い」という語は、「甘くておいしいお菓子」の時には良い意味で、

「レントが甘い」の時には悪い意味で使われています。①の「うまい」と②の「子供っぽく」はそれぞれどちらの意味で使われていますか。適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

- (ア) ①は良い意味、②は悪い意味で使われている。
- (イ) ①は悪い意味、②は良い意味で使われている。
- (ウ) ①②ともに、良い意味で使われている。
- (エ) ①②ともに、悪い意味で使われている。

(2) 【語句の意味】 ——③の語の使い方として適切なものを、例文の中から選び、符号で答えなさい。

- (ア) 帽子をぬいでおじぎをするそのしぐさは、まるで少年のようだった。
- (イ) 父の、子どもに対するきびしいしぐさを許すことはできない。
- (ウ) 雨がやむと、すずめは急にうれしそうなしぐさになった。
- (エ) 部屋が見違えるように美しくなったのは、妹のしぐさのためであった。

(5) 【語句の意味】 ——②の「子供っぽく」は、次のど

ちらの意味で使われていますか。適切なほうの符号に○をつけなさい。

- (ア) むじゃきだ。かわいい。
- (イ) 幼稚だ。未熟だ。

(6) 【語句の意味】 ——②の「子供っぽく」は、良い意

味、悪い意味のうち、どちらで使われていますか。適切なほうの符号に○をつけなさい。

- (ア) 良い意味
  - (イ) 悪い意味
- ⑤ (5)の(イ)の意味ならば良い意味、(イ)の意味ならば悪い意味とらうこととなります。

上段(2)は、「しぐさ」という語の意味をふまえて答えます。

(7) 【語句の意味】 ——③の「しぐさ」と似たような意味を表す六字の語を本文から探して書き抜きなさい。




答え合わせを忘れず。

漢字／頻度順 二二〇四〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

□(1) 省みる □(2) 快い □(3) 遂行

□(4) 措置 □(5) 漂う □(6) 遂げる

□(7) 微妙 □(8) 触れる □(9) 維持

□(10) 怠る □(11) 刻む □(12) 口調

□(13) 気配 □(14) 迫る □(15) 繊細

□(16) 喪失 □(17) 携わる □(18) 慰める

□(19) 普及 □(20) 誇る

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

□(1) ビタミンをおぎなうために緑黄色野菜を食べる。

□(2) 家から学校までおうふくで一時間かかる。

□(3) 留学生のために、かんげいパーティーを開く。

□(4) 幼いころのきおくをたどる。

--	--	--	--

□(5) 彼女からきちような話を聞くことができた。

□(6) 彼は劇で主役になったけいけんがない。

□(7) 薬のこうかで痛みがやわらいだ。

□(8) こうふんを静めるために、深呼吸を一つした。

□(9) 砂浜で、貝殻をひろった。

□(10) けわしい山道を歩いたので、疲れてしまった。

□(11) この問題には、まだけんとうの余地があります。

□(12) 掃除がすんだら、夕食の支度をしよう。

□(13) 展示品には、手をふれないようお願いします。

□(14) 流し場は、いつもせいけつにしておきましょう。

□(15) はってん途上国に援助の手をさしのべる。

□(16) 最終的なはんだんは、あなたにお任せします。

□(17) あらゆる地域に教育がふきゆうする。

□(18) たしかな証拠もないのに、人を疑ってはいけない。

□(19) 新しい出発の前に、きたいに胸をふくらませる。

□(20) 友人のしげきを受けて、受験勉強を始めた。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

解答の国語も読んで、細かしく調べよう。



言葉／熟語の構成 ②

チエックしよう

チエックして、七種類の熟語の構成を、熟語の例もいっしょに覚えてしまいましよう。

1 「」にあてはまる熟語を、後から選んで書き入れなさい。

熟語の構成は、大体次の七種類に分けられる。

- (1) 意味の似た漢字を重ねたもの  
例 善良↓善いと良い
- (2) 対になる、または反対の意味の漢字を並べたもの  
例 明暗↓明るいと暗い
- (3) 上の漢字の意味が、下の漢字の意味を修飾しているもの  
例 海水↓海の水
- (4) 下の漢字の意味が、上の漢字の意味の目的・対象などを示すもの  
例 着席↓席に着く
- (5) 上の漢字が主語、下の漢字が述語の関係にあるもの  
例 国営↓国が(主語) 営む(述語)
- (6) 上の漢字が接頭語的に意味を添えるもの  
例 無色↓無(下の漢字の意味を打ち消す)+色
- (7) 下の漢字が接尾語的に意味を添えるもの  
例 詩的↓詩+的(「」のような「の意味)

- 必要
- 救助
- 地震
- 決心
- 有無
- 創造性
- 不公平

トレーニング

\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

2\* 次の熟語は、二字の漢字をどのように組み立てたものですか。後の(ア)～(オ)の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

- (1) ① 排除 「」 「」 「」 (和歌山県・一部改題)
- (2) ① 復習 「」 「」 「」 (東京都・一部改題)
- (ア) 同じような意味の漢字を並べている。
- (イ) 意味の対立する漢字を並べている。
- (ウ) 上の漢字が下の漢字を修飾している。
- (エ) 下の漢字が上の漢字を修飾している。
- (オ) 上の漢字が主語で下の漢字がその述語に当たる。

3\* 「温暖」のように、似た意味の二字からなる熟語を次の(ア)～(オ)から二つ選び、符号を書きなさい。

- (ア) 歓喜 (イ) 後悔 (ウ) 表現 (エ) 短命 (オ) 突然

4\* a「寒風(寒い風)、b「成功(功を成す)のそれぞれと、熟語の組み立てが同じであるものを、次の(ア)～(オ)の中から一つずつ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 日没 (イ) 好評 (ウ) 東西 (エ) 未知 (オ) 投球

全力(↓すべて)の力(↓球を投げる)!!

答え合わせをしなさい。



第 3 日

12月12日

説明的文章 (3)

### 接続する語句

まず上の問題をやってから、下の補充トレーニングに進みましょう。  
\*のついた問題が高校入試に出題されたものです。

### 基本例題

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔青森県〕

テレビと読書は、ある面で自動車と人間の足との関係に似ている。自動車は、急ぐとき、あるいは病人や体の不自由な人にとっては、大変便利である。①つまり、短い時間で楽に目的地へ着けるために、途中の道や橋や風景の印象が極めて薄い。②一方、自分の足で歩けば、道筋の家並みや家それぞれのたたずまい、道端の一木一草まで自分の目で確かめることができる。テレビも、大量の情報を即時につめこむには適しているが、一語一語文字を追いかけた読書に比べるとその記憶はひどく頼りない。

テレビドラマで主演級のある新劇俳優がこういった。「連続テレビドラマで主演しているときは、銀座を歩くとすれ違った人がふり返る。だがドラマが終わって一週間もすれば、見たことがあるなという顔をするだけで、もうふり返らない。」テレビの印象はそれほど強烈で、③また消えやすい。

自動車は便利だが、自動車に乗ってばかりいると足が弱る。病気で一週間もベッド暮らしをすれば、使わない足がどれだけやせおとろえるか、経験のある人も多いだろう。いつて現代は自動車なしではすまない。だが自動車になれると、歩いて行けるところでもつい自動車に乗ってしまう。

自動車を利用する一方で、できるだけ歩くことを心がけるのが体の健康にとって必要なら、テレビをみると読書とのバランスをどうとっていくか、が精神と頭脳の健康に欠かせない。

接続する語句に関する問題は、入試によく出題されます。

- 1 どんな事柄とどんな事柄をつないでいるか。
  - 2 前後の関係は、どうなっているか。
  - 3 それぞれの接続する語句は、どのようなはたらきをするか。
- という三つの点に注意して、問題を解いていきましょう。

### 補充トレーニング

#### 接続する語句

前後の文や段落の関係（つながり方）をつかみ、その関係に合った接続する語句を考えます。

①「つまり」の前後の文の内容をまとめると、次のようになります。

○自動車は、大変便利である。

○途中の印象が極めて薄い。

前の文の「便利である」は自動車の長所で、この後も長所について書いてあるのではないかと予想されます。しかし、後の文の「印象が薄い」は自動車の短所ですから、予想とは反対の事柄が書いてあることになりましたね。

(2) 次の接続する語句のはたらきとして適切なものを後から選び、それぞれ番号を書きなさい。(同じものを二回以上選んでもかまいません。)

- (ア) さて 「 」 「 」 それゆえ 「 」  
 (イ) だが 「 」 「 」 なぜなら 「 」

読書の効用は、知識を得ること以上に、物事を順序だてて考える訓練になることだ。情報化時代は、われわれに大量の情報を提供してくれるが、その情報が断片的である場合が多い。個々の情報の意味は何か、その背景はどうかを整理するには、読書に頼らざるを得ない。

それは本の著者の言い分をうのみにすることではない。著者が何をどう考え、どういう結論に達したかという思考の流れをひとまとめにして知ることが、その著者の主張に賛成にしる、反対にしる、読者の脳細胞を刺激する。

読者を、著者が構築した一つの世界へ連れ出すということでは、読書はまた観劇の経験にも似ている。食事しながら、④あるいは家族と談笑しながらみるテレビは、極めて日常的で、暮らしの一部にさえなっている。日常生活から切り離された非日常的な経験こそ、心を休め、精神の糧かてとなり得ると思う。

(朝日新聞社説「テレビ時代の読書」より)

(1)\* 【接続する語句】——①「つまり」、——②「一方」、——③「また」、——④「あるいは」

は「の接続語のうち、誤った使い方をしているものが一つあります。その番号を書きなさい。また、それを正しい使い方の接続語に改めるとすれば、次の(ア)～(エ)のうちどれが適切ですか。その記号を書きなさい。

- (ア) さて (イ) それゆえ (ウ) だが (エ) なぜなら

誤った使い方の接続語……〔

正しい使い方の接続語……〕



- (イ) つまり ( ) (ウ) また ( )  
(エ) あるいは ( ) ( )

1 順接⇨前の事柄を原因・理由とする事柄を後に述べる。

2 逆接⇨前の事柄から予想されることと反対の事柄を後に述べる。

3 並立・累加(添加)⇨前の事柄に引き続いて起こる事柄やつけ加えたい事柄を後に述べる。

4 対比・選択⇨前の事柄に後の事柄を並べて、どちらかを選ばせようとする。

5 説明・補足⇨前の事柄を言いかえて説明したり、補足したりする。

6 転換⇨前の事柄から話題を変える。

● 接続する語句には、主に右の六つのはたらきがあります。

——②「一方」は、「それに対して」という意味です。前の部分は自動車を使う場合のことが書いてあり、後の文は自分の足で歩く場合のことが書いてありますね。

——③「また」は、前の「強烈で」に、後の「消えやすい」をつけ加えるはたらきをしています。

——④「あるいは」は、前の「食事しながら」と、後の「家族と談笑しながら」とを並べて、どちらかを選ばせるようにしています。

ですから、——②～④は、正しい使い方になっていますね。

# トレーニング

まず上の問題を解いてから下の補充トレーニングに進みなさい。  
補充トレーニングは、上の問題を解くためのヒントです。

## 2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔栃木県〕

人間にはさまざまな目的がある。その目的を一行に並べてみたとき、近いところにある目的ほど切実な目的であることに気づく。だが、切実ということは、かならずしも価値の大きさを意味しない。A、その目的は、たいてい次の目的の手段にすぎないからである。したがって、目的の価値は遠くにあるものほど大きいといってもよからう。B 人間の抱いている目的のすべては、いちばん向こうにある目的、最終目的の手段として存在しているのである。

〔森本哲郎「読書の旅」より〕

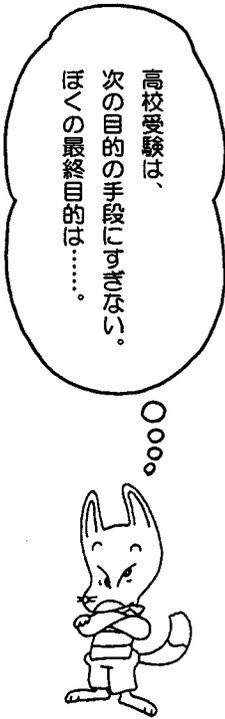
(1)\* 【接続する語句】 A、B にあてはまる言葉は、それぞれ次のどれですか。

記号で書きなさい。

- (ア) さて (イ) あるいは (ウ) なぜなら (エ) つまり (オ) けれども

- A 〔 〕 B 〔 〕

A は補充トレーニングの(2)、B は(3)を参考にしなさい。



# 補充トレーニング

(2) 【文の関係】 A の後の文は、前の文に対して、

どのような関係にありますか。次から適切なものをつ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 前の事柄を原因・理由とする事柄を述べている。
- (イ) 前の事柄の原因・理由となる事柄を述べている。
- (ウ) 前の事柄から予想されることと反対の事柄を述べている。

(エ) 前の事柄とは話題の違う事柄を述べている。

① A は、「だが、」意味しない。「という文と」「その目的は、」すぎないからである。「という文をつないでいます。後の文の「」からである」という文末表現に注意しましょう。

(3) 【文の関係】 B の後の文は、上の文章の中で、

どのようなはたらきをしていますか。次から適切なものをつ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 前の事柄の原因・理由となる事柄を述べている。
- (イ) 前の事柄から予想されることと反対の事柄を述べている。

(ウ) 前の事柄とは話題の違う事柄を述べている。

(エ) 前の事柄を要約している。

② B は、「人間にはよからう。」という部分と、「人間の」存在しているのである。「という文をつなぐはたらきをしています。」

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔高知県〕

これだけたくさん情報が社会的に流通しはじめると、たしかに、われわれは目移りをする。ちようど、たくさん種類のたくさん銘柄のカンづめだの石けんだのが、山のように積まれたスーパーマーケットのなかで、消費者が戸惑うのとおなじように、こんなにたくさん情報があると、どれを選んでいいのか、さっぱり分からないのだ。

〔a〕、カンづめの場合と情報の場合とは、だいぶ様子がちがう。カンづめは、おいしそうだつたら、ちがった種類のをいくつか買っておくこともできるだろうが、情報の場合には、ひとつを入手したら他を入手できないというような事態がしばしば発生する。たとえばテレビやラジオの番組を考えてみてもよい。日本の大都市の周辺では、テレビの電波が五つか六つ、ラジオもそのくらいある。両方あわせて、合計十いくつかの電波が、われわれのまわりにひしめきあっているのだ。〔b〕、たとえばその全部がおもしろそうであつても、ひとりの人間が聞いたり見たりすることのできるのは、そのひとつでしかない。あるテレビ局である時代劇を見る、ということは、他のテレビ局やラジオ局でまったくおなじ時間に放送されている映画やニュースや音楽を見たり聞いたりすることができない、ということである。〔c〕、算術的にいえば、人間がある任意の時間に接触することのできる放送というのは、潜在的な全情報量の数パーセントにすぎない、ということになる。

（加藤秀俊「独学のすすめ」より）

(1) 【接続する語句】 文章中の〔a〕・〔b〕・〔c〕のそれぞれにあてはまる言葉の組みあわせとして最も適切なものを、次の(ア)から一つ選び、その記号を書きなさい。

- い。
- (ア) a しかし b つまり c それに
- (イ) a つまり b それに c もちろん
- (ウ) a もちろん b つまり c しかし
- (エ) a それに b しかし c つまり

補充トレーニング

〔a〕は、段落と段落をつなぐはらたきをしています。

(2) 【段落の要点】 〔a〕の前の段落で、中心となる事柄は何ですか。次から最も適切なものを選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) たくさん情報が社会的に流通しはじめた。
- (イ) カンづめだの石けんだのが山のように積まれたスーパーマーケットのなかでは、消費者は戸惑う。
- (ウ) こんなにたくさん情報があると、どれを選んでいいのか、さっぱり分からない。

(3) 【段落の要点】 〔a〕の後の段落で、中心となる事柄は何ですか。次から最も適切なものを選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) カンづめの場合と情報の場合とは、いろいろな面がちがう。
- (イ) カンづめは、ちがった種類のをいくつか買っておくことができる。
- (ウ) 情報は、ひとつを入手したら他を入手できないということがある。

④ どの事柄とどの事柄をつなぐかがわかれば、適切な接続する語句を選ぶことができます。

4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔宮城県〕

① わらべうたへの関心が高まっているという。郷愁もあるだろうが、それだけではあるまい。わらべうたが無心にうたわれるような環境を、恐ろしいほどの勢いで踏みくだいていくこの現代に対する不安恐怖が、あらためてわらべうたへの関心を生んでいるという面もあるだろう。だから、今のところは、わらべうたを思い出して大事に口ずさんだり、語り合ったりしているのは大人だ。子供は無心にテレビのコマーシャル・ソングをうたっている。

② だが、わらべうたはほんとうに失われていきつつあるのだろうか。たしかに、**A** 鳥獣魚介、草木、月や星や天気をうたうわらべうたは、子供たちの世界から見失われていきつつある。そのこと自体、うるおいのない現代生活の一面をあざやかに示すものにはちがいないが、子供たちの身のまわりから草木虫魚が遠ざかってしまった以上、うただけが生き残ることはありえない。**B**、家庭や町で多くの年中行事のしきたりが失われていく以上、年中行事のわらべうたで、実際に子供にうたわれるものが激減してしまうのも当然である。子守歌も同じ運命をたどるだろう。

③ 夕暮れ、コウモリが電線をかいくぐって弾丸のように過ぎるのに、石をぶつつけて落とそうとみんなできそつたあと、「あした天気になあれ」と、下駄をいっせいに澄んだ夕焼け空にほうりあげた幼いころの記憶は、都会の若い人たちにはほとんどないだろう。かりに「あした天気になあれ」という文句は知っていても、靴をほうりあげるのは下駄のようにはいかない。文句を唱えるだけでは、この呪的じゆなうたが子供の生活の中で完全に生きていくということにはならないだろう。

④ しかし、①子供たちがいるかぎり、わらべうたの最大の領土である遊びの分野は、わらべうたの広大なダムであって、全国から組織的に採取したら、おどろくほどの数が今でもうたわれているにちがいない。小泉文夫氏を中心とする民俗音楽研究グループが、東京都内の小学校約百校で採取したわらべうたが、楽譜ならびに研究の二本立てで、りっぱな二冊本として刊行された。この『わらべうたの研究』グループが採取した東京の子供たちのわらべうた（遊びのうた）は、二千曲以上にものぼった。そこには「通りゃんせ」「花いちもんめ」「かごめかごめ」「ずいずいずつころばし」、そのほか、古くからのわらべうたも

補充トレーニング

(2)\* 【具体内容】 ④の段落に――①「子供たちがいるかぎり、わらべうたの最大の領土である遊びの分野は、

わらべうたの広大なダムであって」とありますが、「遊びの分野がわらべうたの広大なダムである」とはどういうことですか。「広大なダム」という比喩表現ひゆに留意して、□□の中に十字～二十字で書き入れなさい。

(句読点を含む)

子供たちの遊びの中には、

Grid for writing answer to question 2.

(3) ⑤の段落に――②「わらべうたについてもそれができないうことはなく、必ずある。」とありますが、この文について、次の1、2の問いに答えなさい。

1\* 【指示する語句】 「それ」は何をさしていますか。十字以内で答えなさい。(句読点は含まない。)

Grid for writing answer to question 1.

2\* 【心情吟味】 「それができないということはないはずである。」という表現には、筆者のどのような気持ちきもちがこめられていますか。次の(ア)～(エ)のうちから最も適切なものをつまみ、記号に○をつけなさい。

- (ア) 予想 (イ) 反省 (ウ) 確信 (エ) 勧誘

あれば、「〇〇学校ぼる学校、入ってみたいらしい学校」といった比較的新しいものもあるが、二千曲以上も東京でうたわれているということは、少なくとも、私には気持ちのいいおどろきだった。

⑤ 遊びがうたを必要とする。同時に、うたが遊びをつくりだし、さらに、それを通じて子供たちの集団生活を厚みのある楽しいものにする。ホテルやトンボや川魚も呼びもどせないものではないことがわかった。⑥ わらべうたについてもそれができないということはないはずである。

おおおまほ  
（大岡信「詩とことば」より）

◆ 語句注 ◆

○ 鳥獣魚介 || 鳥やけもの、魚類や貝類。

○ 呪的な || (願いをこめて) うらないをするといったような。

○ 小泉文夫 || 音楽学者。

(1)\* 「接続する語句」 ②の段落の **A**、**B** に入る言葉を、それぞれ次の(ア)~(エ)のうちから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |           |          |          |           |
|-----------|----------|----------|-----------|
| A (ア) まして | (イ) もつとも | (ウ) そのうえ | (エ) たとえば  |
| B (ア) また  | (イ) しかし  | (ウ) その結果 | (エ) というより |

下の補充トレーニングで、ほかの入試問題も解いてみましょう。

(4)\* 【要旨】 この文章から読み取ることが出来るものを

(ア) (カ)のうちから二つ選び、記号に○をつけなさい。

(イ) わらべうたは子供たちの世界から姿を消してしまっているが、その責任の大部分は大人の側にある。

(ウ) わらべうたが失われつつあるといわれるが、遊びの中でわらべうたは子供たちにうたい続けられており、今後の回復は十分可能であると思われる。

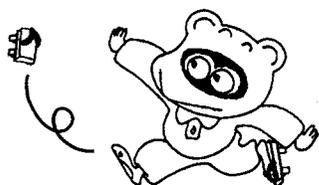
(エ) わらべうたを大事にすることは、うるおいのある現代生活を営むための絶対の条件であり、それを見直す運動を全国的にすすめていくべきである。

(カ) わらべうたは消滅の一途をたどっているといわれるが、子供たちは自然の中で楽しい生活をしているので、大人がそれほど心配する必要はない。

(キ) わらべうたに関心を寄せて大切に守る努力は続けられているが、子供たちの遊びが消えかかっている現在、その前途はけっして明るいものではない。

(ク) わらべうたを復活させて、子供たちの生活をより豊かなものにするためには、子供たちの遊びとわらべうたとの関係に一層関心をもつ必要がある。

あめした天気になあれ。



答え合わせを忘れずに。

漢字／頻度順 四一～六〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

- (1) 紛らわす      □(2) 矛盾      □(3) 和らげる
- (4) 扱う      □(5) 著しい      □(6) 会釈
- (7) 競う      □(8) 誘う      □(9) 悟る
- (10) 示唆      □(11) 勧める      □(12) 柔和
- (13) 臨む      □(14) 隔てる      □(15) 施す
- (16) 催す      □(17) 装う      □(18) 憤る
- (19) 襲う      □(20) 顧みる

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

- (1) 論理的にくい違う点をしてきする。
- (2) 書き写した文を原文とたいしうする。
- (3) トレーニングのいちじるしい効果が表れた。
- (4) むだなていこうをするのはやめなさい。

--	--	--	--

- (5) 案内人は登山者を山頂にみちびいた。
- (6) 実力をはつきする機会に恵まれなかった。
- (7) 白い建物が、夏の光をあびている。
- (8) 情報学は彼女の専門のりよういきに入らない。
- (9) 海にのぞむ小高い山の上に家を建てた。
- (10) 幼稚園時代の先生の名前をおぼえていますか。
- (11) 規則の多い生活になれるには何か月もかかる。
- (12) タマはほくたちの行動にかんしんを示さない。
- (13) 豊かなかんきようが数多くの芸術家を育てた。
- (14) この絵は上下がぎやくに掛けられている。
- (15) 荒地をたがやして、苗木を植える。
- (16) 現在秋であるかのようなさつかくに陥った。
- (17) 愛着のある人形をすてることができない。
- (18) 優勝が決定したしゅんかんをカメラに収める。
- (19) いきおい余つてフェンスにぶつかった。
- (20) 私の考えをそつちよくに述べたまです。

答え合わせをしたら、次は、「熟語の構成」の学習だよ。



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◆ 言葉／熟語の構成 ③

※のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

1. 次の(1)・(2)の文の□の中に、線の漢字と反対の意味を持つ漢字一字を入れて、意味の通る文としなさい。  
〔栃木県〕

(1) 力を加  する。 (2) 両者の  失を論じる。

2. 「物事に動揺しないこと。」の「動揺」は、意味の似通った漢字を二字重ねてつくった語です。これと同じ漢字の組み立てになっているのは、次のうちのどれですか。  
〔東京都〕

(ア) 応募 (イ) 援助 (ウ) 勝負 (エ) 遠征

3. 次の(1)～(7)の熟語と同じ構成になっている熟語を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 注目  〔島根県〕

(ア) 満足 (イ) 偏見 (ウ) 往復 (エ) 噴火

(2) 観察  〔愛知県〕

(ア) 描写 (イ) 地震 (ウ) 清流 (エ) 開会

(3) 悲劇  〔京都府〕

(ア) 他人 (イ) 探求 (ウ) 読書 (エ) 無限

(4) 迷惑  〔青森県〕

(ア) 表現 (イ) 民主 (ウ) 必要 (エ) 抜群

(5) 鮮明  〔群馬県〕

(ア) 愛憎 (イ) 登山 (ウ) 黒板 (エ) 温暖

(6) 裏側  〔鹿児島県〕

(ア) 花園 (イ) 温暖 (ウ) 入学 (エ) 高低 (オ) 日没

(7) 尊敬  〔兵庫県〕

(ア) 明暗 (イ) 濃霧 (ウ) 無限 (エ) 行進 (オ) 読書

4. 次のA～Fは熟語の組み立てによって分類したものです。これを見て、後の問いに答えなさい。  
〔立教高〕

A (訪問・競争) B (天地・美醜) C (日没・地震)  
D (失望・落涙) E (明日・汚点) F (不安・非常)

(1) このうち、上下の文字が主語と述語の関係にあるものの記号を記しなさい。

(2) 次の熟語はそれぞれA～Fのグループのどれに属しますか、記号で答えなさい。

- |      |     |      |     |      |     |
|------|-----|------|-----|------|-----|
| ① 軽少 | 〔 〕 | ② 登場 | 〔 〕 | ③ 腹痛 | 〔 〕 |
| ④ 往来 | 〔 〕 | ⑤ 要求 | 〔 〕 | ⑥ 応対 | 〔 〕 |
| ⑦ 決勝 | 〔 〕 | ⑧ 落花 | 〔 〕 | ⑨ 他日 | 〔 〕 |
| ⑩ 無理 | 〔 〕 |      |     |      |     |

答え合わせをして、**注**もよく読みなさい。

第 4 日

12月13日

説明的文章 (4)

語句や文の補充

まず上の問題を解いてから、下の補充トレーニングに進みなさい。

\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

基本例題

■ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(山口県)

人間の機能や能力はさまざまな経験を重ねてたえず発展してゆく。その経験には環境の変化に対応するという形のものもあるが、みずから環境にはたらきかけてゆくものもある。ただし、環境からはたらきかけられるといっても、人間の対応は単なる受け身ではなく、自分が生きるような形で対応するという意味で、能動的に対応するのである。

このような能動性を支えている原動力になる本性のひとつは(A)である。

これは、一定の状態にとどまらず、なんでもしてみようという性質である。歩きまわり、そこに穴があれば入ってみる。木があれば登ってみる。そこになにかがあれば触ってみたり、口のなかへ入れてみたりする。子どもが倒れるときにうまく手をつけてけがを少なくすることができるようになるためには、いろいろの倒れ方を体験する必要がある。いわば野次馬根性または好奇心であり、その土台にあるのが探究性である。試行錯誤といわれる行動とも共通している。

このように無秩序な行動を経験するなかで、生存上役立つものに偶然に遭遇することを期待する性質が探究性である。いわば無方向で無目的な行動でもあるから、目的を持った行動の少ない子どもではとくに探究行動が目立つ。また、年少時は無から出発して急激に発展しなければならぬ時期でもある。遊びやいたずらのなかに探究行動が多く含まれているだけではなく、日常行動全体が探究的であるともいえる。

1

発展性には失敗や危険はつきものだが、探究性にはその傾向がとくに強い。偶然性を求

文章中に語句や文を補充させる問題は、入試によく出題されますが、実はかなりの国語力が要求されるものです。今日は、

- 1 特定の空所に、適切な語句をあてはめる。
  - 2 特定の文を、適切な箇所に補充する。
- の二つのパターンに分けて、解き方を考えていきましょう。

補充トレーニング

空所に、適切な語句をあてはめましょう。

前後の文脈から、適切な語句を考えます。上段(1)では、文章中から書き抜いて答えます。設問文に「この文章の中心になることば」とあるのが、大きなヒントになります。

- (3) (A)に入る語句の意味が書いてある二十五字の部分(A)より後から探して、~~~~を引きなさい。

① 直後の文の「これ」は、(A)の語句を指しています。

- (4) (3)で~~~~を引いた部分に基づく具体的な行動について書いてある部分を、「でくくりなさい。」

- (5) (4)で「でくくった行動の土台となっているものは何ですか。文章中から書き抜きなさい。」

② (5)の解答は、上段(1)の解答と同じになりますね。

める行動だからである。2 しかし、失敗や危険にしても致命的でないかぎりにおいて、それはひとつの収穫でもある。3

「犬も歩けば棒にあたる」という諺は、悪いものにぶつかるという意味だが、良いことにぶつかるという意味にも使われてきた。探究行動の性質をよくあらわしている。4 歩かなければ、棒にもぶつからないということである。

千葉康則『ひらめき』の開発「より」

(1) 「語句の補充」(A)には、この文章の中心になることばが入ります。そのことばを文章中から書き抜きなさい。

(2) 「文の補充」 次の一文は、文章中の 1 ~ 4 のどこに補うのが最もよいですか。番号で答えなさい。

危険を避ける能力が育ったり、失敗が成功の母になるからである。

① ② ③ ④

① ② ③ ④

① ② ③ ④



補充トレーニングの(3)~(5)を解いたら、もう一度文章を読み返して、(1)の解答が「この文章の中心になることば」であるかどうか、確かめてみましょう。

文を、適切な箇所に補充しましょう。

文を補充する場合も、前後の文脈から考えることが大切です。上段(2)では、「~からである」という理由を表す文を補充します。この文は、どんなこと理由を述べているのでしょうか。

(6) 上段(2)の文の内容は、次の1~4のうちどの事柄の理由としてふさわしいですか。一つ選び、記号に○をつけなさい。

- 1 子供の日常行動全体が探究的であること。
- 2 探究性に失敗や危険がつきものであること。
- 3 失敗や危険がひとつの収穫であること。
- 4 「犬も歩けば棒にあたる」という諺が、探究行動の性質をよくあらわしていること。

① (6)の1~4は、それぞれ文章中の 1 ~ 4 の直前の内容をまとめたものです。

文をあてはめたら、前後をとおして読んで、意味のつながりがいいかどうか確かめてみましょう。

## トレーニング

補充トレーニングの(3)・(4)は(1)を解くための問題、(5)・(6)は(2)を解くための問題です。

## 2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(□・△は段落符号。)

〔愛知県〕

① 表情の微妙さにはいくら感嘆してもしたりない。私どもの心は顔の上をかすめたごくささいな動きの違いですぐそれとよみとられてしまう。喜びや悲しみの表情、恐怖の表情、腹立ちの表情のような一目で人にやきつくようなあからさまなものはもちろんのこと、目くばせ、流し目、ひかえ目のような含蓄のある表情にいたるまで、私どもの顔の動きですべて心の表れならぬものはない。

② 表情の微妙さはほとんどまったく目のまわりの筋肉の動きに集約されている。それで心がほんとうにほころんでいない人は、どんなに笑顔をつくらなくても「目が笑わぬ」ので、ひとりでに相手に警戒の念をうえつけてしまうであろう。それからだれかを使ってやってみればすぐわかることだが、目だけをマスクで隠しておいて、笑顔、泣き顔、腹立ち顔、さまざまの表情をつくらせてみるとよい。向きあっている顔はただのしかめ面でなんの味ももたないのである。それからまた自分でわざと腹立ち顔に表情を固めておいて、さて心の中で大いに笑ってやろうと試みてみると、顔がくずれぬ限り、目の前のものを粉碎せずにはおかぬといった気持ちはいっこうゆるがない。一方、心の底でかすかに笑いが動いたと思うと、もう顔のどこかから緊張はくずれかかっているものである。

③ 表情と心はこれほど□の間柄にあるために、人間だけでなく馬や犬や猫にも悲しげな顔、おかしがっている顔、こびている顔、人のよい顔など、心を表すいろいろの表情があるように昔から思われていたものであった。しかし笑いにいたっては、昔から哲学者がよくいうように「人間だけが笑える動物である」。

④ 哄笑、冷笑、苦笑、満足の微笑、さまざまの笑いがあるが、その中にあふれた生命力からわき出すエネルギー発散の笑いといわれるものがある。遊戯に夢中になっている子供たちのあの晴れやかな笑いは、まさにあふれ出す生命の表情であろう。それでは草原で子供どもが戯れあっているのはどうか。子供の遊戯の心情と本性同じものを子犬の戯れに見とれはしまいか。もし笑いというものがあふれ出した生命力のこぼれならば、彼らが笑っていないはずがない。ただ犬どもは表情が発達していないから、顔で笑えないのが違う。子

## 補充トレーニング

③段落の初めの「表情と心はこれほど□の間柄にある」は、②段落の内容をまとめた表現です。

(3)\* 【慣用句・ことわざ】 この文章に密接な関連のあることばとして最も適当なものを、次の(ア)から(イ)までの

中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

(ア) 目から鼻へ抜ける。

(イ) 目からうろこが落ちる。

(ウ) 目に入れても痛くない。

(エ) 目は口ほどにものを言う。

④ 特に、②段落に密接な関連のあることばです。

(4) 【語句の意味】 次の(ア)から(イ)までの語句の意味として適切なものを後から選び、それぞれ符号を書きなさい。

(ア) 不離 ( ) (イ) 不和 ( )

(ウ) 不明 ( ) (エ) 不利 ( )

(A) 条件が悪いこと。損をしそうなこと。

(B) 仲が悪いこと。

(C) はつきりしないこと。

(D) きりはなせないこと。

① 上段(1)は、この中から、表情と心の関係として適切なものを選びます。

犬の笑いは走りまわり転げまわるからだ全体の動き、それが笑いなのだといえよう。動物が高等になって人間の系列まできて、はじめてからだの笑いから顔面の笑いへ分化するのであり、裏返せば、動物に限らず人間も含めて、感情が激しくなればなるだけ、感情の表れは顔面に限られなくなり、全身の運動に拡散していくのである。

(島崎敏樹「感情の世界」より)

◆ 語句注 ◆

○ 哄笑 大笑い。

(1)\* 「語句の補充」 [ ] にあてはまることばとして最も適当なものを、次の(ア)から(エ)までの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- (ア) 不離 (イ) 不和 (ウ) 不明 (エ) 不利 [ ]

(2)\* 「文の補充」 この文章では、原文にある次の文章を省いてあります。それはどの段落のあとに入れるとよいですか。その段落符号を書きなさい。

それでは彼らには笑いは全然ないかというところ、実はそうともいえないのではなからうか。この点にひと言ふれておこう。

[ ] [ ] 段落

上段(2)は、補充する文章の内容をつかむことが大切です。「この点」は、「彼らには笑いは全然ないか」という点を指していると考えられますね。

(5) 【指示する語句】 上段(2)で補充する文章の「彼ら」

は、何を指していると考えられますか。次から一つ選び、かな符号に○をつけなさい。

- (ア) 私ども (イ) 人間

- (ウ) 馬や犬や猫 (エ) 子供たち

① 「彼ら」は、これより前にある語句を指していると考えられます。逆に言えば、「彼ら」にあたる語句の後に、上段(2)の文章が入るのです。

(6) 【内容吟味】 上段(2)で補充する文章の「この点」に

ついてふれているのは、この文章の前と後のどちらだと考えられますか。「前」「後」のいずれかで答えなさい。

① 「ふれておこう。」という文末表現に注意すること。



## 3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔福岡県〕

人は、自己とはなんであるかを問いつながら、真実の自己を求めて生きていく存在である。その自己は出会いによって生み出される。出会いとは、語の成り立ちから「出て会う」といわれているが、「出る」とは、そして、「会う」とは、どんな意味であろうか。

まず、「出る」とは、ちょうど地平線に沈んだ太陽が再び地平線に出てそれ自身が姿を現すように、隠れた状態から、その状態を突き破って、外部に向かって自己を開き現すことである。これを人間の心についていえば、他者に対するみえや恥ずかしさなどをのりこえて、他者が自己のうちにわに入りこむように、他者に向かって自己自身を開放することである。だから、「出る」ためには、自己の壁を全く取りはらわなければならぬ。少しでも壁があるところでは、まだ「出る」とはいえない。他者に向かって自己を完全に開ききり、自己の壁をことごとく取りはらったとき、はじめて真に「出る」といえるのである。

次に、「会う」とは、「お目にかかる」ともいわれるように、目、すなわち「見る」ことに関係している。しかし、「会う」とは、単に見ることだけを意味するのではない。「会う」にはまた、二つ以上のものが合する、合致するなどという「合う」の意味も含まれており、これを人間の心についていえば、自己の心と他者の心とがふれ合うことで一つになることである。だから、単に見るだけ、顔を合わせるだけでは、まだ真に「会う」とはいえない。(A)に(B)が伴ってはじめて(C)といえるのである。

われわれは毎日電車の中で、あるいは街路で多くの人々に出くわし、顔を合わせている。一般的に言えば、それも「会う」ことであろうが、しかし、それだけでは真に「会う」とはいえない。なぜなら、そこには、心の通い合い、心のふれ合いが欠けているからであり、したがって、その人々は、単に行きずりの人、路傍の人にすぎず、会っていても会っていないのである。つまり、外見的に会っていても、心では会っていないのである。また、顔を合わせていても互いにふれ合いがないならば、かれらの間には無限の隔たりがあり、互いに相手の人は行きずりの人と異なるところはなく、遠い人であるにすぎない。心の通い合いにおいてはじめて真に「会う」といえるのであり、「会う」ということが成立するのである。

このようにして、出会いとは、他者に向かって **1** ことであり、他者と心が通い合う

## 補充トレーニング

上段(1)は、(A) ( ) (C) を含む文の組み立てと、第三段落(次に、 )といえるのである。( )の内容をもとに考えます。

## (4) 【文の組み立て】 「(A) ( ) (B) ( )」が伴っては

じめて(C) ( )といえるのである。「( )」という文からは、

(A) ( ) (B) ( ) (C) ( )にあてはまる語句の関係がどのようなものだと考えられますか。次から適切なものを一つ選び、記号に○をつけなさい。

(ア) (A) ( ) は、(B) ( ) と (C) ( ) の意味を含む。

(イ) (B) ( ) は、(A) ( ) と (C) ( ) の意味を含む。

(ウ) (C) ( ) は、(A) ( ) と (B) ( ) の意味を含む。

## (5) 【内容吟味】 本文で使われている語句の関係として

適切なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

(ア) 「会う」は、「出る」と「会う」の意味を含む。

(イ) 「出る」は、「見る」と「合う」の意味を含む。

(ウ) 「会う」は、「会う」と「見る」の意味を含む。

(エ) 「会う」は、「見る」と「合う」の意味を含む。

① 上段(1)は、(4)や(5)の解答と照らしあわせて、矛盾のないものを選びましょう。

上段(2)は、「出会いとは、他者に向かって **1** ことであり、他者と心が通い合うことである」といふところから考えます。



漢字／頻度順 六一～八〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| □ (1) 緩和  | □ (2) 企画  | □ (3) 欠如  |
| □ (4) 試みる | □ (5) 拒む  | □ (6) 削減  |
| □ (7) 避ける | □ (8) 湿る  | □ (9) 証拠  |
| □ (10) 詳細 | □ (11) 怠惰 | □ (12) 黙る |
| □ (13) 縮む | □ (14) 添削 | □ (15) 練る |
| □ (16) 描写 | □ (17) 不朽 | □ (18) 含む |
| □ (19) 風情 | □ (20) 醜い |           |

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りかなもつけること。

- (1) この漫画はストーリーのてんかいがおもしろい。
- (2) 染め物のでんとう的な技術を学ぶ。
- (3) 彼女の音楽的才能は多くの人にみとめられた。
- (4) 作品を発表するまでに、長い時間をついやした。

--	--	--	--	--

- (5) 約束はきつとはたすつもりだ。
- (6) きかいがあれば、またお会いしましょう。
- (7) 三日後に、あつい封筒が彼の元に届いた。
- (8) 線路を取りのぞく工事が行われている。
- (9) アルプススタンドに特別席をもうける。
- (10) テレビでせんでんされている風邪薬を買った。
- (11) 彫刻のてらんかいが、森の中で行われる。
- (12) 友人をさそって釣りに行った。
- (13) 彼女の演技は会場の人々をあつとうした。
- (14) 二人の人生観は、大きくことなっている。
- (15) 現在の体重をいじするために、努力する。
- (16) 軍備のかくちように反対する。
- (17) 彼の発想は、年齢のへだたりを感じさせない。
- (18) ランナーは拍手とかんせいに迎えられた。
- (19) この曲はだれでもかんとんに弾くことができる。
- (20) 場内での写真撮影はゆるされていない。

このへらりの漢字なら、  
カンタンに書くことが出来る。



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

言葉／熟語の構成 ④

※のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

1 次の(1)・(2)の熟語と同じような組み立ての語を、後の(ア)～(カ)のうちから二つ選び、記号で答えなさい。

- (1)\* 航海 「 ー 」 「 ー 」 「 ー 」  
 (ア) 地震 (イ) 停車 (ウ) 長短 (エ) 黒板 (オ) 開会 (カ) 父母  
 [宮城県]  
 (2)\* 人類 「 ー 」 「 ー 」 「 ー 」  
 (ア) 技術 (イ) 巨大 (ウ) 湿原 (エ) 臨海 (オ) 無事 (カ) 雑草  
 [滋賀県]

2 次の文章の「見物」と同じ構成(組み立て)になっている熟語を、後の(ア)～(エ)の中から二つ選び、その記号を書きなさい。  
 河原には風が渡り、凧はたちまち空高く舞いあがってゆく。見物の者たちは、凧を見上げた。

- (ア) 好奇 (イ) 不意 (ウ) 四散 (エ) 到達  
 「青森県」

3 次の(1)～(3)群の漢熟語の中で一つだけ他と異なる性格のものがあります。(ア)～(エ)の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。(早大本庄高等学校)

- (1) (ア) 頭痛 (イ) 日没 (ウ) 転職 (エ) 地震  
 (2) (ア) 読書 (イ) 殺人 (ウ) 即位 (エ) 販売  
 (3) (ア) 正邪 (イ) 賞罰 (ウ) 貴賤 (エ) 単純  
 「 ー 」 「 ー 」 「 ー 」 「 ー 」

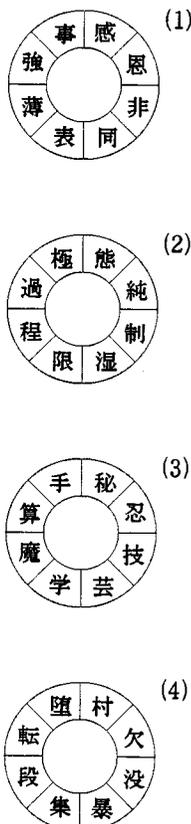
4 「思想」のように、同じ意味の漢字を二つ重ねて作られている熟語を、次の文中から見つけて書きなさい。  
 [穎明館高]

例えば、いわゆるマイホーム主義にしたところで、それを自分の思想にするためには、権力に抗して妻子を守る覚悟が必要なのは言うまでもない。

5 「無秩序」「非合理」「不可能」などのように、(1)～(3)の字をつけると打ち消しの語になるものを、後から「」の数だけ選び、記号で答えなさい。

- (1)\* 無 「 ー 」 「 ー 」 「 ー 」  
 (ア) 自然 (イ) 常識 (ウ) 完成 (エ) 自覚  
 [山口県]  
 (2)\* 非 「 ー 」 「 ー 」 「 ー 」  
 (ア) 確認 (イ) 作法 (ウ) 公式 (エ) 発表  
 [島根県]  
 (3)\* 不 「 ー 」 「 ー 」 「 ー 」  
 (ア) 理解 (イ) 関係 (ウ) 合理 (エ) 完成 (オ) 完全  
 [石川県]

6 次の図の、まんなかの円に漢字を一字入れ、周囲のどの漢字とも熟語がつかれるようにしなさい。  
 [関西学院高]



答え合わせをして、注もよく読みなさい。

第 5 日

12月14日

説明的文章 (5)

理由吟味

基本例題

まず上の問題を解いてから下の補充トレーニングに進みなさい。

■ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(法政大女子高)

日本にはなぜ「美女」が少ないのか、私は以前から素朴な疑問を抱いていた。といつても、それは絵画作品に登場する「美女」の話である。女性の姿形を美の典型として描き出す伝統は、洋の東西を問わず古くから培われた。ところが近世に入って浮世絵が目もあやな美人画を生み出すまで、日本では女性を真正面から描いた例は数少ない。『薬師寺・吉祥天像』など仏画に描かれた女神・天女像や、平安後期の『源氏物語絵巻』など一部の絵巻物や歌仙絵を除けば、日本の画工は、女性美の造形にはさほど熱心ではなかったように見える。

その意味で、正倉院の『鳥毛立女図屏風』は、堂々と美女を主題に据えた作品として異彩を放っている。六扇の屏風には、それぞれ枝を広げた樹木の下に、唐装を身にまとった女性が描かれている。丸々としたほお。切れ長の目。小さな口。体つきはふくよかで女性的だが、おっとりした風情の中にもリンとした気宇を漂わせ、晴朗でおおらかな万葉の世界をほうふつさせる貴婦人だ。これほど単純な線で、美のふくらみと繊細さを描ききったのは、どのような画家だったのだろうか。

実は、この絵は長く、唐朝から渡来したと見られてきた。しかし、屏風の下張りに使われていた古文書に天平勝宝の日付があったことや、画面に一部残された鳥毛が日本産ヤマドリのもので分かり、今ではわが国で制作されたことがはっきりした。唐朝から渡来したと見られたのは、わが国に「美女」を描く伝統がなかった、というだけの理由ではない。

「なぜ……なのですか」「……の理由を答えなさい」というような問題の解き方を学習します。「何の理由か」を明確にしたうえで、どこにその理由が書いてあるかをつかみましょう。

「……から」「……ので」の形で答えるのが原則です。

補充トレーニング

理由が書いてある部分を探しましょう。

● 前後の文脈をつかむ

上の文章は、三つの段落に分かれています。各段落の内容を読み取りましょう。

(2) ———の「唐朝から渡来したと見られてきた」理由はどの段落に書いてありますか。数字で答えなさい。

第一 [段落

① 第一段落と第二段落の内容は、次のようにまとめられます。

① 日本には、絵画作品に登場する「美女」が少ない。

② 正倉院の『鳥毛立女図屏風』は、堂々と美女を主題に据えた作品として異彩を放っている。

(3) 『鳥毛立女図屏風』は、中国、日本のうち、どちらで制作された絵ですか。書きなさい。

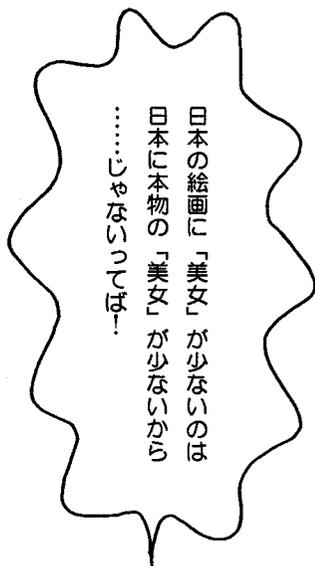
むしろ注目されたのは、「美女」よりも、その背後に描かれた「樹木」の方である。樹木の下に人物を配した絵は「樹下人物図」と呼ばれ、唐代の中国では広く流行した構図だった。その多くは、樹木の下に憩う美女を描いたもので、貴顕の人々の墓室を飾る壁画だった。この絵が唐からの舶載品と見られたのも、描かれた美女が唐風に化粧し装っているからというより、構図そのものが日本の伝統とは異質であったためだろう。

(外岡秀俊「世界名画の旅——正倉院・鳥毛立女図屏風」より)

(1) 【理由吟味】——の「唐朝から渡来したと見られてきた」主な理由としてもっとも

適したものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 日本には美女を描く伝統がなかったこと。
- (イ) 描かれた女性が唐衣を身にまとっていたこと。
- (ウ) 屏風の下張りに天平勝宝という日付があったこと。
- (エ) 構図が日本風ではなかったこと。



(4) 『鳥毛立女図屏風』が日本で制作されたことは、どのようなことから分かりましたか。その根拠が書いている部分に~~~~を引きなさい。

① (1)のウは、日本で制作されたと考えられる根拠の一つです。

(1)の理由は、第三段落の後半に書いてあります。

● 理由を表す言葉に注意する

理由を表す言葉には、「から」「ため」などがありましたね。(1)の(ア)・(イ)・(エ)と対応する事柄は、どのような形で文章中に示されているでしょうか。

(ア) ↓ わが国に「美女」を描く伝統がなかった、というだけの理由ではない。

(イ) ↓ 描かれた美女が唐風に化粧し装っているからというより、

(エ) ↓ 構図そのものが日本の伝統とは異質であったためだろう。

(5) (1)の(ア)・(イ)・(エ)のうち、理由としてもっとも重要だと考えられるのはどれですか。右の説明を参考にして、記号で答えなさい。

② 三つとも、まったく無関係というわけではありませんが、理由としての重さが違いますね。

トレーニング

上段の問題を先にやり、納得がいかなかったら、下の補充トレーニングの手順で、上の問題を考えましょう。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔お茶の水女子大附属高〕

① 文明は例外なしに川のほとりに育った。エジプト文明は「ナイルのたまもの」であり、オリエント世界はチグリス、ユーフラテスが生んだ。中国文化は黄河の流域で形成され、インドの宇宙はガンジス河畔にひろがった。

② 都市もまた川が育てた。どんな町も川を持つている。川は都市の母であり、川によってその町の表情はつくられる。セーヌ川なしにパリは考えられないし、テベレ川なしにローマはありえなかった。ロンドンではテムズ川で代表され、ニューヨークはハドソン川で性格づけられる。モスクワはモスクワ川が風情を添え、ウィーンは「美しき碧きドナウ」が見事に仕立てた。上海は黄浦江が名所とされているし、ハイデルベルクはネッカー川が心地よい散歩道を提供している。ダブリンの町に光るリフィ川、トレドを取りまくタホ川、ドレスデンをこの上なく優雅な町にしたエルベ川……こんなふうにあげていったら足りない。

③ 川にはどうぜん橋がかけられる。これらの街々のおもむき深い橋をいくつ渡ったことだろう。私の胸中にはその橋が、いまも虹のようにかかっている。そう、橋によって都市の顔はきまるのだ。だから橋のない——ということは水のないということだが——町ほど味気ないものはない。運河でもいい、堀割でもいい、とにかく水が流れ、水がたたえられてそこに橋が渡されている風景、そんな風景を身近に持つ町こそ、わが理想の都市である。なぜなら、水は生活の源であり、生命の故郷だからである。うるおいというなら、水はうるおいそのものではないか。

④ その水を渡って向こう側へ行く。向こう側へ行くことは、もうひとつの別の世界へ入って行くことだ。おなじ町が水によって、異質の空間に仕立てられるのである。日本語の橋という言葉は、それを見事にいい当てている。橋も箸もおなじ発音だから混同するなどとよくいわれるが、とんでもない、橋と箸、さらに端(はし)とは、まったく同義なのだ。ひとつの世界が終わるところ、そこが「端(はし)」である。「箸」は食物を口へ渡す橋の意であり、「解(はしけ)」とは岸と船とのあいだを結ぶ橋の役目をするところからそう

補充トレーニング

理由は、必ずしも直前や直後に書かれているとは限りません。段落ごとに内容を読み取り、理由が書いている部分を探しましょう。

(2) 【段落内容】 ①段落は、何について書いてありますか。次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 川のほとりに育った文明の例
- (イ) 川のほとりに育った文明の例外
- (ウ) 文明が川のほとりに育った理由
- (エ) 各地の古代文明の共通点と相違点

(3) 【段落内容】 ②段落は何について書いてありますか。簡潔に書きなさい。

① 文明が起こったところと、都市がつくられたところには、共通点がありますね。

(4) 【内容吟味】 文明が起こったところと、都市がつくられたところには、どのような共通点がありますか。  
①・②段落の中から漢字一字を抜き出し、□に記入しなさい。

□があること

① 文明が川のほとりに育った理由は、都市に川が流れている理由と同じです。



3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(□～⑥は段落番号。)

(島根県)

□ ある小学校の教師から、昔話のような非合理で荒唐無稽な話を小学生に聞かせると、子どもたちが合理的に考えられなくなったり、現実を逃避してしまつて空想世界に逃げこむようなことになったりしませんか、と真剣に尋ねられたことがある。「打ち出の小槌」などという話をする、子どもたちは打ち出の小槌を振って好きなものを出してくればよい、というので、熱心に働いたりしなくなるのではないかと心配されるのである。

② このことに対しての直接的な答えはあとで述べることにして、次のような事実に注目してみよう。日本と西洋とを比較するとき、西洋の方が合理的思考に優れているということにはだれしも同感するであろう。われわれ日本人は、西洋と接触することによって、その合理的思考法を学んだと言つてもいい。A、西洋と日本とを比較して、文学としてのファンタジー作品について考えてみると、西洋の方がはるかにすばらしいファンタジー作品をもっていることがわかるのである。子どもの読むものに限定してみても、まったくすばらしい作品があらには存在するのに対して、日本にもある程度のファンタジー作品はあるが、比較にならぬほど少なく、内容的にも豊かではないのである。

③ また、日本の作者で子どものためのファンタジーの傑作を書いた人というと、宮沢賢治を思いつく人が多いと思うが、宮沢賢治は、よく知られているように、日本の作家には珍しく、きわめて理科的な思考のできる人であった。筆者は、宮沢賢治が日本の作家にしてはすばらしいファンタジーを書いたことの因として、彼が合理的な思考力を身につけていたことがあげられると思つている。

④ このような事実から考えても、昔話とかファンタジーなどが、人間の非合理的な態度を助長するものではないことがわかるであろう。実のところ、子どもたちはファンタジーはファンタジーとして楽しみつつ、それを現実と混同したりするようなことはしないのである。ウルトラマンの話に感激して、ウルトラマンごっこをし、空を飛んでいるつもりで走り回ったりはするが、本当に空が飛べると思つて、二階の窓から飛び出したりは決してしないのである。

⑤ 寺田寅彦はかつて、物理学を研究するためには、ギリシヤ神話を読むべきである、と言つたとのことである。④「物理学」から見て、ギリシヤ神話はまったくばかげているなど

補充トレーニング

(2)\* 「接続する語句の補充」 A、B に入れるのに最も適当な語を、次の(ア)～(エ)の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- A (ア) ところで (イ) すなわち  
 (ウ) だから (エ) むしろ  
 B (ア) しかし (イ) なぜなら  
 (ウ) つまり (エ) ただし

(3)\* 【具体内容】 ①に「昔話のな話」とありますが、**「昔話」**のどういう内容が「非合理で荒唐無稽」だと言うのですか。文章中に示されている具体例をもとに、「……という内容」という形で、全体が三十字以内になるように答えなさい。


(4)\* 【文章構成】 ②に「このことについて述べる」とありますが、筆者が「直接的な答え」を述べているのはどの段落ですか。③～⑥の中から一つを選び、番号で答えなさい。

○ 「このこと」は、直接には□段落の「昔話のような～しませんか」という小学校の教師の問いを指しています。



漢字／頻度順 八一〜一〇〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

- (1) 輪郭 □(2) 握る □(3) 誤る
- (4) 憩い □(5) 忙しい □(6) 映す
- (7) 有無 □(8) 円滑 □(9) 覆う
- (10) 抑える □(11) 趣がある □(12) 赴く
- (13) 掲げる □(14) 隠す □(15) 含蓄
- (16) 記憶 □(17) 貴重 □(18) 岐路
- (19) 均衡 □(20) 掲載

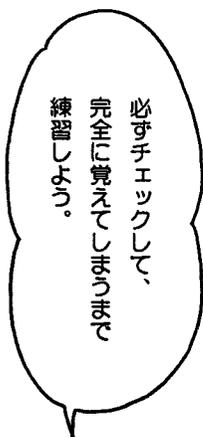
2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

- (1) 手術後のけいかは極めて順調です。
- (2) グループの一人でもかけると、何か物足りない。
- (3) 北国の冬の寒さはきびしい。
- (4) 彼の話は多少事実がこちようさされている。

--	--	--	--

- (5) わずかなしげんを有効に利用する。
- (6) ペットの顔は飼い主ににるといわれる。
- (7) 兄夫婦はキリスト教をしんこうしている。
- (8) 自分の行動にせきにんをもとう。
- (9) 君は、チームにとって頼もしいそんざいだよ。
- (10) 友達どうしでお互いの作品をひひようし合った。
- (11) 本物とにせ物のびみょうな違いを発見した。
- (12) 彼は話題がほうふでまわりの人を退屈させない。
- (13) ゆうびんポストにはがきを入れた。
- (14) あんいな生き方を戒められた。
- (15) 先生にいんそつされて工場を見学する。
- (16) 愛唱歌集をいんさつしてクラス全員に配った。
- (17) 作曲家の死後、作品のちがが認められた。
- (18) ゾウリムシの生態をかんさつする。
- (19) ダムの工事はきぼが大きい。
- (20) 優しい言葉に気持ちがあすくわれた。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



言葉／四字熟語 ①

チエックしよう

高校入試によく出題されるものばかりです。チエックして覚えてしまいましょう。

次の意味を表す四字熟語を、後から選んで書きなさい。

	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)			
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>			
十人十色 しくはつく 四苦八苦	一日千秋 せんまばんべつ 千差万別	七転八倒 しちてんぱつたう 一石二鳥 いっせきにちよう	千変万化 せんべんばんか 一朝一夕 いっせいちよいつせき	〓 物事がさまざまに変化していくこと。	〓 いろいろな違いがあること。	〓 好みなどが、人それぞれで異なること。	〓 転げまわって苦しむこと。また、その様子。	〓 ひどい苦しみ。人間のあらゆる苦しみ。	〓 一日を千年にも感じる事。	〓 一つのことをして、二つの目的を果たすこと。	〓 わずかな時間。

使われている漢字と読み、意味を正確に覚えましょう。

トレーニング

\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

② 「千差万別」にならって、次の□に適切な漢数字を入れて四字の熟語を作りなさい。  
〔同志社高〕

(1)	<input type="text"/>	転	(2)	<input type="text"/>	朝
(3)	<input type="text"/>	日	(4)	再	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	秋		再	<input type="text"/>
					再
					再

③ 次の□に適切な四字熟語を後から選び、記号を書きなさい。

(1)\* コブシの花が下を向いて咲く年は不作だ、という言い伝えを耳にしたのは、その後、みちのくに住んでからであったが、花の咲き具合が農村の人々の心を□させてきたことを改めて知ったのも、東北地方の早春のことであった。  
〔和歌山県〕

- (ア) 一喜一憂 (イ) 一進一退 (ウ) 一利一害 (エ) 一長一短  
〔 〕

(2)\* 猛練習の結果、テニスの県大会で優勝したことで、まさか優勝することはあるまいと思っていたので、よけいうれしかった。  
これは□にはできないことだ。  
(中学生の作文より) 〔熊本県〕

- (ア) 一朝一夕 (イ) 一長一短 (ウ) 一進一退  
(エ) 一石二鳥 (オ) 一日千秋  
〔 〕

答え合わせをして、図もよく読みなさい。

第 6 日

12月15日

説明的文章 (6)

具体内容

抽象的な表現よりは、具体的な表現のほうがわかりやすいものです。文章中の難しい語句や抽象的な表現を、具体的な事柄におきかえながら読んでみましょう。入試でもよく問われることです。それができるようになれば、君の読解力——文章を読んで理解する力——も、かなりのレベルに達しているはずです。

基本例題

まず上段の問題を解いてから、下の補充トレーニングに進みましょう。

\* のついた問題が、高校入試に出題されたものです。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔宮城県〕

① バートランド・ラッセルの自伝の中に、「私は耳で本を読んだ」とあるから、目を疑った。さきを読んでみると、ひとに音読してもらって、それを聴いている、というのだ。読み手は奥さんの役と決まっていたらしい。

② 会社で社長が自分で読むのを面倒がって、秘書に読ませて聴いている、のとはわけが違う。ラッセルといえば、かくれもなき大哲学者、思想家である。そういう人がたんなる無精で他人に本を読ませるわけがない。怠けてそうしたのなら恥ずかしくて、いくら何でも、平気で吹聴したりはできないだろう。ラッセルは意図して耳に本を読ませていたのである。若いときは文章が思うように書けなかったが、こういう「読書」をするようになってから、だんだん上手になった、と打ち明けている。ラッセルの文体は平易でしかも含蓄があり、英語散文の範としてよいとかねてから感銘していたが、その秘密がこんなところにあるうとは思ってもみなかった。

③ それとはにかく、①われわれ日本人はことばの声をないがしろにし過ぎる。音読というのは小学生のとき以来、ごぶさた、である。漢字を使っているためにそうなるのかもしれない。詩人の自作朗読が欧米ではさかんだが、われわれの間ではほとんど聞かない。②日本語の文章にリズムが乏しいのも、沈黙のことは原稿用紙に書きつけるためと思われる。調子のいい文章と言われるのが、われわれの社会で決して名誉にならないのだからおもしろい。

補充トレーニング

具体的な内容をつかみましょう。

ヒントは、必ず文章中にあります。文章全体をよく読んで、その語句を別の言葉で言いかえている部分や、くわしく説明している部分を探しましょう。

上段の(1)は、今までの日本人と、このごろの若い人たちの、文章に対する接し方の違いを説明しています。

(2) 今までの日本人の文章への接し方が書いてある段落の番号を書きなさい。 「 」 の段落

(3) ……①「われわれ日本人はことばの声をないがしろにし過ぎる」とありますが、それは具体的にどのようにいうことですか。その内容にあたる事柄をすべて選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 音読をよくする (イ) 音読をほとんどしない
- (ウ) 詩人の自作朗読がさかんである
- (エ) 詩人の自作朗読をほとんど聞かない
- (オ) 調子のいい文章を書くことが名誉にならない

④ このごろの若い人たちは、ことばを知らない、文章が書けないとしかられているが、耳の方は発達している。耳を使って読んでいる人が多いのは、はからずもラッセルの響に倣っているわけで、今までの日本人の知らない世界を開きつつあることになる。耳でも読みたがっている若い世代が、座談会記事とか対談集などを歓迎する。

⑤ ある文章家が苦心談として、書き上げた原稿を見直すときには声を出して読む。もし、それでつかかるところがあれば、どこかおかしいのだから、言いまわしを変えるのだ、と教えてくれたことがある。これは耳で書いていることになる。

⑥ 耳で読む人がふえれば、そういう書き方がますます必要になってくるに違いない。ことばの耳を遊ばせてきたことを反省したい。

(外山滋比古「ことばの作法」より)

◆ 語句注 ◆

○ バートランド・ラッセル(一八七二—一九七〇) イギリスの哲学者。思想家。一九五〇年、ノ

ーベル文学賞を受けた。

○ 響に倣って「むやみやたらに人のまねをして。」

(1) 【具体内容】 ④の段落に——「今までの日本人の知らない世界を開きつつある」とありますが、そのことを次のように説明したいと思います。アとイに入ることばを、③の段落からそれぞれ五字～七字で抜き出して答えなさい。

日本人は欧米人に比べてアを使い過ぎるため、どうしても文章にリズムが乏しくなってしまう。しかし、このごろの若い人たちはイを重んじるようになり、それに伴って、従来日本では名誉とされなかった調子のいい文章を書くことの必要性が、意識され始めてきた。

イ	ア

① 「ないがしろにする」は、「無視する。軽んじる」という意味の語句です。

② 「日本語の文章にリズムが乏しい」のはなぜですか。文章中から二十字以内で書き抜きなさい。


③ この部分をもとに(1)の「ア」を考えましょう。

このごろの若い人たちの文章への接し方は、④の段落に「くわしく書いてあります。」

④ 「このごろの若い人たちは」には、どういう人が多いのですか。文章中のことばを使って答えなさい。

⑤ 「耳で本を読む」とは、どうすることですか。具体的に説明している部分を③の段落から探して、~~~~を引きなさい。

⑥ 実際には、音読している人の声を聴くことになりませぬ。

(5)・(6)の解答をもとに(1)の「イ」を考えましょう。

「今までの日本人」が「ないがしろにしてきたものを、このごろの若い人たちは大事にしているんだ。」



## トレーニング

上段の問題を解いてから下の補充トレーニングに進みましょう。  
補充トレーニング(4)～(6)は、上段(3)の解き方を説明したものです  
が、ほかの入試問題を解くためのヒントにもなっています。

## 2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔山口県〕

人はどんな動機で本を手取るのだろうか。そのきっかけはさまざまであろう。だが、私にとっては、何気なく、というのが正直なところ、いちばん多いような気がする。

そう、私はいつも本を、何気なく読み始めるのだ。という、いかにもいいかげんな読書のように思われるかもしれないが、長年の読書生活を通じて、私は本というものは何気なく読むときに——つまり、さしたる目的もなく読み始めるときに、いちばん豊かな読後感を与えるものだと言信するようになった。

なぜなのだろう。それは逆に、何か目的を持って本を開く場合を考えてみるとよくわかる。目的とは期待といいかえてもよいが、何かを期して本を読むことは、要するに本を自分の目的に仕えさせようとするのである。だが、そもそも本というものは自分の目的に奉仕するために書かれているわけではない。書物はそれぞれに独自の世界をつくりあげているものなのだ。

(A)、本のなかには読者の要求を計算に入れて、ただひたすら読者のために書いたという本がないわけではないが——実用書というのがその最たるものであろう——それとて、百パーセント自分の要求を満たしてくれるわけではないから、つまるところ、何かの目的をもって本を開けば、そして、その要求が切実であればあるほど、本に対するは強まるばかりだ。それで多くの読者は腹を立て、つまらん本だと投げ出してしまおう。しかし、それは要求のほうが無理なのであって、そういう読者は書物の何物たるかを知らないだけのことである。

(B)、何の目的も要求も抱かず、それこそ何気なく本を読みだすと、思いもかけないことがそこに書かれていて、思わず、ほう、とつりこまれてしまうことが多い。そして、自分にはあまり興味のなかったことに興味が湧いてきたり、ぜんぜん知らなかった世界を発見したり、自分の心のなかのイメージが大いに触発されて鮮明に浮かびあがりたりする。書物の功德とは、そこにあるのだ。

(森本哲郎「読書の旅」より)

## 補充トレーニング

(3)は、「具体的な内容」にあたる事柄がどこに書いてあるかをつかむことがポイントです。

(4) 【内容吟味】——「豊かな読後感」は、どういふときに与えられると述べられていますか。同じ意味を表す二つおりの表現を第二段落から探して、それぞれ「」でくくりなさい。

● 第二段落は「そう、私は……」の部分です。

「豊かな読後感」の具体的な内容は、この前の部分には書いてありません。このあとの文章中から探しましょう。

(5) 【段落内容】 第三段落～第五段落には、それぞれどういふときが書いてありますか。後の(7)・(4)から選んで、記号で答えなさい。

第三段落 「なぜなのだろう。……」なのだ。」「  
第四段落 「(A)、……」ことである。」「  
第五段落 「(B)、……」そこにあるのだ。」「

(7) 何か目的を持って本を読むとき

(4) 何も目的を持たずに本を読むとき

● 「豊かな読後感」が与えられるのは(4)のときなので、(4)のときが書いてある段落に、具体的な内容が書いてあると考えられます。



最後は、少し難しい文章です。難しい文章でも、落ち着いてじっくり読みこめば、内容をとりえることができるはずですよ。

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔市川高〕

生物は二つの生命をもっている。一つはもちろん個体もっている命である。個体はそれぞれ、できるだけ健康に体を保ち、可能な限り長生きすることを願っている。しかしどんな個体でも、いずれは死を迎えねばならない。もう一つの生命は、種の命である。

生物個体はすべてどれかの種の構成員である。一羽のツバメは、ツバメという種の中の一羽であり、私という個人は、ホモ・サピエンスと呼ばれる人類の一員である。生物の世界はさまざまな種によって成立している。種はいわば物質界における元素のようなもので、生物社会を構成する基本単位である。個体が生命をもっているように、種もまた種としての生命をもっている。個体の生命は動物では百歳を越すことはまれである。象は百五十歳ぐらいの長命を保つなどといわれたが、最近の研究では、平均寿命は五、六十歳というところらしい。哺乳類ほにゅうの中では、平均寿命が七十五歳を越した文明国の人間が、最も長命であろう。

種の生命は、個体の生命を超えて存続する。何十万年、何百万年という長い間、いやむしろ永久に存続することが要請されている。基本的には、種の生命には死がないと考えてよいだろう。動物の個体は何のために生きるかという、種を維持するために生きている、ということが出来る。

動物の社会では、個体の生活がすべて、種族維持のために捧げささげられている。ウスバカゲロウの幼虫は、アリジゴクを作って醜い姿で三年間を過ごす。羽化すると、透明な羽をもったなややかな姿となって空に舞う。そして配偶者を見つけ、交尾をし、産卵して二十四時間の寿命を終える。八年ゼミといわれるセミもそうだ。地中の生活を八年も送り、数日の地上の生活を経てから死ぬ。彼らは地中で孤独な生活を送り、ただ子孫を増やす行為をするためにのみ、地上に現れるのである。

動物は、何のために生きているのかという問題に明確な答えをもっている。それは子孫を残し、種を永遠に存続させるためなのである。このことは、高等な哺乳類においても、

補充分しーニング

(3) 【具体内容】——「二つの生命」の内容にあたる語句を第一段落から探して、それぞれを引いて示しなさい。

① 「一つはもう一つの生命は」という形で示されています。

上段(1)の設問文には、「五字以内で」とあります。「個体もっている命」は九字の語句なので、そのまま(1)の答えにはなりませんね。

(4) 【内容吟味】「個体もっている命」と同じ意味を表す五字以内の語句を、本文から書き抜きなさい。

-----  
-----  
-----  
-----

この文章では、「個体」と「種」という二つの語句がキーワードになっています。

(5) 【対応・対立関係】「個体」と「種」について、次のようにまとめました。「」にあてはまる語句を本文から探して書き抜きなさい。ただし、同じ記号がついた「」には、同じ語句が入ります。

個体

種

○生命をもつ

↓いずれば「a」を迎える

○生命をもつ

↓基本的には「a」がない



漢字／頻度順 一〇一～二〇〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

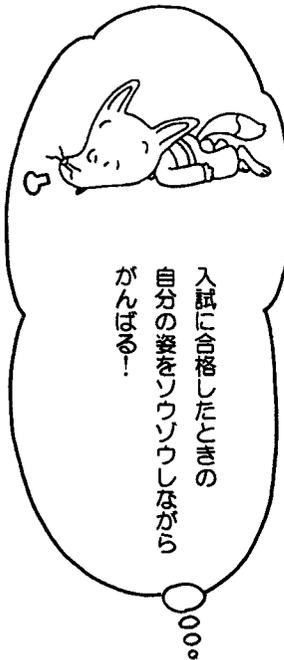
- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| □(1) 懸念  | □(2) 謙虚  | □(3) 占める |
| □(4) 渋滞  | □(5) 執着  | □(6) 承諾  |
| □(7) 慎重  | □(8) 済む  | □(9) 折衷  |
| □(10) 率直 | □(11) 妥協 | □(12) 陳列 |
| □(13) 慎む | □(14) 載る | □(15) 弾む |
| □(16) 発祥 | □(17) 便乗 | □(18) 憤慨 |
| □(19) 分析 | □(20) 抱負 |          |

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

- (1) 芸術のきゆうきよくをきわめる。
- (2) 電車の中でぐうぜん友人に会った。
- (3) 地球の気温は年々上昇のけいこうにある。
- (4) 同窓会の出席者は八十人くらいのけんとうだ。

--	--	--	--

- (5) 子供たちのすこやかな成長を願う。
- (6) 寒い日は家の中にいるほうがけんめいだ。
- (7) 友に別れをつけるために電話をかける。
- (8) あらゆるこんなんを乗り越えて目的を果たす。
- (9) いろいろな方法をこころみだが失敗に終わった。
- (10) 兄は銀行にしゅうしょくしました。
- (11) 運動会のじゆんびがすっかり整った。
- (12) 外国の人気歌手を日本にまねく。
- (13) 食欲があるのは、元気なしようこだ。
- (14) 一週間後に返すというじょうけんで本を借りた。
- (15) 研究にせんねんして、立派な論文を書いた。
- (16) 二十年後の自分の姿をそうぞうしてみる。
- (17) 夕焼けで、辺りが赤みをおびて見える。
- (18) 本州と四国の間には橋をきずく。
- (19) 話し合って問題の解決につとめる。
- (20) 発掘された品が博物館にてんじされている。



--	--	--	--

言葉／四字熟語 ②

チェックしよう

高校入試によく出題されるものばかりです。  
チェックして覚えてしまいましょう。

1 次の意味を表す四字熟語を、後から選んで書きなさい。

	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
栄枯盛衰 心機一転								
喜怒哀楽 温故知新								
意味深長 言語道断								
危機一髪 無我夢中								
	ほんの間近に危険が差し迫っていること。	あることをきっかけに、気持ちがすっかり変わる。	裏に深い意味が隠されていること。	国家などが、栄えたり衰えたりすること。	我を忘れて夢中になること。	昔からの考えなどを学び、そこから新しい知識や道理などを導き出すこと。	あまりにひどくて何も言えないこと。もつてのほか。	いろいろな感情。

トレーニング

高校入試に出題された問題に挑戦します。  
終わったら、忘れずに答え合わせをしましょう。

2 次の二つずつの四字熟語のうち、正しい方を選んで記号に○をつけなさい。また、意味も後から選んで記号で答えなさい。 [日出女子学園高]

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| (1) A 意味深長 | (2) A 温古知新 | (3) A 言語道断 |
| B 意味慎重     | B 温故知新     | B 言語道断     |
| (4) A 短刀直入 | (5) A 絶対絶命 |            |
| B 単刀直入     | B 絶体絶命     |            |

- (イ) もつてのほかのこと (ロ) いきなり本論に入って説き進むこと  
 (ウ) 意味が深く含蓄のあること (エ) 今まで聞いたことがないこと  
 (オ) 昔のことを研究し新しい知識や道理を知ること  
 (カ) のつびきならぬまでに追いつめられたさま

- (1) [ ] (2) [ ] (3) [ ] (4) [ ] (5) [ ]

3 次の□に漢字一字を補い、四字熟語を完成しなさい。 [女子美大附属高]

- |          |         |         |
|----------|---------|---------|
| (1) 危機一□ | (2) 公明□ | (3) 無我□ |
| (4) 栄枯盛□ | (5) 喜怒□ | 大□      |
|          |         | 中□      |

4 \* □に適切な四字熟語を後から選び、記号に○をつけなさい。 [青森県]

早く岸について漁師にでも(妹を)助けにいらつてもらうほかないと思ひました。私は□で岸のほうをむいて泳ぎだしました。

- (ア) 前後不覚 (イ) 不眠不休 (ウ) 無我夢中 (エ) 危機一髪

第 7 日

12月16日

説明的文章 (7)

### 対応・対立関係

あることとあることを対比しながら説明していくというのは、説明的文章の典型的な展開パターンの一つです。何と何を対比しているか、どのような事柄とどのような事柄が対応しているかに注意しながら、文章を読み進めていきましょう。

### 基本例題

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔静岡県〕

下段の語句注を参考にして上段の問題を解きなさい。その後、下の補充トレーニングに進みましょう。  
\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

文章を書くのは難しいが、しゃべるのは何でもない——そう思っている人がすくなくないが、誤解である。名文を書くのなら別だが、とにかく書くというのなら、話すよりずっとやさしい。書きそこなえば直すことができる。推敲すいこうという手もある。時間がかけられるのである。ところが、口から出たことばは、しまった、と思うときはもう手遅れ。とり消すことができない。それで、「ひとこと多い」と陰口をきかれる人間がたくさんできてしま

う。  
天子のことばは一度口から出たが最後、とり消すことができない。それを、「りんげん論言汗のこと」とし、出た汗はひっこまない、とたとえた。しかし、話すことばが汗のようなものであるのは、何も王侯に限ったことではない。①われわれの日常の会話もすべてこれ、汗でないものはない。そう思えば、話なんか……などとは言っていられなくなる。

詩を書く、と言うとたいへんなことのようにだが、散文を書くのなら、だれにもできそうである。おもしろいことに、どうも散文を書く方が詩よりも難しいらしい。やはり、②すぐれた詩でなく、とにかく、詩を書くということにして、の話である。

どこの国の③文学史を見ても、大昔、まず④詩歌が発達する。かなり洗練された詩や歌が生まれるようになってはじめて⑤散文が顔を出す。そのはじめの散文たるや、まことに幼いもので、いわばよちよち歩き。堂々たる詩歌とは比べべくもないのである。詩学の確立の方が早く、散文学とも言うべき⑥文体論はずっとおくれた後世でない形をなさない。

### 語句注

- 天子てんし王のことば。
- 論言ろんげん王のことば。
- 散文さんぶん詩や歌でないふつうの文章。
- 名文めいぶんをものするものする名文を書く。

### 補充トレーニング

対応関係や対立関係をとらえましょう。

- (4) 上の文章の対応・対立関係を、表にまとめます。後の1～4の問いに答えて、次の表を完成させなさい。

文章		文章	
○一見 <small>(イ)</small>	「	○一見 <small>(ウ)</small>	」
○実は <small>(エ)</small>	「	○実は <small>(オ)</small>	」
〓書き直すことができる		〓とり消すことができない	
▽ <small>(キ)</small>	「	▽ <small>(ク)</small>	」
		▽ <small>(カ)</small>	」
		▽ <small>(ク)</small>	」



トレーニング

まず上段の問題を解いてから、下の補充トレーニングに進みなさい。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔十文字高〕

自然の運行のなかでの夜や朝は、人びとの考え方のいかんにかかわらずやってくるわけであって、夕方の薄暗さをかりに明け方の薄明ととらえようと、それにかかわりなく夜とぼりは落ちてくるし、逆に明け方はかりに夕暮れとまちがえられても、それと無関係に夜はあけて日はのぼる。

しかし私たち人間がその主人公となって作り動かしている世の中というものの歩み、つまり人間の歴史というものは、自然の歩みのように、人間の考えと意志、思惑にかかわりなく勝手に進むものではなく、人間たちによって左右されるものなのだ。

（真下信一「自立への旅立ち——青春の序曲」より）

(1)\* 「対応・対立関係」の「自然の運行」と比較して述べられていることばを五字以内で記しなさい。

Four dashed boxes for writing answers.

筆者はこのあとの部分で、「運命はわれらを幸福にも不幸にもしやしない。ただその材料と種子をわれらに提供するだけである。」と述べています。



補充トレーニング

(2) 【対応・対立関係】の「自然の運行」と同じ意味で使われていることばを本文から探して、五字以内で記しなさい。

Four dashed boxes for writing answers.

(3) 【対応・対立関係】「自然の運行」のどのような性質と、「人間の歴史」のどのような性質とが対立しているのですか。それぞれ、本文から書き抜きなさい。

1 自然の運行の性質

2 人間の歴史の性質

① 「Aというものは、BのようにCではなく、Dなのだ。」という文の形に注意しましょう。CはBの性質、DはAの性質を表します。ここでは、Aにあたるのが「人間の歴史」、Bにあたるのが「自然の運行」ですね。

3 次の記事を読んで、後の問いに答えなさい。

〔早稲田高〕

自分の美貌を鼻にかけた美人というものはいかに美人であっても、他人に快感を与えないものだが、自分の美しくないことに絶えず劣等感を抱いて卑下している人は、それによらず他人を不快にする。それに人間というものは、こちらが考えているほど、こちらの容貌に注意を払っていないものである。

自分に友達のできないのは、口が重く、しゃべることが下手で、相手を引きつけたり、悦ばせたりできないからだと思っっている人も少なくない。しかしこの種の人も、人間というものは、こちらの言うことなどをそんなに注意してきいているものではないと考えることによつて、気持ちが悪にならないだろうか。何かすばらしいことを自分が言うとき相手は期待していいだろうかと考えるために、ますます口が重くなる。だが、世のなかで、自分の言うことにいちばん耳を傾けているのは、ほかならぬ自分自身であることを知っておくのはむだではあるまい。何かつまらないことを言つて笑われはしまいか、軽蔑されはしまいかと心配するのは、相手が自分の言葉に耳をすませているだろうと思つている一種の自惚である。こちらが不安と心配で胸をドキドキさせてしゃべつてるときでも、相手は全然別のことを考えているばあが多いのである。まさにアランの言う「対象のない恐怖」であつて、そんなことによくよするのには全く意味のないことである。

「自分を虫けらだと思つている者は人に踏みにじられる」という格言がフランスにあるが、他人から尊重されるには、まず自分で自分を尊重することが第一である。われながらつまらないヤツだと思つている人間に、他人が敬意を払うはずがあるまい。自分は人に好かれたい人間だと思つているかぎり、自分を好いてくれる人はないだろう。人間というものはいつも友達を欲しそふにして、卑屈な愛想笑ひをしてる人間よりも、孤高の態度をくずさない人間に対して、むしろ友情を求めたがるものである。

(河盛好蔵「人とつき合う法」より)

- (1)\* 【対応・対立関係】——「自分で自分を尊重する」と同じような意味を持つ部分はどこですか。文中から十字以上、十五字以下で書き抜きなさい。


補充トレーニング

- (2) 【対応・対立関係】——「自分で自分を尊重する」と反対の意味を持つ語句を第三段落から四つ探して、それぞれを引きなさい。

- ① 「自分で自分を尊重していない」という意味を表す語句を探します。

- (3) 【具体内容】「自分で自分を尊重していない人」として、第一段落と第二段落では、それぞれどのような具体例をあげていますか。それぞれ「でくくつて示しなさい。」

- ② 自分の容姿や性格を気にしすぎる、自意識過剰の人です。こういう人は、他人からも尊重されることがないのです。

筆者は、この文章を通して、どういふことを言おうとしているのでしょうか。

- (4)\* 【文の補充】□にあてはまる最も適当な文を次から選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 友情は時として自意識の不足から生まれる。  
 (イ) 無益な劣等感をすてるに越したことはない。  
 (ウ) 性格を改造して友達ができるようにするべきだ。  
 ③ この答えが、筆者の最も言いたいことです。

次は、直接対応・対立関係を問う問題ではありませんが、対応・対立関係を正確におさえることが、文章を読解するためのポイントとなるものです。

4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔鹿児島県〕

科学も詩も両方とも言葉を使う。だが科学と詩では、この言葉の使い方、言葉の扱い方がちがっている。

〔第一段落〕

科学での言葉は、鋭利なメスのように物や事物のなかに切りこみ、分けている。物のひとつひとつを切り分けてゆき、物のひとつひとつに言葉を張りつける。このように切り分けたうえで、またそれらの物を組みなおしてみる、それが科学での言葉の役割である。だから科学の言葉は、科学者の自己を離れて物のほうに張りついている。科学が主観を排除して、客観的事実だけを示すというのは、このように科学では言葉が自己を離れているということによるのである。いってみれば、そこでは、物が言葉をしゃべっているようなものだ。

〔第二段落〕

これにたいして、詩での言葉は、物を表現するときでも、自己を離れるということはない。風が地上を遠く離れて高い空中に舞っているながら、それでも風をあげる人の手に糸がしっかりと握られている。詩の場合も同様だ。物そのものが語っているようにみえても、言葉は詩人の自己の手に握られているのである。だからたとえその詩がどんなに客観的な描写にみえようとも、そこには詩人の自己の言葉が生きているのである。

〔第三段落〕

科学の言葉は専ら伝達の言葉であるが、詩の言葉は詩人の自己の表現の言葉である。科学の言葉は正確に他人に伝達されさえすればよいのだが、詩の言葉は、正確な事実の伝達よりも、詩人の心が読む人の心に伝えられればよいのである。

〔第四段落〕

このように科学の言葉は「物」の言葉であり、詩の言葉は「われ」の言葉である。だから科学の言葉はその筋道のあとを正確にたどりさえすれば、だれにもそれを理解することができるが、詩の言葉は「われ」の言葉であって他人向けの言葉ではないから、詩人の「われ」のなかに、詩人の「われ」の世界のなかに入りこまなければ、その心の世界は理解できないのである。

〔第五段落〕

（石田春夫「学生のための自分学」より）

補充トレーニング

科学と詩では、言葉の扱い方がどのようにちがっているかを、読み取りましょう。「科学での言葉」と「詩での言葉」の対応・対立関係が正確におさえられれば、上段の問題はすべて解けるはずですよ。

(5) 【段落内容】 第二段落は、「科学での言葉」「詩での言葉」のうち、どちらについてくわしく説明していますか。

(6)\* 【段落内容】 第三・第四段落の内容を説明した文として最も適切な文は、それぞれ次のどれですか。記号で答えなさい。

- (ア) 話題にたいする一般的な見方を類推しながら説明している。
- (イ) 話題の中で示された二者の一方を具体的に説明している。
- (ウ) 前段までをまとめてさらに関連することを説明している。
- (エ) 前段までの考えをもつに至ったいきさつを説明している。

第三段落〕 〔 第四段落〕

○ それぞれ、「科学での言葉」「詩での言葉」のうち、どちらについて説明しているかを読み取りましょう。

(1)\* 【具体内容】 科学では言葉と自己との関係はどのような状態にあると述べていますか。文中から最も適切な部分を十一字で抜き出して書きなさい。

状態

(2)\* 【内容吟味】 第三段落における風の例で筆者は何を語りたかったのですか。文中から最も適切な部分を十七字で抜き出して書きなさい。

ということ。

(3)\* 【理由吟味】 線部での「言葉の扱い方」のちがいは何によるのですか。それを説明した次の文の(ア)には二字、(イ)には四字の適切な語句を、第四段落の中からそれぞれ抜き出して書きなさい。

科学では言葉で筋道だてて(ア)を正確に伝えようとするのにたいして、

詩では言葉で(イ)を伝えようとすることによる。

(4)\* 【要旨】 この文章に流れている筆者の考え方に最もよく合うものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 科学で「月」といえば、宇宙に存在する一天体を指している。
- (イ) 詩で「月」といえば、だれが表現しても同じ意味内容である。
- (ウ) 科学での「月」という表現は、科学者の心情を反映している。
- (エ) 詩での「月」という表現には、個人的情感がこめられている。

〔 〕

(7) 【対応・対立関係】 「科学での言葉」と「詩での言葉」について、次のようにまとめました。「 〔 〕にあてはまる語句を本文から探して書き抜きなさい。

科学での言葉

詩での言葉

○ 鋭利な(ア) 物を切り分けたうえで また組みなおす

言葉が(ウ)を離れて いる

○ (カ) の言葉 正確に他人に伝達され さえすればよい

○ 「われ」の言葉 だれにも理解すること ができる

- (ア) 〔 〕
- (イ) 〔 〕
- (ウ) 〔 〕
- (エ) 〔 〕
- (カ) 〔 〕
- (キ) 〔 〕

答え合わせをして、後の(9)もよく読みなさい。

漢字／頻度順 一 二 一〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

- (1) 奔放 □(2) 翻訳 □(3) 容赦
- (4) 愛惜 □(5) 鮮やか □(6) 否や
- (7) 田舎 □(8) 会得 □(9) 推す
- (10) 訪れる □(11) 駆ける □(12) 偏る
- (13) 丘陵 □(14) 緊張 □(15) 崩れる
- (16) 境内 □(17) 削る □(18) 拘束
- (19) 光沢 □(20) 荒涼

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

- (1) 目標にとうたつするまでがんばろう。
- (2) 学級委員のふたんを軽くするよう協力し合う。
- (3) 落ち着いた気持ちで試験にのぞむ。
- (4) それだけ勉強すれば合格はほしようにするよ。

--	--	--	--

- (5) 外国とのほうえきが盛んに行われる。
- (6) 絵のできばえにとってもまんぞくしている。
- (7) 早起きしたので時間のよゆうがある。
- (8) 時がうつるにつれ、町の様子も変化する。
- (9) 今回のテストはいがいにやさしかった。
- (10) 名前を急に呼ばれて、いっしゅんどきっとした。
- (11) ピアノのえんそう会に行く。
- (12) おだやかなよい天気が続く。
- (13) クイズに答えて賞品をかくとくした。
- (14) 交通事故で意識不明におちいる。
- (15) 日照りが続き、田畑がかわいてしまった。
- (16) 木のみきにあいている穴からリスが顔を出す。
- (17) 秋は何となくかんしよ的になりやすい。
- (18) この温泉は硫黄をふくんでいる。
- (19) 山々には秋のけはいがただよっている。
- (20) 戦争でぎせいになった子供の数はとても多い。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

書けた！と思つて、  
解答の国語をよく見て、  
細かいところまで確認しよう。



言葉／四字熟語 ③

チェックしよう

高校入試によく出題されるものばかりです。チェックして覚えてしまいましょう。

1 次の意味を表す四字熟語を、後から選んで書きなさい。

	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
五里霧中 無味乾燥 起承転結 以心伝心 一刀兩得 我田引水	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	見通しや方針などの立たないこと。	漢詩の構成。文章の構成。	前置きなしで、いきなり言いたいことを話しますこと。	自分に都合のいいようにしたり、考えたりすること。	あじけなく、おもしろみのないこと。	口に出して言わなくても、互いに心が通じ合うこと。	口に出して言わなくても、互いに心が通じた状態。	どうしても逃れようのないせつぱつまった状態。

トレーニング

\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

2 空欄にそれぞれ漢字を書き入れて、「一」を含む四字熟語を完成させなさい。 [兵庫県]

(1) <input type="text"/>	始終	(2) <input type="text"/>	両得	(3) <input type="text"/>	不乱
(4) 言行	<input type="text"/>	(5) 一喜	<input type="text"/>		

3 次の  に適切な四字熟語を後から選び、記号を書きなさい。 [東京学芸大附属高]

同一の分類体系のなかに住んでいるのなら、言葉はいらない。ハラとハラで十分わかり合えるし、 が可能である。

- (ア) 悠々自適 (イ) 面従腹背 (ウ) 付和雷同  
 (エ) 以心伝心 (オ) 片言隻語

4 次の四字熟語の中には、それぞれ一字ずつ誤りがあります。それを抜き出し、正しく改めなさい。 [日出女子学園高]

(1) 初志貫徹	(2) 一後一会
(3) 意心伝心	(4) 起承転決
(5) 当意则妙	
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

答え合わせをして、注もよく読みなさい。



時代が進むにつれて、まず石炭がエネルギーとして活用され、次いで石油も大量に使われるようになりました。さらにエネルギー源としてだけでなく、薬やプラスチックなどの化学製品としても幅広く活用されるようになりました。それは、科学技術が進歩し、人間の知恵が高まったからにはかなりません。

⑤ ですから、将来においても、現在は捨てて顧みないようなものが、人間の生活向上のために次々に活用されるようになると思います。そしてそのように、この世の中のものすべて役に立つ」という基本認識のもとに、一つでも多くのものをよりよく生かしていくところに、お互い人間の一つの大事な使命がある。また科学技術など学問の存在する意義もあるのではないかと思います。

まつしたろうのすけ じんせいこころえちやう  
(松下幸之助「人生心得帖」より)

(1) 【要点】 文章中の②の段落と同様の内容をまとめて述べてある部分があります。その部分を文章中から抜き出し、二十字以内で書きなさい。


(2) 【段落内容】 文章中の④の段落はどんな考えの例ですか。その考えを述べてある部分分を文章中から抜き出し、三十字以内(句読点を含む)で書きなさい。




(5) ——「それが本来の姿ではないか」とありますが、何が本来の姿なのですか。「それ」が直接指している部分に、~~~~を引きなさい。

(6) (5)で~~~~を引いた部分をもとに、②の段落の要点を三十字以内(句読点を含む)でまとめなさい。


⑦ 中心的な事柄をもとにまとめ、付加的な事柄は省略します。また、なるべく内容の重複は避けます。(1)は、(6)の解答と同じ内容を述べている部分を探して書き抜きます。

(7) ③の段落を書いている内容によって三つに分け、二つめのまとまりと三つめのまとまりの最初の三字(句読点を含む)をそれぞれ書きなさい。


③の段落には、次のようなことが書いてあります。

- 1 現状の確認
  - 2 将来に対する期待
  - 3 人間の歴史についての考え
- 右の3は、2の根拠ともなる事柄です。  
「たとえば」で始まる④の段落が、右の三つのうちどれを受けているかを考えて、上段(2)に答えなさい。

トレーニング

下の語句注を参考にして、本文を読みなさい。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔兵庫県〕

僕らが昔から最高の道徳書として仰いできた聖典には、「論語」にしる、「福音書」にしる、またはソクラテスにしる、決して単なる抽象的な理屈に頼って僕らを説得してきたのではない。(a)それは今日いう意味での著書でさえない。(b)それらはすべて身辺に従った弟子たちによって編まれたある優れた人物の言行録である。そこで僕らが接するのはある抽象的な説理でもなければ、まして命令的な指図でもない。孔子といい、キリストといい、ソクラテスといい、それぞれ身近な周囲から誠実な尊敬の眼で眺められた比類に絶した大人物のはつらつと生きる姿である。こういう偉人たちは、少しも人前に出すために自分を飾ったりことさらに気取ったりしていない。そこに伝えられているのは、彼らののびやかな日常坐臥の当たり前の姿である。そしてまさしくそれゆえに、彼らの心の脈動は生き生きと僕らに伝わって、僕らを道徳的に高めるのである。あらゆる虚飾を脱した彼らの偉大さは、身近から眺められることで何物も失わない。したがって、彼らは身近の人々から高く仰がれたと同時に、僕らにとつても親しむべき人である。いわば彼らの心は幾千年の歲月を隔てても、じかに僕らの心に通い、僕らの心を衝く。(中村光夫「心に触れる言葉」より)

(1) 【要点】 本文の内容を次のようにまとめたいと思います。空欄に、本文中からそれぞれ十字以内の適切な言葉を抜き出して書き入れなさい。

聖典は、①  であって、彼らの日常生活における当たり前の姿を伝えている。そのことが、聖典に接する僕らの心を動かし、②  力になつて

下の補充トレーニングで、①について考えてみましょう。

◆語句注◆

- 福音書＝キリストの生涯と教訓を伝える書物。
- ソクラテス＝古代ギリシアの哲学者。
- 説理＝意見や理屈。
- 日常坐臥＝ふだんの生活。

補充トレーニング

(2) 【指示する語句】——(a)「それ」は何を指していますか。漢字二字で答えなさい。

(3) 【指示する語句】——(b)「それら」は何を指していますか。本文の言葉を使ってまとめなさい。

(1)の①は、「聖典は、である」のにあたる語句を本文から抜き出して書き入れます。初めの三つの文から考えましょう。

(4) 【内容吟味】 初めの三つの文のうち、聖典が「でない」ということを述べている文を、で消さない。

(5) 【内容吟味】 初めの三つの文のうち、聖典が「である」ということを述べている文に、を引きなさい。

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔熊本県〕

明快な文章を、というのは、ただ、わかりやすければいいというのとはすこし違う。戦後ずっと、わかりやすく書けと言われてきたけれども、そのわりに文章は平明にはならなかった。字づらはやさしくても、ふにやふにやして、とらえどころのないような文章がふえた。明快な文章は、を持っていてはならない。筋道が通っている必要がある。つまり、論理的であって、しかも、わかりやすい、それが明快な文章ということになる。

〔第一段落〕

この論理的というのが問題である。どこかに客観的な論理なるものがあって、それに則つてものを書き、言うことのように考えている人がすくなくない。それなら、イギリス人の論理もエジプト人の論理も、日本人と同じでなくてはならない。たしかに、ごく基本的な次元では世界中が同一原理に支配されている。しかし、論理にはもっと人間的な論理もある。言葉で表現される論理は、一プラス一が二になるような数式に比べてはるかに柔らかい論理で、柔らかい論理は、民族の文化や言語によって微妙に違うのがむしろ正常である。だからこそ、完全な翻訳ということがむずかしい。数学の式なら翻訳を要しない。

〔第二段落〕

〔外山滋比古「日本の文章」より〕

(1) 【要点】 第二段落の要点を、二十五字以内で書きなさい。(句読点を含む。)

Grid for writing the answer to question (1).

下段の補充トレーニングで、第一段落の要点もまとめてみましょう。

補充トレーニング

(2) 【語句の補充】 の部分に入れるのに最も適当なもの

なものを次の中から選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 美 (イ) 愛 (ウ) 情 (エ) 骨 (オ) 肉

① 直後の「筋道が通っている必要がある」は、「を持っていてはならない」と同じ内容を、別の言葉で言いかえたものです。

第一段落には、「明快な文章とはどのようなものか」ということが書いてあります。

(3) 【要点】 第一段落の要点を、二十五字以内で書きなさい。(句読点を含む。)

Grid for writing the answer to question (3).

② 二つの条件を満たしていなければ「明快な文章」とはいえません。条件の内容を明らかにした形でまとめます。



4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔山形県〕

① かつて文字というものに人々がなれ親しみ、文字のもつ意味の大きさを十分にわきまえていた時代には、人は軽々しく口約束などしなかった。できもしないことをその場の気分であつたりもしなかった。とりわけ実務の世界はことごとく書類とハンコで動いた。ところが、最近ではたいていのことを電話ですませる習慣がうまれてしまったものだから、書類とハンコというと、なんだかあまりにも堅苦しいような気分をいだく人たちもうまれてきたらしいのである。うまくいつているときは①それでよろしかろう。しかし、口頭の約束であっても、法律的にいえば、それは正式な拘束力をもつ。ただ、それが書類になつていないおかげで、言ったとか言わないとか、「記憶にありません」といったようなあいまいな話になつてくる。この種の話は、まさしく幼稚園のけんかのようなもので、ここまですわが国の文化は退行現象を示したのかと、わたしなどは大いに心配もし、憂うつにもなるのだ。人類史的にいうならば、電話文化というのは、どうやら、話し言葉を主体としていた、昔の部族社会的な様相を呈しはじめているらしいのである。

② とはいふものの、かつての部族社会では、話された言葉というのは千鈞の重みをもっていた。人は口にした言葉に対して責任をもつたのである。そうでないかぎり、部族社会の健全な維持は不可能であつた。だが、現代の「部族社会」はまことに不安定である。たしかに本人が口にしたことを「記憶にありません」と言つてのけるだけの驚くべき無責任が横行し、②世間もそれだけ寛容といえれば寛容、ルーズといえればルーズになつてしまつてゐるのだ。

③ 人が文字を書かないですむようになったというのは、明らかに人類文明に対する電話の貢献である。だが、文字にしなければいけないことをも、電話なしに口頭の約束でいいかげんに放置するという習慣がいつの間にか浸透しはじめたというのも事実であつて、その点に関しては、電話文化は、社会の組織化というよりも、むしろ③組織崩壊化に力を貸している点がないでもない。もちろん、それは電話という通信機器、ならびにそのシステムが悪いのではなくて、そのシステムの使い方において、人間がいま危険な状態に立ちいたつてゐるといふ、それだけのことだ。

④ 若い人たちのたわいもないおしゃべりが電話回線ののるといふのは、べつだん問題と

補充トレーニング

ほかの入試問題を解きながら、各段落の内容を読み取りましょう。

(2) 【指示する語句】 ①「それ」はどういうことを指しますか。文章中から二十字以内で抜き出して答えなさい。


①段落では、かつての「文字文化」と最近の「電話文化」とを対比して説明しています。このうち、中心となるのは後者なので、上段(1)のように要点をまとめることができます。では、②段落について考えてみましょう。

(3) 【対応・対立関係】 ②段落の内容を、次のようにまとめました。「」にあてはまる語句を本文から抜き出して書き入れなさい。

(ア)	「の」	部族社会
(イ)	「の」	「部族社会」
(ウ)	「を」	口にした言葉に対して
(エ)	「が」	口にした言葉に対する
もつ		横行

するにもあたらないし、それはそれでよろしい。人間のおしゃべりというものの大部分は、考えてみれば無意味なものであり、その無意味なものの中にこそ人生の楽しみが用意されているからだ。しかし、そうした風習が社会生活の中にもちこまれ、無責任な「部族社会」体制がうまれるとするならば、これはゆゆしき大問題といわなければなるまい。文字の世界を離れて、話し言葉だけでつながれているような文化は、わたしにはあまり健全なものとは思えないのである。文字にすべきところは文字にし、話し言葉で十分な部分は話し言葉ですませるとというのが、電話文化時代に生きるわれわれの④「哲学」であろうと、わたしなどは考える。

(加藤秀俊「生活リズムの文化史」より)

(1)\* 【要点】 本文を整理するために、次の表を作成しました。あとの問いに答えなさい。

〈段落番号〉 〈内容のまとめ〉

- ①…………… 最近では電話に頼りすぎ文字を避ける風潮があり、そのために軽々しい口約束が混乱をうみだしている。
- ②…………… A
- ③…………… 電話は人類文明に貢献しているが、また、社会の組織崩壊化に力を貸している面もある。
- ④…………… 電話文化時代を生きるためには、B「言語生活をする」という哲学をもつことが大切である。

1 右の表の空欄Aにあてはまるように、「内容のまとめ」を書きなさい。

2 Bにあてはまるように、七字以内で適当な言葉を書きなさい。


(4)\* 【内容吟味】——②「世間も」の「も」は、他にも並ぶものがあることを示すときに使う助詞です。「世間」と並ぶ言葉を、文章中から抜き出して答えなさい。

〔 〕

(5)\* 【理由吟味】 次は、——③「組織崩壊化に力を貸している」の理由を説明した文です。A、Bにそれぞれあてはまる言葉を書きなさい。

電話の普及で、文字にすべき部分も口頭ですます習慣が生まれ、その結果として、口にした言葉に対して

A 態度をとりやすくなり、人と人との B 関係が失われがちになるから。

A ( ) B ( )

(6) 【具体内容】——④「哲学」の具体的な内容にあたる部分を「」でくくりなさい。

この部分は、上段(1)の④段落の〈内容のまとめ〉にある、「B」言語生活をする」という部分と対応しています。この部分の内容にあつた七字以内の語句を考えましょう。

(7)\* 【語句の意味】——④「哲学」は、ここでは次のどの言葉の意味に最も近いですか。(ア)～(エ)から一つ選び

記号に○をつけなさい。

- (ア) 願望
- (イ) 心情
- (ウ) 心構え
- (エ) 学問

答え合わせを忘れずに。

漢字／頻度順 一四一～一六〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

□(1) 戸外 □(2) 誇張 □(3) 異なる

□(4) 錯覚 □(5) 詩歌 □(6) 時雨

□(7) 至極 □(8) 成就 □(9) 精進

□(10) 浸透 □(11) 既に □(12) 速やか

□(13) 静寂 □(14) 接触 □(15) 注ぐ

□(16) 粗末 □(17) 存在 □(18) 尊重

□(19) 頼む □(20) 知己

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

□(1) 父は銀行につとめている。

□(2) 各国の選手が集まって技をきそう。

□(3) 長い年月をへて、ようやく二人は再会できた。

□(4) 多大な努力が、よいけっかをもたらしたのだ。

--	--	--	--

□(5) げんしようにとらわれず、真実を見つめよう。

□(6) 民族こゆうの文化を守る。

□(7) わが校は、百年の伝統をほこっている。

□(8) 答案のあやまりを直す。

□(9) 山田博士のこうせきをたたえる。

□(10) 機械のこうぞうがよくわからない。

□(11) 西村教授のこうぎを聞く。

□(12) こんきよのないうわさを気にはいけぬ。

□(13) 春になったのに、まだ雪がこっている。

□(14) 水泳の前にじゆうなん体操をしよう。

□(15) ハトは平和のしょうちょうです。

□(16) しんけんな態度で仕事に取り組んでいる。

□(17) せいかくな長さを測る。

□(18) ちりもつもれば山となる。

□(19) この学校には最新のせつびが整えられている。

□(20) すなおな性格が人から好かれる。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

線をはねるのか、止めるのか。  
線が長いか、短いか。  
線がつきぬけているのか、出ないのか。  
線がいてしまうまで、チェックしよう。



◆言葉／四字熟語 ④

チェックしよう

1 次の意味を表す四字熟語を、後から選んで書きなさい。

高校入試によく出題されるものばかりです。チェックして覚えてしまいましょう。

	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
暗模索 あんぢゆうもさく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
取捨選択 しゆしせんたく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
臨機応変 りんきおうへん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大器晩成 たいきばんせい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
疑心暗鬼 ぎしんあんき	決まった考えをもたず、軽々しく他人の 説に従うこと。							
大同小異 だいどうしょうい	手掛かりのないところで、いろいろ探っ てみること。							
付和雷同 ふわらいてう	一度疑い始めると、何もかも信じられな くなること。							
異口同音 いこうどうおん	機に臨み、変化に応じて、適切な行動を とること。							
	多くの人が口をそろえて同じことを言う。							
	小さな違いはあるが、大体同じこと。							
	必要なものを選び出し、そうでないもの を捨てること。							
	大人物は若いころは目だたず、年をとっ てから大成する。							

トレーニング

\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

2 次の□を漢字でうめなさい。

〔慶應義塾高〕

- (1) 暗  模索
- (2) 一日  秋
- (3) 前後  覚
- (4)  転八倒

3 次の問いに答えなさい。

- (1)\* 次の四字熟語は、一つを除くといずれも人間の気持ちの弱さを言い表しています。言い表していないものを一つ選びなさい。〔桐蔭学園高〕
- (ア) 付和雷同 (イ) 薄志弱行 (ウ) 天衣無縫 (エ) 優柔不断

- (2)\* 次の四字熟語のうち、一つだけ構成が異なっているものがあります。それを記号で答えなさい。〔栃木県〕
- (ア) 大器晩成 (イ) 喜怒哀楽 (ウ) 老若男女 (エ) 古今東西

- 4\* 次の□に適当な漢字を入れ、四字熟語を完成しなさい。〔滋賀県〕
- 人から受ける支えを取□選□する。長所をはぐくむ支えを受け入れて活用し、短所を伸ばす支えを取りいれないようにする。

取

選

答え合わせをして、今日の学習を終わりにしなさい。

第 9 日

12月18日

説明的文章 (9)

### 文章構成

### 基本例題

■ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔山梨県〕

まず上の問題を解いてから下の補充トレーニングに進みなさい。

\* のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

□ 平常の生活、住み慣れた町や村の生活ではふつうひとはとくに考えないでいても、旅先では否応なしに考えさせられるものに、**〈方位〉**や**〈方角〉**がある。まず、その土地その土地で東西南北の方角がどこに当たるのかがわからなければ、地図を地図として見ることもできなければ、自分がいまだどこにいるのかもわからない。また、行きたいと思うところがあっても、どちらの方向に行つたらいいかもわからない。私も旅先などで、知らない街を地図をたよりに歩いていて、方角を勘がいたため、四つ角を反対方向へ行つてしまい、かなり遠くまで行つてからその間違いに気がついて、しまったと思いつながら引きかえすことがよくある。とくに地下道や地下鉄の駅のたぐいから地上に出てきたときがいけない。

② 方向や方角を間違えたままですとんでもないことになるのは、山歩きをしていて道しるべにいたずらがされているのに気がつかず、九十度変えられている方向指示に従ったり、また自動車を運転していて道路標識を見誤って遠くまで行つてしまうような場合である。そういうことにも私は懲りた経験があるので、一時は懐中磁石を欠かさず持ち歩いていたことがあった。最近のようにこみ入った地下道のたぐいが多くなると、かなり知った街のなかを歩くときでも懐中磁石をもっていたほうがいいかもしれない、と思つている。それにしても、方向を間違えるということは、たとえば九十度間違えたり、百八十度間違えたりすると――最初はその差が距離として小さくとも、その差がどんどん開いて大

各段落のはたらきを明らかにして、文章の構成をつかみましょう。

○ 問題提起をしている段落（話題を明らかにしている段落）

○ 説明をしている段落（具体例をあげたり補足したりする段落）

○ 結論を述べている段落（筆者の意見が最もよく表れている段落）

段落のはたらきは、各段落の内容や段落相互の関係から考えます。

### 補充トレーニング

各段落のはたらきを考え、文章の構成をつかみましょう。

上段(1)の、文章の展開を説明した文の内容を、もう少しくわしく考えてみましょう。

「①段落で取りあげた話題について」↓(2)

「②段落では、さらに具体的に述べたあと」**A**」↓(3)・(4)

「③段落で、**B**」↓(5)

①段落は、話題を明らかにするはたらきをしています。

(2) 「①段落で取りあげた話題」にあたるものを、それぞれ漢字二字で、二つ書き抜きなさい。


②段落と③段落では、「話題」について、どのように述べているでしょうか。

きくなっていくから、おそろしい。そこに「方向」や「方角」というものの重大さがある。人の生き方や知のあり方の「方向」については、なおさらそうである。

③ そういう意味での「方向」や「方角」については、かつて中学生のころに読んだだれかの本のなかに、「プラトンは言った、偉大とは方向を与えることだ」とあったのを思い出す。プラトンがいったい、どの本にどのような場所でそうしたことを言っているのか、また厳密にどういう意味でそれを言っているのか、実はたしかめもしないで今日に至っている。そういうことはあっても、「偉大とは方向を与えることだ」とはいいことばである。たとえプラトンが言ったのでなくとも意味深いことばなので、出典も気にならないほどなのである。

(中村雄二郎「知の旅へ」より)

(1)\* 「文章構成」 次の文は、この文章の内容の展開のうえで、①②③段落がどういう関係でつながっているかを説明しています。A B に最もよく当てはまるものを、あとのA・Bの(ア)から(オ)までの中から、それぞれ一つずつ選び、その記号を記入しなさい。

①段落で取りあげた話題について、②段落では、さらに具体的に述べたあと A  
③段落で、 B。

- |     |                |               |
|-----|----------------|---------------|
| A   | (ア) 自分の考えを発展させ | (イ) 自分の反省を述べ  |
| (ウ) | 対立する実例をあげ      | (エ) 他人の考えを引用し |
| (オ) | 他人の態度を批判し      |               |
- B
- (ア) 話題に対立する立場についての意見を、他の人の考えを引用して述べている
- (イ) その話題を取りあげて説明してきた理由を、例をあげながら述べている
- (ウ) 今までの話題とはまったく関係のない、新しい話題を取りあげている
- (エ) その話題について疑問に思う点を、例を示しながら並べてあげている
- (オ) 話題に関連する他人のことばを引用しながら、自分の考えを確かめている

(3) ②段落を、書いてある内容によってさらに二つに分け、後半の最初の六字を書きなさい。


ⓐ A には、後半の説明にあたる語句が入ります。

(4) ②段落の後半の内容は、次のうちどれにあたりますか。一つ選び、記号に○をつけなさい。

- |              |           |
|--------------|-----------|
| (ア) 筆者の考え    | (イ) 筆者の反省 |
| (ウ) 対立する実例   | (エ) 他人の考え |
| (オ) 他人に対する批判 |           |

ⓑ (4)の(ア)は、上段(1)のAの(ア)と対応しています。

(5)\* —— 『偉大とは方向を与えることだ』とはいいいことばである。』とありますが、筆者は、なぜ、「いいことばである」と言ったのですか。最も適当なものを、次の(ア)から(オ)までの中から選び、記号に○をつけなさい。

(ア) このことばから、懐中磁石を持ち歩くことの大切さに気づくことができたから。

(イ) 意味深いことを言っている、有名な哲学者プラトンの言ったことばだから。

(ウ) このことばには、人間が生きていくうえでとても大事なことがこめられているから。

(エ) このことばは、自分の中学生のころを、なつかしく思い出させてくれるから。

ⓒ 筆者は、このことばに共感しています。(5)の答えをもとに B にあてはまる語句を考えましょう。

トレーニング

まず上段の問題を解いてから下の補充トレーニングに進みなさい。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔鹿児島県〕

(西洋マツタケ)

フランスの有名な数学者ポアンカレは、「創造とは、マッシュルームのようなものだ」と言っている。

(第一段落)

マツタケの根は、きわめていい条件が与えられると、次第に円形に広がりながら発達していき、ところが、この好条件がいつまでも続くと、根だけが発達して、キノコをつくらずに、ついに老化して死んでしまう。ではどうするか。①発達してきた根に、ある時点で、根の成長を妨害する条件が与えられなければならない。その妨害条件は、例えば季節の変化による温度の上昇あるいは下降といった外界の条件であったり、また、松やにとか、酸性の物質とかの物質条件であったりするようだ。このような条件が与えられると、その妨害にもめげずに生きるために、根は胞子という形で種子をつくって発達を続けようとする。そうして、やがてマツタケとなるのである。

(第二段落)

創造とは、そのマツタケのようなものだ、と言ったポアンカレの言葉の意味を、わたしは次のように解釈する。

〔創造には、まず、マツタケが地表面下で根を広がせていくような蓄積の段階がなければならぬ。だが、蓄積だけが続いては、マツタケがキノコをつくらずに枯死するようになり、人は創造することもなく、生涯の幕を閉じなければならなくなってしまうのだ。仏教の「因縁」という言葉に於てはめて考えてみると、「因」とは、地表下で発達を遂げたマツタケの根のように、人が親から受け継いだり、周囲の人間から学んだり、学校で勉強したりしながら、自分の中に蓄積していったものではないか。だが、この「因」だけで創造・飛躍ができるわけではない。〕

③ある時点で、マツタケに与えられる妨害条件に相当するものが、人がものを創造する上でも、必要なものである。蓄積を表出させる条件が要るのである。それが「縁」である。ただし、「縁」にも二種類あると言われている。「順縁」と「逆縁」である。実生活では、しばしば、「逆縁」が表出エネルギーになるといふ。「逆縁」という言葉を一般的な言葉に置き換えると、「逆境」という言葉にあてはまるのではないだろうか。

(第三段落)

補充トレーニング

(3) 上段(2)に示された展開に使われている語句について 次の1〜3の問いに答えなさい。

1 【段落内容】 第一段落の「他者の言葉」にあたる部分に、くくを引きなさい。

2 フランスの数学者ポアンカレの言葉です。

2 【段落内容】 第二段落の「その中の語句」にあたる語句を第一段落から探して書き抜きなさい。

3 これをもとに第二段落のはたらきを考え、上段(2)のAに適切な語句をあてはめます。

2 について解釈している  
 2 について提示している  
 2 について反復している  
 2 について……



3 【段落内容】 第三段落の「他者の言葉」とは、だれの言葉ですか。人名で答えなさい。

4 ここで再び第一段落の言葉にかえっていますね。Bにあてはまる語句は、第三段落の初めの二行をもとに考えます。

創造性を生み出す力、創造性の背景にある重要な条件はこの二つだ、とポアンカレは言っているであろう。  
(第四段落)

(広中平祐「生きる(と)学ぶ(と)より」)

(1)\* 【要点】 第三段落の「」の部分の要点は何ですか。次の□□の中に文中の言葉を使って、二十字以内で答えなさい。

人間は

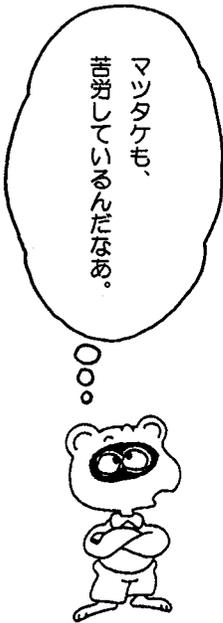

と(う)と

(2)\* 【文章構成】 次は、この文章を四段落に分け、その展開を示したものです。A・Bに相当する語句をあとこの語群から選び、書き入れなさい。

(第一段落) 他者の言葉の引用↓(第二段落) その中の語句についてのA  
↓(第三段落) 他者の言葉のB □□ ↓(第四段落) 結論

〔 解釈 提示 反復 説明 根拠 〕

下の補充トレーニングで、具体的に内容を考えてみましょう。



ポアンカレの言葉に示されている「創造」と「マツタケ」(または「マツタケ」)の対応関係をとりえることが、文章読解のポイントとなります。

(4)\* 【対応・対立関係】 ①・②は、「創造」の場合にあてはめると、何にあたりますか。文中の最も適当な二字の語でそれぞれ答えなさい。

①	□□
②	□□

① — ①にあたることは第三段落の「」で、②にあたることはそのあとの部分で説明されています。上段(1)は、①の語句を使ってまとめるといいでしょう。

(5)\* 【具体内容】 ③の説明として最も適当なものは次のどれですか。記号に○をつけなさい。

- (ア) マツタケがある程度根を発達させた時点
- (イ) 人がある程度創造への蓄積を重ねた時点
- (ウ) マツタケが今にも枯死しようとする時点
- (エ) 人が今にも創造・飛躍しようとする時点

① 「人」「マツタケ」のうち、どちらについて説明しているかに注意しなさい。

(4)の解答と第四段落の表現をもとに、上の文章の結論をまとめると、次のようになります。

創造性の背景にある重要な条件は、蓄積と逆境の二つである。

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔鳥取県〕

ことばのあり方の一つに、おおげさなことばは我々をあまり感動させず、つつましく発せられたAことばが、しばしば人を深く揺り動かすという事実がある。〔第一段落〕

わたしは、フランス語の辞書を見ていてもおもしろいことばを見つけた。それは「贈り物」ということばである。フランス語の贈り物ということばの中には、人を喜ばせおもしろがらせることばという意味がある。人を喜ばせるためにことばを贈り物にするという習慣がある。これはなかなか意味深いことのように思われる。実は日本でも、古い時代にはそういう習慣があつて、①平安時代あたりには、ことばは時に最高の贈り物だつた。それはどういう意味かというところ、ことばの贈り物が男女の間で大切な役割を果たすことが多かったからである。古い時代に限らず現代でも、ことばの贈り物は、時によって人の心をよく伝える。

〔第二段落〕

青年と娘がお互いに好意を抱いたとき、どんな贈り物をするだろうか。物は贈れなくとも、ことばを贈ることはできるだろう。ある日、二人はどこかへハイキングに行く。美しい山があり湖がある。仮に、青年が相手に向かって、「今日のこの風景を君にあげよう。」と言つたとする。そのことばが、娘にとっては永く忘れられない贈り物として心に残るといふことは、あり得ることである。その風景は②万人のために存在している風景だけれども、二人にとつては、他のだれにも見えない光がその風景を照らしているのであつて、つまりそれは二人だけのための風景なのだつた。青年のささやかなことばを通して、一つの風景は娘の心の中に、ほかの人には見えないある輝きとともに、別の一風景となつて棲みつく。すなわち彼女は、他のなにものをもつても替えがたい贈り物を受け取るのである。目の前の風景は、そういう一人の人間の発することばがつけ加わることによつて、「贈り物」となる。

〔第三段落〕

確かに、贈り物というのはささやかなものであつていい。ささやかだからこそ、それをもたらしたほうでは、自分の心の中でそれを暖め、楽しむことができる。大切なことは心がかもつているかいないかにある。「今日のこの風景を君にあげよう。」ということばがそれを発した青年とそれを聞く娘との関係において、豊かな音楽を奏でるかどうかが、唯一の大切なことである。

〔第四段落〕

補充トレーニング

(3)\* 【語句の補充】 A にあてはまる最も適當なことばを、文章中から一語でぬき出して、書きなさい。

第一段落の内容の中心となるのは、次の部分です。

A ことばが、しばしば人を深く揺り動かす

(4)\* 【具体内容】 ①「平安時代あたり……贈り物だつた」の「贈り物」とは、何ですか。最も適當なものを次から選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 漢詩
- (イ) 物語
- (ウ) 和歌
- (エ) 俳句
- (オ) 日記

(5) 【要点】 第二段落の内容の中心となる文を探して、初めの五字を書きなさい。

① フランス語の「贈り物」ということばや、日本の平安時代の風習を話題にしたのは、どんなことを述べるためでしょう。

(6)\* 【対応・対立関係】 ②「万人のために存在している風景」と対照的に表現されているところがあります。それを十字でぬき出して、書きなさい。

○ まず、「万人」と対比されている語句を探しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



漢字／頻度順 一六一～一八〇

■ 漢字の横に読みを書きなさい。

□(1) 体裁 □(2) 丁寧 □(3) 和む

□(4) 名残 □(5) 慣れる □(6) 掃く

□(7) 省く □(8) 響く □(9) 拍子

□(10) 翻す □(11) 朗らか □(12) 埋没

□(13) 迷惑 □(14) 摸索 □(15) 緩める

□(16) 抑圧 □(17) 抑制 □(18) 余裕

□(19) 仰ぐ □(20) 欺く

■ 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

□(1) ぼくのそんけいする人物は、ガンジーです。

□(2) アメリカかたいざい中、多くの人と友達になった。

□(3) 難しく考えないで、たんじゆんに考えてごらん。

□(4) 彼女を映画に誘ったが、ことわられてしまった。

--	--	--	--

□(5) 図書館から資料をていきようしてもらった。

□(6) 事故の原因をてって的に調査する。

□(7) つらいことがあっても、前向きにどりよくする。

□(8) 引越しの前に、古い手紙をもやすことにした。

□(9) 自然のはかいが進むと、動物の生息地が減る。

□(10) 人々のひなんの的になった。

□(11) ごめいわくをおかけして、まことにすみません。

□(12) 花もようのカーテンを窓にかける。

□(13) 山に登るときは、めんみつな計画が必要です。

□(14) 彼と話しているとゆかいな気分になる。

□(15) ガーベラが五月の風にゆれている。

□(16) 彼女の長所は、ほがらかなところです。

□(17) 今回の数学のテストはあんがい簡単だった。

□(18) いぜんとして不景気が続いている。

□(19) この決議にいぎのある人は、申し出てください。

□(20) えんりよをしないで、どうぞ召し上がれ。

次は、四字熟語の学習だよ。



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

言葉／四字熟語 ⑤

チェックしよう

高校入試によく出題されるものばかりです。チェックして覚えてしまいましょう。

1 次の意味を表す四字熟語を、後から選んで書きなさい。

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
言行一致 りつせいぜん 理路整然	日進月歩 にっしんげつぽ 意気投合	悪戦苦闘 あくせんくとう 傍若無人	右往左往 うおうさおう 自業自得				

自分不利な状況の中で、苦しみながら努力すること。  
 自分の悪い行いに対する報いを受けること。  
 絶えず進歩すること。  
 どうしたらよいかわからなくて、あつちへ行ったりこつちへ行ったりすること。  
 人目をはばからず自分勝手な言動をする様子。  
 物事のすじみちが通っていて、きちんと整っていること。  
 お互いの気持ちや考えなどがぴたり合うこと。  
 言うことと行いがくい違っていいないこと。

使われている漢字と読み、意味を正確に覚えましょう。

トレーニング

\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

2 「自分のした悪いことのために、自分の身にその報いを受けること」という意味になるように、次の(ア)～(イ)の語を結びつけて四字熟語を完成しなさい。(正しい語順になるように記号を書きなさい。)  
〔神奈川県〕

- (ア) 自得 (イ) 自給 (ウ) 自問 (エ) 自賛  
(オ) 自答 (カ) 自業 (キ) 自画 (ク) 自足

3 次の□に漢字を入れ、それぞれ四字の熟語を完成しなさい。〔群馬県〕

- (1) 日進月  (2) 徹  徹尾  
(3) 大器  成 (4)  差別

4 次の□に適切な漢字一字を書き入れなさい。

- (1)\* 私は腹の底に依然として険しい感情を蓄えながら、あの霜やけの手がガラス戸をもたげようとして悪戦□する様子を、まるでそれが永久に成功しないことでも祈るような冷酷な目でながめていた。〔関西学院高〕
- (2)\* 集められることもない都会の落ち葉たちは、舗装された道の辺に吹きたまって、カラカラと風に吹き流され、いたずらに右□左□しながら日に乾いてもろくなり、清掃車に回収されるのを待つばかりである。〔鳥取県〕

- (1) 悪戦
- (2) 右  左

答え合わせをして、**罫**もよく読みなさい。

第 10 日

12 月 19 日

説明的文章 (10)

要旨

要旨とは、その文章をとらえて、筆者の最も言いたいことや考えのことで、要旨をとらえることは説明的文章の読解における最終目標であり、要旨に関する問題は入試にも非常によく出題されます。

基本例題

まず上段の問題を解いてから、下の補充トレーニングに進みなさい。

\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

■ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(①～⑦は段落番号。)(富山県)

① 私たちは、出会いがある程度の離別の後で起こった場合には、必ずなんらかのあいさつをする。毎日、いっしょに暮らしている家族の場合でも、また同じ学校、職場に通う者同士でも、一夜明けた朝の出会いのときに、あいさつを交わしている。社会生活を営む人間にとって、別れて時を過ごすということは、私たちが意識している以上に言いしれぬ不安の原因となるものらしい。

② 確かにだれかといっしょにいるときは、その人の気持ちの変化についていきやすい、同じ状況のもとで経験を積んでいるわけだから、自分と相手との心的距離についても見当が付く。ところが、いったん離れてしまうと、その間に二人は別々の経験をするわけだから、気持ちのずれや考え方の食い違いが生じてしまう可能性がある。だからこそ、両者の関係が別れる前と同じで、変わっていないことを確認したいのである。

③ まさにこの理由で、あいさつ行動は出会いと並んで別れの際にも必ず見られるのである。別れのあいさつでは、再び会うときまで、今別れるときと同じ親愛の気持ち、同一の帰属感を抱き続けることを、あらかじめ確認しておきたいのである。

④ このような解釈が正しいことは、次の事実の意味を考えることで明らかとなる。

⑤ 長い間、互いに会わなかった旧友同士が再会したとしよう。二人の間に交わされるあいさつは、長く入念なものであることは容易に想像できる。態度にも喜びがあふれ、手を振り、肩を抱き合うこともあるだろう。ところが、この同じ二人が数日後に再び出会えば、

補充トレーニング

要旨をとらえましょう。

● 何について書いた文章かを確かめる

(2) 上の文章は、何について書いた文章ですか。四字で書きなさい。

□ □ □ □

● 文章の構成をつかみ、結論にあたる部分を探す

筆者の言いたいことや考えが、いちばんよく表れているところを見つけます。

(3) ①段落から⑥段落までの文章で、前半(①～③段落)に対して後半(④～⑥段落)は、どのような関係になっていますか。次の(ア)～(エ)から適切なものを二つ選び、記号に○を付けなさい。

(ア) 前半で述べた考えを、後半で具体例をあげて説明している。

(イ) 前半で述べた二つの考えを、後半で要約している。

(ウ) 前半で述べた考えに、後半で新しい考えを付け加

当然予想されるように、彼らのあいさつははるかに簡単なものとなってしまふ。

⑥ 別れの場合にも全く同じことがみられる。明日また会うことが分かっている友人には、簡単な「さようなら」か「じゃ、ね」ぐらいで済ませる。しかし、その友人が海外旅行とか長期留学でもすることになれば、わざわざ時間を使って空港まで行き、かなり入念な別れのあいさつを何度も繰り返すことになる。あいさつが長く複雑となるだけでなく、餞別せんべつという物的なしるしによって、更に補強されることが多い。

⑦ このようにみてくると、別れているということが、私たちにとってどれほど不安なものなのかが、よく理解できると思う。「去る者は日々にうとし」ということばにもあるように、ひんばんに接触していないと、人間関係を保持するのが難しい。このことが互いにあるあいさつを交わす習慣を育てたとも考えられる。

(鈴木幸夫「あいさつとは何か」より)

(1)\* 【要旨】 この文章の要旨に合っているものを次の(ア)～(イ)から一つ選び、その記号を書きなさい。

- (ア) あいさつは、人間関係を深めるために、物的なしるしを添えて交わされる。
- (イ) あいさつは、互いの地位や立場の違いによって、異なった仕方であらわれる。
- (ウ) あいさつは、別れて過ごすときの不安をなくしたい気持ちから交わされる。
- (エ) あいさつは、自分と相手との心的距離の見当を付けようとして交わされる。

「 」

えている。

(エ) 前半で述べた考えと対照的な考えを後半で述べている。

● 筆者の考えを読み取り、要旨をまとめる

(4)\* 出会うときのあいさつ、または別れの際のあいさつについて、筆者の考えに合っているものを次の(ア)～(イ)から一つ選び、その記号に○を付けなさい。

- (ア) 出会うときのあいさつは、お互いの気持ちや考え方が変わったことを確認するためのものである。
- (イ) 別れの際のあいさつは、お互いに、再び会えることをとりあえず確認するためのものである。
- (ウ) 出会うときのあいさつは、お互いに、別れている間に経験したことを確認するためのものである。
- (エ) 別れの際のあいさつは、お互いの気持ちが変わらないことを前もって確認するためのものである。

筆者は、「このようにみてくると」と述べて、□～  
⑥段落で述べたことを⑦段落でまとめています。

(5) 人間にとって、「別れているということ」は、どんなものですか。⑦段落から二字で書き抜きなさい。

な  
もの

● 筆者は、「この気持ち」が「互いにあるあいさつを交わす習慣を育てた」と考えているのです。

おはよう  
「さようなら」  
な  
もの  
何のために言うのかな。



トレーニング

まず上段の問題を解いてから、下の補充トレーニングに進みなさい。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔沖縄県〕

人間回復といい尊重というのも、結局は人間らしい生き方を願う叫びであろう。多くの人々がいま、自分はずぶる非人間的な生活を強制されていると考えている。では、なぜそうなったか。それはつまるところ、人間自身のおのが罪ではなかったか。

まず、人間はきわめて傲慢<sup>ごうまん</sup>だった。文明の利器なるものを駆使して動植物をはじめあらゆる自然をほしいままに殺<sup>ころ</sup>りくし破壊した。それが人間の当然の権利であるかのように思いがつていた。人間もまた自然の一部であることを、もののみごとくに忘れてしまった。

天につばきしたもののへのむくいは、悪臭の 대기 だけではない。いまでは人間同士のつきあいが、息のつまるような敵対関係に置かれがちになった。自然を愛することと、人間への愛は、その源<sup>みなもと</sup>において深くつながっていた。それを忘れていた人間は、おたがいに愛しあうすべをも見失った。人間はこうして、生理的にも、また心理的にも集団自殺への道を歩みつつある。

人間はまた、きわめて無知、無思慮でもあった。とくにいかなる条件のもとでなら人間らしく生きられるか、についてのビジョンを欠いていた。あらゆるみせかけの知識にもかかわらず、このままのペースで資源が使いつくされ、人口がふえていったらどうなるか、という問いかけが、真剣になされたことはほとんどなかった。

すべての統計表は、ゆえなき楽観論を組み立てるために都合よく使われてきた。しかし、地球もまた一つの宇宙船であるというのは、もはや警告ではなく、冷厳<sup>れいげん</sup>な事実としてとらえ直さねばならなくなった。人間の知恵が、集団破滅を防ぐために結集されねばならぬ時がきているといえよう。

人間回復といい、尊重という。だが、どうやらその「人間」は、われわれが考えている以上に誤った方向に進みつつある。とすれば、人間回復への原点は、人間存在自体への反省にしか求められまい。その傲慢、無知、無思慮のよってきたるゆえんを探り、それを克服する以外に、人間らしい生活を取りもどす道はない。

人間回復を、単なる思いつきの流行語にしてしまってはならない。それは人間とは何か

補充トレーニング

(3) 【内容吟味】 上の文章は、何について書いた文章ですか。文章中の語句を書き抜いて答えなさい。

「  
」

① 文章中にくり返し出てくるキーワードを探します。これが見つかれば、要旨は半分わかったようなものです。

(4) 【文章構成】 上の文章は、内容によって次の三つに分けることができます。二つめのまとまりと、三つめのまとまりの最初の五字を書きなさい。(句読点を含む。)

① 問題提起をしている部分

② ①で述べた事柄について、具体的に説明している部分

③ 筆者が訴えようとしていることを述べている部分


①のまとまりでは、次のような問題提起がなされています。

多くの人々が非人間的な生活を強制されるようになったのは、人間自身のおのが罪ではなかったか。

を考えるとぐちになることばであり、現代の主たるテーマともいうべき「人間」の探究は、このことばの真の意味を探ることから始めなければならぬ。  
だがそれにしても、人間はほんとうに生まれ変わるだろうか。

(朝日新聞・社説より)

(1)\* 【内容吟味】 文章中の——「人間はほんとうに生まれ変わるだろうか。」ということばから感じられる筆者の気持ちはどれですか。次の(ア)～(エ)のうちから最も適当なものを選び、その記号を書きなさい。

- (ア) 必ずいつかは生まれ変わってくださるだろうと考えている。
- (イ) むしろ嬉しいが生まれ変わってほしいと願っている。
- (ウ) 生まれ変わることはできないだろうとあきらめている。
- (エ) 生まれ変わるかどうかどちらともいえないと考えている。

(2)\* 【要旨】 この文章で筆者が訴えようとしているのはなんですか。次の(ア)～(エ)のうちから最も適当なものを選び、その記号を書きなさい。

- (ア) 人間が歩んできた道は、大事な文化遺産を考えるとなく生活してきたので、文化を大切にしたい。
- (イ) 人間は自然を破壊してしまったので、もはや自然は元に戻るようなことは決してありえない。
- (ウ) 人間回復への道は、人間存在自体への反省の上にならなければならない。
- (エ) 人間のこれまでの生活環境からして、自然と人間とのかかわりあいはどういう考えられない。

「要旨」は、その文章の内容をまとめたものです。ですから、どんなにもっともらしいことでも、文章中に書いていないことは、要旨とはなりません。

(5) 【具体内容】 ……「人間自身のおのが罪」として、  
②のまとまりではどのようなものをあげていますか。  
漢字二字で二つ、漢字三字で一つ書きなさい。

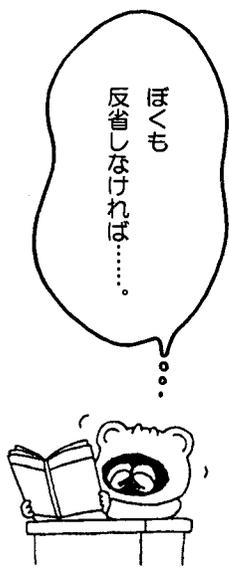

「だからどうしなければならない」ということが③のまとまりに書いてあります。特に、「人間回復とい、道はない。」の段落に着目しましょう。

(6) 【具体内容】 「人間回復」ということばの意味を、文章中の語句を使って、わかりやすくまとめなさい。

--

(7) 【内容吟味】 「人間回復」のためには、何をしなければならぬのですか。文章中から十字で書き抜きなさい。また、書き抜いた事柄の具体的な内容を示している部分に、~~~~を引きなさい。


① 「その傲慢、道はない。」という文は、直前の文の内容をわかりやすく言いかえたものですね。



3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔宮崎県〕

糸を引く細い雨脚も日本独得のものであるが、春は霞、秋は霧と、日本列島は水蒸気の多い風土である。「山紫に水清く……」というが、山肌をおおっている植物の緑の上に水蒸気がかかるから紫になる。多すぎた水蒸気は細かい水滴になって空気中に浮遊する。その量が比較的少なく、二〇キロメートル先が見えなくなっているのがもやで、それが濃くなり一キロメートル先が見えなくなった場合が霧である。山あいの鐘の響きは霧とともにあたりにたちこめ、うずを巻きながら、無限の空間に吸い込まれてゆく。

霧は情景描写に用いられるだけではなく、日本的な遠近法を示す。わが国では、遠景になるほどもやがかかって、形や色がしだいにぼやける。遠くに見える山並みは濃淡の朦朧とした波状を示す。大和絵は優雅にこれをあらわしている。すべてのものを間近に、平板に見せるギリシアの青い空と、およそ対照的である。地中海の光は澄みきっていて硬い。のみが石を削るように物の形をくつきりと見せる。透明な空気は、近景も遠景も同じ明瞭さで、ただ、白い家を、遠くは、小さく見せるだけである。ここでは、パースペクティブな幾何学的世界がそのままの姿で存在する。

柔らかな自然——柔らかな光のもので、柔らかな木を用いてつくる建築からは、繊細な弁別力にうったえる建築が生まれる。固い自然のもので、硬い石を刻んでつくる建築は強いコントラストの美——光と影の建築ができる。

日本の空間は柔らかく、西洋の空間は固い。これみな、湿気と乾燥のなせるわざである。日本でも、冬季は土の中の湿気が立たず、空気が乾燥しているときがあるが、それでさえ、昼間、太陽が輝けば湿気は上昇する。日本のものは、草木、石、家、みな濡れたときもつとも美しく、スペイン、イタリアは強い日ざしのもとで乾ききったとき明晰な美しさをみせる。建築の材料も、日本のものは、造作の杉、襖や障子の紙、壁の土、畳……、みな、ある程度湿気を含んでこそ味わいがある。また、含んでいないと割れてしまう。ヨーロッパの建築材料は、煉瓦にしても、石にしても、本来、水分を含まないものだし、また、水分があると結露して困る。

柔らかな光——水分の多い空気を通してくる光ともっとも調和するのが、明かり障子の存在であろう。明かり障子は書院造りの発達とともにひろく使われたが、書院造りの開口

補充トレーニング

ここでは、「わが国の建築」について、「風土」と「素材」という観点からまとめます。

「風土」については前半、「素材」については後半に、くわしく書いてありますね。

(2)\* 【要点】 第一段落において、その要点を最もよく表している二十字以内の部分抜き出して書きなさい。  
(句読点を含む。)


○ この部分をもとに、上段(1)の「……風土にふさわしく工夫され、」の「……」にあてはまる語句を考えなさい。

(3) 【語句の意味】 「素材」と同じような意味を表す漢字二字の語句を、本文から書き抜きなさい。

--	--

(4) 【対応・対立関係】 上の文章では、日本の風土や建築と、西洋の風土や建築とを、対比して説明しています。1～3の問いに答えて、後の表を完成させなさい。

1 (ア)と(イ)の「     」に、「湿気」「乾燥」のうち、それぞれ風土にふさわしいほうを書き入れなさい。

2 (ウ)の 

--

 に、日本の建築材料を四つ書き入れなさい。また、(エ)の 

--

 に、西洋の建築材料を二つ書き入れなさい。いずれも本文から書き抜きなさい。



漢字／頻度順 一八一～二〇〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

- (1) 過ち □(2) 淡い □(3) 慌てる
- (4) 安穩 □(5) 生垣 □(6) 潔い
- (7) 委嘱 □(8) 依然 □(9) 因縁
- (10) 訴える □(11) 恨み □(12) 冒す
- (13) 躍る □(14) 恩恵 □(15) 輝く
- (16) 傍ら □(17) 勘定 □(18) 完遂
- (19) 感銘 □(20) 帰省

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

- (1) 彼のおんひとがらこうな人柄が、周りの人々を和ませる。
- (2) 少年は泣きたいのをがまんまんしていた。
- (3) 過ぎたことをくくいるよりも、前向きに考えよう。
- (4) 一刻も早く束縛そくばくからかいほうほうされたい。

--	--	--	--

- (5) つり銭がきちんとあるかどうかをかくにんする。
- (6) 姉の描いた猫の絵をかくに入れて飾る。
- (7) 用件はかんけつに述べてください。
- (8) 稲は養分をきゆうしゆうして著しく成長した。
- (9) 自転車でせまい道を北に向かって走った。
- (10) ぼく一人の判断できめることはできません。
- (11) 彼女の努力は、けつきよく徒勞に終わった。
- (12) これが世紀のけつさくといわれる名画です。
- (13) わたしの忍耐もげんかいに達した。
- (14) こどくな世界を求めて、旅に出かける。
- (15) ロシア文学にきようみをもち始める。
- (16) ユニークなこうせいに基ついた戯曲を発表する。
- (17) 悪い条件をこくふくして、新記録を出した。
- (18) ドンキホーテはしせいを正して、敬礼をした。
- (19) 偏見にとらわれず、広いしやで物事を考えよう。
- (20) しょうらいに夢をもてない人生はむなししい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



言葉／慣用語 ①

チェックしよう

高校入試によく出題される慣用語のうち、主に「目」と「手」に関係するものです。チェックして、完全に覚えてしまいなさい。

1 下の意味を表す慣用語を、後から選んで「」に書きなさい。

- |        |    |                         |
|--------|----|-------------------------|
| □ (1)  | 「」 | 「   ものの価値を正しく見定める力がつく。」 |
| □ (2)  | 「」 | 「   非常に好きだ。」            |
| □ (3)  | 「」 | 「   あまりにひどくて、見るにたえない。」  |
| □ (4)  | 「」 | 「   何かにつけて、やっつけたくなる相手。」 |
| □ (5)  | 「」 | 「   すっかり見とれさせる。」        |
| □ (6)  | 「」 | 「   驚いて、目を大きく見開く。」      |
| □ (7)  | 「」 | 「   技術が上達する。」           |
| □ (8)  | 「」 | 「   どうなるかと、見ていてはらはらする。」 |
| □ (9)  | 「」 | 「   自分の力ではどうにもできない。」    |
| □ (10) | 「」 | 「   自分のものとする。」          |
| □ (11) | 「」 | 「   できる限りの方法を試みる。」      |
| □ (12) | 「」 | 「   いろいろと世話をして育てる。」     |

- |      |       |       |         |
|------|-------|-------|---------|
| 目に余る | 目をみはる | 目が肥える | 手塩にかける  |
| 目を奪う | 目のかたき | 目がない  | 手に汗をにぎる |
| 手に余る | 手を尽くす | 手が上がる | 手に入れる   |

トレーニング

\*のついた問題は、高校入試に出題されたものです。

2 次の——部の意味を、後から選んで記号で答えなさい。

(1)\* バートランド・ラッセルの自伝の中に、「私は耳で本を読んだ」とあるから、目を疑った。  
〔宮城県〕

- (ア) なるほどと思った。 (イ) ばかげたことだと思った。  
(ウ) おおげさだと思った。 (エ) 意外なことだと思った。 「」

(2)\* 前のほうでだれかが笑ったのをきっかけに、教室じゅうにワアと笑いが起こった。ほくも首を伸ばしてみた。机に乗り出して、目を凝らした。それはほくの絵だった。  
〔秋田県〕

- (ア) 周囲の様子を見回した (イ) われとわが目を疑った  
(ウ) 一点をじっと見つめた (エ) 思わず視線をそらした 「」

3\* 次の□の中には、「みずから直接する」という意味の慣用語が入ります。それは後の(ア)～(エ)のどれですか。記号を書きなさい。  
〔佐賀県〕

他人のことをあれこれいうのはどうも気が進まないから、自分のことをいうと、これまでどのくらい自然を破壊してきたか、それはどう考えてきれない。確かにこれは破壊であったと記憶しているのは実はほんのわずかで、気がつかずに書を与えていること、また、自分は□ことはなかったけれども、間接に破壊していることも多く、……。

- (ア) 手を尽くす (イ) 手をくだす  
(ウ) 手を広げる (エ) 手を入れる 「」

答え合わせをして、注もよく読みなさい。

第 **11** 日

12月21日

文学史 (1)

# 奈良〜江戸時代の文学

公立高校の入試には、奈良〜江戸時代の文学史が出題される割合が非常に高くなっています。しかし、基本例題1・2の表で太字になっている九つの作品の成立した時代、作者、ジャンルをしっかりと覚えれば、ほとんどの問題が解けるといってもいいでしょう。さらに、代表古典の冒頭の部分の暗唱もしておきましょう。

## 基本例題 1

奈良・平安時代の文学史で、どうしても覚えておかなければならない事柄をまとめてあります。太字の作品は特に入試によく出る作品です。

### 1 奈良・平安時代の文学について、次の問いに答えなさい。

(1) 次から適切な人名を選び、「」に記入して、文学史の表を完成しなさい。(同じ人名を二回使うこともあります。)

- 紀貫之 きくわんし
- 山部赤人 やまべのあかひと
- 大伴家持 おほとものかみもち
- 清少納言 せいしょうなごん
- 小野小町 おののこまち
- 紫式部 むすしきぶ

時代	奈良時代	時代
ジャンル	歌集	ジャンル
作品名	万葉集 <small>まんようしゅう</small>	作品名
作者名	撰者…①「 <b>      </b> 」 といわれている 代表的歌人…額田王 <small>ぬかたのおおきみ</small> 柿本人麻呂 <small>かきものひとまろ</small> 山上憶良 <small>やまのうえのおくべら</small> ②「 <b>      </b> 」 大伴旅人 <small>おほとものかみ</small> 大伴家持 <small>おほとものかみもち</small> など	作者名
など	撰者…③「 <b>      </b> 」 代表的歌人…紀貫之 <small>きくわんし</small> 在原業平 <small>ありわらのなりひら</small> ④「 <b>      </b> 」 など	など

## トレーニンゲ

2\* 「万葉集」の歌人を次から一人選び、「」に記号を書きなさい。

- (ア) 大伴家持 (イ) 藤原定家 ふじわらのたいえ (ウ) 小野小町 (エ) 紀貫之

3\* 山部赤人は、なんとという歌集の歌人ですか。歌集の名を漢字で答えなさい。  
 [慶應志木高・一部改題]

4\* 「万葉集」の主な歌人の名前を覚えておきましょう。

- 紀貫之と最も関係の深い作品を、次の(ア)〜(エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。
- (ア) 古今和歌集 (イ) 枕草子 (ウ) 平家物語 (エ) 奥の細道 おくのほそみち

「土佐日記」の作者は、「古今和歌集」の撰者の一人だよ。



	時	安	平
日記	土佐日記		
随筆	枕草子		
物語	竹取物語 伊勢物語 源氏物語		
説話	今昔物語集		
筆者	⑤	⑥	⑦

(2) 次の特徴のある作品を表から選び、「」に記入しなさい。

① 女性をよそおってかなで書いた旅日記。「男もすなる日記といふものを、女もしてみんとてするなり。」という冒頭である。

② 女性によって書かれた随筆。「春はあけぼの。」という冒頭である。

③ 平安時代女流文学の代表で、古典文学最大の名作といわれる物語。

④ 日本最初の勅撰(天皇の命令によって編集された)和歌集。繊細で優美な歌が多い。(十世紀初めの成立。)

⑤ 日本最古の歌集。素朴で力強い歌が多い。(八世紀半ばから後半にかけての成立。)

『竹取物語』は現存する最古の物語、『伊勢物語』は歌物語(和歌入りの物語)、『今昔物語集』は「今は昔」で始まる説話集です。

5\* 平安時代の歌人、紀貫之が女性をよそおってかなで書いた旅日記の作品名を漢字で答えなさい。  
〔早稲田高〕

① 土佐の国守(役職名)をしていた紀貫之が、土佐を出発し、京に帰るまでを書いた日記です。

6\* 「土佐日記」の作者を次の(ア)～(イ)から選び、また、この作品が書かれた時代を(ウ)～(ク)から選び、それぞれ記号で記しなさい。  
〔函館ラ・サール高/二松学舎大附属高類題〕

- (ア) 在原業平 (イ) 紫式部 (ウ) 紀貫之 (エ) 小野小町  
(カ) 奈良時代 (ク) 平安時代 (キ) 鎌倉時代 (ク) 室町時代

7\* 「枕草子」の作者名を書きなさい。  
〔高知県ほか〕

8\* 枕草子は平安時代に書かれた随筆です。次のうち枕草子とほぼ同時期にできたものはどれですか。一つ選び記号を○で囲みなさい。

- (ア) 平家物語 (イ) 徒然草 (ウ) 源氏物語 (エ) 新古今和歌集

〔大阪府/福井県類題〕

平安時代の二大女流文学として、覚えておこう。





(2) 次の特徴のある作品を表から選び、「」に記入しなさい。

① 三大歌集の一つ。幽玄(奥深い情趣があること)で象徴的。技巧的に優れている。(十三世紀初めの成立。)

② 俳句を含み、江戸から奥羽を経て美濃に至り、伊勢に出発するまでを書いた紀行文。「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。」という冒頭である。

③ 平家一門の栄華と滅亡を描いた軍記物語で、琵琶法師によって語られた。「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。」という冒頭である。

江戸時代の文学者として、次の人名を覚えておきましょう。

松尾芭蕉……………俳諧(俳句)

紀行文『奥の細道』『野ざらし紀行』

井原西鶴……………浮世草子(大衆小説)

『好色一代男』『日本永代蔵』

近松門左衛門……………浄瑠璃(三味線に合わせてかたる語り物)

『曽根崎心中』

上田秋成……………『雨月物語』

十返舎一九……………『東海道中膝栗毛』

与謝蕪村……………俳諧(俳句)

小林一茶……………俳諧(俳句)



	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
成立	①	②	②	③
種類	⑤	⑤	⑥	④
作者	⑦	⑧	⑨	⑨

15\* 「平家物語」について述べているものを、次の(ア)~(エ)から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 平安時代の随筆集である。
- (イ) 鎌倉時代の軍記物である。
- (ウ) 鎌倉時代の随筆集である。
- (エ) 江戸時代の紀行文である。

16\* 芭蕉は「月日は百代の過客にして……」で始まる有名な紀行文を著しています。その作品名をひらがなで示しなさい。

〔京都府・徳島県／栃木県類題〕

17\* 松尾芭蕉と同じ時代に活躍した人物はだれですか。次の(ア)~(エ)から一つ選んで、その記号を書きなさい。

- (ア) 西行法師
- (イ) 兼好法師
- (ウ) 清少納言
- (エ) 井原西鶴

18\* 小林一茶と同じ江戸時代の人物を次の中から一人選び、その記号に○をつけなさい。

- (ア) 紀貫之
- (イ) 松尾芭蕉
- (ウ) 兼好法師(吉田兼好)
- (エ) 紫式部

〔神奈川県〕

トレーニング

次の設問には、ある作者の歌を選んだり、ある作品の一節から作品名を考えたりにする問題が含まれています。

19. 次の(1)と(2)に答えなさい。 [和歌山県]

- (1) 万葉歌人として有名な山部赤人の作品を、次の(ア)～(エ)の中から一つ選び、その記号を書きなさい。
  - (ア) 熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな
  - (イ) 東の野に炎の立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ
  - (ウ) 田児の浦ゆうち出でて見れば真白にそ不尽の高嶺に雪は降りける
  - (エ) 石ばしる垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも

(2) 山部赤人と同時代の歌人を、次の(ア)～(エ)から一つ選び、その記号を書きなさい。

- (ア) 大伴家持
- (イ) 藤原定家
- (ウ) 凡河内躬恒
- (エ) 小野小町

20. 「万葉集」の特色の一つとして、素朴な感動が、生き生きと歌われている歌の多いことがあげられています。次の(ア)～(エ)から「万葉集」の歌を二首選び、符号で答えなさい。 [岐阜県]

- (ア) 山深み春とも知らぬ松の戸にたえだえかかる雪の玉水
- (イ) 熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな
- (ウ) 人はいさ心も知らずふるさと花ぞ昔の香にほひける
- (エ) 石ばしる垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも

21. 次の文の「いにしへの人」は、だれのことですか。その名前を書きなさい。 [甲陽学院高]

いにしへの人、春はあけぼのと言ひけんも、うべなるかな。

○ 「春はあけぼの」で始まる随筆の作者名を答えればよいです。「うべなるかな」とは、「もつともなごただ」という意味です。

22. 次の文章中の□に入る作品名を答えなさい。 [山口県]

江戸時代の元禄半ばに死んだ俳人、松尾芭蕉は、一生のほとんどを旅に送ったという。二十三歳の時、若くして世を去った藤堂家の若殿の骨を、高野山におさめるのが彼の人生の初旅であった。武士づとめをやめて京に出てから、北村季吟の門に入って和歌や俳諧を学び、二十九歳で江戸に移り住んで三十一歳で剃髪、五十一歳で大阪で病に倒れるまで、甲斐路をたどり、鹿島に行き、芳野に、大和に、また伊勢に旅を続けた。

『□』と名づけられた、東北の紀行文の一番初めは、「月日は百代の過客にして、ゆきかふ年もまた旅人なり。」という言葉で書き出されている。

(田中澄江「私の旅・私の花」より)

○ □の前の部分に、芭蕉の旅に生きた人生が簡潔に述べられています。病に倒れ、死に際しての句「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」も覚えておきましょう。

23\* 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔石川県〕

「①国破れて山河在り」と、だれも知っている「春望」という五言律詩(五言八句の定型詩)の三、四行目の私の解釈は従来のもとは違っています。感時花濺淚 恨別鳥驚心 これは、普通には「②時に感じて花にも涙を濺ぎ、別れを恨みて鳥にも心を驚かす」というように読まれている。涙を流したり、心を驚かす主格は、作者の杜甫だという解釈です。

(吉川幸次郎「中国文学と杜甫」より)

(1) ①「国破れて山河在り」を踏まえ、芭蕉が平泉で詠んだ句は(ア) (エ)のどれですか。符号を書きなさい。またその句の載っている紀行文は何ですか。作品名を書きなさい。

- (ア) 草の戸も住み替はる代ぞ難の家
- (イ) むざんやな甲の下のきりぎりす
- (ウ) 夏草や兵どもが夢の跡
- (エ) 塚も動けわがなく声は秋の風

作品名……

(2) ②について述べた次の文の空欄A～Cに最も適するものは何ですか。(ア)～(カ)から選び、符号を書きなさい。

「時に……驚かす」のように、漢文を日本語の語順に従って読むとおりに書いた文を、一般に(A)と言ひ、(B)の表記をすることになつてゐる。このような読み方は日本語を豊かにし、中世には(C)等に見られる和漢の調和した力強い文体を生んだ。

- (ア) 源氏物語 (イ) 平家物語 (ウ) 竹取物語 (エ) 書き下し文
- (カ) 散文 (ク) 韻文 (ケ) 口語 (ク) 文語 (コ) 俗語

A ( ) ( ) B ( ) ( ) C ( ) ( )

次は、ややくわしい知識が必要な問題です。

24\* 万葉集について、次のA群からは成立年代を、B群からは作者二名を、それぞれ選び、記号で答えなさい。

〔お茶の水女子大附属高〕

- A (ア) 四世紀の半ば (イ) 六世紀の半ば (ウ) 八世紀の半ば
- (エ) 十世紀の半ば (オ) 十二世紀の半ば
- B (ア) 紀貫之 (イ) 大伴家持 (ウ) 藤原定家 (エ) 清少納言
- (オ) 西行 (カ) 菅原道真 (キ) 柿本人麻呂

25\* 『古今和歌集』について、次の設問に答えなさい。(慶應女子高・一部改題)

(1) その「仮名序」を書き、撰者の中心であつた歌人の姓名を漢字で書きなさい。

- (2) その成立時期を、次のうちから選び、記号で答えなさい。
- (ア) 五世紀初期 (イ) 六世紀初期 (ウ) 七世紀初期
  - (エ) 八世紀初期 (オ) 九世紀初期 (カ) 十世紀初期

「ここまで、よくがんばったね。しっかりと答え合わせをしよう。」



文学史は、しっかり覚えておけば、確実に得点することができます。基本例題にある人名・作品名・時代・ジャンルなどを、もう一度確認しておきましょう。

漢字／頻度順 二〇一～二一〇

■ 漢字の横に読みを書きなさい。

□(1) 鍛える □(2) 軌道 □(3) 郷愁

□(4) 後悔 □(5) 交錯 □(6) 強情

□(7) 肯定 □(8) 細かい □(9) 建立

□(10) 細工 □(11) 最期 □(12) 強い

□(13) 思索 □(14) 絞る □(15) 若干

□(16) 執念 □(17) 寿命 □(18) 瞬間

□(19) 奨励 □(20) 崇拜

■ 2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

□(1) 砂漠さばくの村が、ある日こつ然とつぜんとしようめつした。

□(2) 魔法まほう使いは空を飛ぶ呪文じゅもんをとなえた。

□(3) 多くのしょうがいしょうがいを乗り越えて成長する。

□(4) 馬うまにのって散歩する。

--	--	--	--

□(5) 国民に民主主義がしんとうした。

□(6) しんぴしんぴ的な輝かがやきをもつ宝石うばに心を奪うばわれた。

□(7) 水道すいどうの蛇口じやくもから水がたれてる。

□(8) 二十年にわたる研究のせいせいかを発表した。

□(9) むだな部分ぶぶんをばぶばぶいて簡潔かんけつにまとめなさい。

□(10) そんなに自分をせめてはいけない。

□(11) 車のせつせつしよく事故じこで目的てき的地に着くのが遅おくれた。

□(12) 秘密ひみつはぜぜつたいに守まもってほしい。

□(13) たえず周囲しゅういに気きを使って、疲つかれてしまった。

□(14) 彼女はせんれんせんれんされた文章ぶんしょうを書く。

□(15) 糸いとを美しいピンク色いろにそめた。

□(16) 君きみの中には限りかぎりない可能性かんのうせいがひそんでいる。

□(17) 一人一人の努力どりょくで社会しゃかいのちつじよちつじよが保たもたれる。

□(18) ただちに救助隊きうすうたいを派遣はけんしましょう。

□(19) テーブルの上うへにりんごが一つころがっている。

□(20) 彼が犯人はんじんだとしたら、どうどうきは何なにだろう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ほくのシッポには、  
しんぴ的な力がこもっている。



※ 言葉／慣用句 ②

チエックしよう

高校入試によく出題される、体の一部を表す名詞を含んだ慣用句です。  
チエックして、覚えてしましましょう。

1 下の意味を表す慣用句を、後から選んで「」に書きなさい。

□ (1) 「あまりしゃべらない。」

□ (2) 「話す。仲をとりもつ。」

□ (3) 「最初に発言する。」

□ (4) 「熱心に聞く。」

□ (5) 「出しぬいてあつといわせる。」

□ (6) 「言動が嫌味で、我慢できない。」

□ (7) 「りこうで、判断などが早い。」

□ (8) 「心配や不快で顔をしかめる。」

□ (9) 「思ったまま、飾らずに言う。」

□ (10) 「驚いたり感服したりして言葉も出ない。」

□ (11) 「矛盾したことやうそを平気で言う。」

□ (12) 「きっぱり思いきれず未練が残る。」

耳を傾ける 二枚舌を使う 口を切る 目から鼻へ抜ける  
口が重い まゆをひそめる 舌をまく うしろ髪を引かれる  
鼻をあかす 口をきく 鼻もちならない 齒に衣を着せない

トレーニング

2 「口を切る」は、「最初に話し始める」という意味ですが、「最初にものごとを始める」という意味をもつ慣用句として、最も適当なものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。 [大分県]

(ア) 口添えを頼む (イ) 口裏を合わせる

(ウ) 口火をきる (エ) 口止めをする

3 —の語句の意味として、最も適当なものを後の(ア)～(エ)の中から一つ選び、その記号を書きなさい。 [愛媛県]

幼い私は寢床の中で耳をそばだて、その風の音を聞いている。

(ア) 耳をすまして (イ) 耳にはさんで

(ウ) 耳をふさいで (エ) 耳のそばで

4 「舌がこえてくる」とはどういう意味ですか。次の(ア)～(エ)から適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。 [岩手県]

(ア) 少々の味の違いなどはまったく気にしなくなる。

(イ) うまいものだけを食べ続けるので太るようになる。

(ウ) よい味のものかどうかがよくわかるようになる。

(エ) 食べ物に対する好き嫌いが特にはげしくなる。

5 次の「」にからだの一部を表す漢字を入れ、( )の熟語の意味と同じ慣用句にしなさい。 [群馬県]

(1) 「」をにぎる (同盟) (2) 「」がすべる (失言)

(3) 「」がさわぐ (不安) (4) 「」にかける (自慢)

答え合わせを忘れずに。



□ 島崎藤村……………「破戒」「夜明け前」

大正時代に活躍した作家とその作品

□ 志賀直哉……………「小僧の神様」(C)

□ 武者小路実篤……………「(D)」

□ 有島武郎……………「生まれ出づる悩み」「カインの末裔」

□ 谷崎潤一郎……………「春琴抄」「細雪」

□ (E)……………「羅生門」(E)」「杜子春」

□ 河童「地獄変」「トロツク」

□ 宮沢賢治……………「(F)」

「注文の多い料理店」「オツベルと象」  
「ゼロ弾きのゴーシュ」

昭和時代に活躍した作家とその作品

□ (G)……………「伊豆の踊子」「雪国」

□ 堀辰雄……………「風立ちぬ」

□ 太宰治……………「(H)」

「斜陽」「人間失格」

島崎藤村には詩集『若菜集』、宮沢賢治には詩集『春と修羅』もあ  
ります。

志賀直哉、武者小路実篤、  
有島武郎は、「白樺派」という  
グループに属していたことも  
覚えておくといいよ。



6\* 「武者小路実篤」は、有名な文学者ですが、彼の作品を次から選びなさい。  
〔北海道／高田高類題〕

- (ア) 阿部一族 (イ) 暗夜行路 (ウ) 友情 (エ) 伊豆の踊子  
(オ) 羅生門

7\* 「鼻」「杜子春」などの作者は誰ですか。  
〔共立女子第二高〕

8\* 左記の作品名から芥川龍之介の作品でないものを選んで記号に○をつけ  
なさい。  
〔大阪教育大附属高(平野)〕

- (ア) 潮騒 (イ) 河童 (ウ) 鼻 (エ) 友情 (オ) 地獄変

9\* 詩集「春と修羅」、童話「注文の多い料理店」「風の又三郎」の作者はだ  
れですか。その氏名を書きなさい。  
〔高知県〕

- ( )

10\* 日本で初めてノーベル文学賞を受賞し、代表作に「伊豆の踊子」や、「雷  
国」などがある作家はだれですか。記号で答えなさい。  
〔桐陰学園高〕

- (ア) 三島由紀夫 (イ) 志賀直哉 (ウ) 谷崎潤一郎 (エ) 川端康成  
(オ) 武者小路実篤

11\* 川端康成の作品は、次のどれですか。記号に○をつけなさい。〔長崎県〕

- (ア) 友情 (イ) 路傍の石 (ウ) たけくらべ (エ) 伊豆の踊子

12\* 太宰治の作品を次の(ア)～(カ)の中から二つ選んでその記号を書きなさい。  
〔和歌山県〕

- (ア) 山椒魚 (イ) 放浪記 (ウ) 人間万歳 (エ) 斜陽 (オ) 明暗  
(カ) 走れメロス

基本例題 2

チェック欄を利用して、人名を覚えてしまいましよう。その後、下段に進みなさい。

13 明治～昭和時代の詩について、次の問いに答えなさい。

(1) 次から適切な人名を選び、①と②の「」に記入しなさい。

- 一 北原白秋 高村光太郎

(2) 次から適切な詩集や詩を選び、①～③の「」に記入しなさい。

- 一 雨ニモマケズ 若菜集 道程

□ 島崎藤村……………② 「初恋」など

□ 上田敏……………『海潮音』

□ ①……………『邪宗門』 『思ひ出』 『落葉松』

□ ②……………① 『典型』 『智恵子抄』

「あどけない話」 『レモン哀歌』 など

□ 萩原朔太郎……………『月に吠える』 『純情小曲集』

□ 室生犀星……………『抒情小曲集』 「寂しき春」 など

□ 宮沢賢治……………『春と修羅』

② 「」

□ 三好達治……………『測量船』 『雨』

□ 草野心平……………『蛙』

右の『でくくったものは詩集』 『でくくったものは詩の題名です。』

トレーニング

15\* 「落葉松」という有名な詩の作者の姓名を漢字で書きなさい。〔福井県〕

Blank box for answer to question 15.

16\* 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。〔三重県〕

「生命は力なり。力は声なり。声は言葉なり。新しき言葉はすなはち新しき生涯なり。」とは若き島崎藤村の詩集の序文の一節だが、新しい言葉、つまり自分で苦闘して考えぬいた言葉は、その人の生命をひらくのだ。

問——「島崎藤村」の作品を次の中から一つ選び、その符号を書きなさい。

- (ア) 浮雲 (イ) 若菜集 (ウ) 暗夜行路 (エ) 海潮音

17\* 次の(ア)～(エ)の人物は、短歌や詩の分野で活躍した人です。詩の分野で活躍した二人を選び、その符号を書きなさい。〔大分県〕

- (ア) 高村光太郎 (イ) 斎藤茂吉 (ウ) 与謝野晶子 (エ) 三好達治

18\* 「悲しき玩具」という歌集の作者名(岩手県の生まれ)を次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。〔大分県・一部改題〕

- (ア) 与謝野晶子 (イ) 北原白秋 (ウ) 若山牧水 (エ) 石川啄木

14 明治～昭和時代の短歌・俳句について、次の問いに答えなさい。

(1) 次から適切な歌集を選び、①～④の( )に記入しなさい。

- 一 一握の砂 赤光 みだれ髪

□ 与謝野晶子(歌人)……………『(a)』 ( )

□ 正岡子規 (歌人・俳人) 句誌『ホトトギス』

□ 若山牧水 (歌人)

□ 石川啄木 (歌人)……………『(b)』 ( )

『悲しき玩具』

□ 斎藤茂吉 (歌人)……………『(c)』 ( )

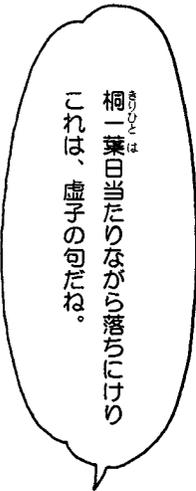
□ 高浜虚子 (俳人)

(2) 次の説明にあてはまる歌人・俳人の名前を( )に記入しなさい。

① 明治時代に俳句や短歌の革新運動をした。写生主義を提唱した。

② 大正・昭和時代の俳人。季題と定型を守り、俳句の本質は「花鳥

諷詠」(自然や人事を詠む)にあるとした。



19\* 明治時代に俳句や短歌の革新運動をおこし、「写生文」を提唱したことで

も有名な、次の俳句の作者名を答えなさい。 (和歌山県・一部改題)

いくたびも雪の深さを尋ねけり



20\* 次の短歌と、その解説文を読んで、後の問いに記号で答えなさい。

(鹿児島県・一部改題)

松の葉の葉ごとに結ぶ白露の置きてはこぼれこぼれては置く

この歌は歌意を解くまでもない。庭の松に細かい春雨の煙るように降る日、松の葉さを凝視し、その葉さに、たまってはこぼれ、こぼれてはたまる露の動きを克明に描いているのである。子規自身「松の葉の露の歌十首をもしたのは古人の見つけざりし場所、あるひは、見つけても歌化せざりし場所を見つけえたるものとして誇りしなり。もし花の露ならば古歌にも多くあり。」といっているが、そのとおりで、人のかく見過ごしてしまうようなものに細かい観察眼をそそぎ、新しい世界を発見しているのである。

(1) この歌の作者が活躍したのは次のどの時代ですか。

- (ア) 江戸 (イ) 明治 (ウ) 大正 (エ) 昭和

(2) この歌の作者は、おもにどんな文学活動をしましたか。

- (ア) 言文一致の運動 (イ) 海外文学の紹介
- (ウ) 口語自由詩の普及 (エ) 俳句や短歌の革新

21\* 明治以降の代表的な詩集と歌集をそれぞれ一つずつ次から選びなさい。

- (ア) 暗夜行路 (イ) 羅生門 (ウ) 一握の砂 (エ) 友情 (オ) 若菜集
- (カ) 詩集…………… (キ) 歌集……………

(北海道)

トリーニング

22\* 次から夏目漱石の小説でないものを二つ選び、記号に○をつけなさい。

〔海城高〕

- (ア) 三四郎 (イ) 坊っちゃん (ウ) 高瀬舟 (エ) 明暗
- (オ) こころ (カ) 暗夜行路 (キ) 吾輩は猫である (ク) 道草

23\* 次の中から、芥川龍之介の作品を四つ選び、記号に○をつけなさい。

〔洛南高〕

- (ア) 走れメロス (イ) トロッコ (ウ) 山椒魚 (エ) 坊っちゃん
- (オ) 高瀬舟 (カ) 杜子春 (キ) 破戒 (ク) 鼻 (ケ) 雪国
- (コ) 羅生門

24\* 次の文章の□に入るべき作品名を漢字で答えなさい。

〔立教高〕

森鷗外の短編『□』でも知られる「安寿と厨子王」の話も、子供には救いのない話の見本のようにであった。



25\* 次のⅠ～Ⅲについて有島武郎と関係のあるものを一つずつ選び記号に○をつけなさい。

〔女子美大附属高〕

- Ⅰ (ア) 写実主義 (イ) 自然主義 (ウ) 理想主義 (エ) 浪漫主義
- Ⅱ (ア) 「破戒」 (イ) 「友情」 (ウ) 「暗夜行路」
- (エ) 「カインの末裔」
- Ⅲ (ア) 新思潮 (イ) 白樺 (ウ) 文学界 (エ) アララギ

● 有島武郎は、武者小路実篤・志賀直哉と同じ文学グループに属していました。

26\* 高村光太郎について、次の問いに答えなさい。

〔慶應女子高〕

(1) 「智恵子」を題材にした高村光太郎の詩の題を次にあげる(ア)～(ク)の中から二つ選び、符号に○をつけなさい。

- (ア) 道程 (イ) あどけない話 (ウ) 冬が来た (エ) さういふ友
- (オ) 失はれたるモナ・リザ (カ) 山のともだち (キ) レモン哀歌
- (ク) ぼろぼろな駝鳥

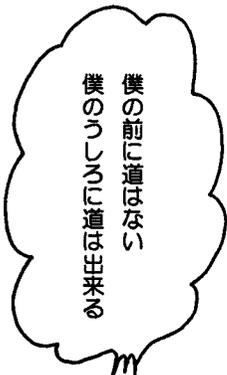
(2) 次にあげる(ア)～(オ)の中から、高村光太郎の詩集を一つ選び、符号に○をつけなさい。

- (ア) 若菜集 (イ) 邪宗門 (ウ) 抒情小曲集 (エ) 月に吠える
- (オ) 典型

27\* 次にあげる詩の一節から室生犀星のものを選んで記号に○をつけなさい。

〔共立女子第二高〕

- (ア) まだあげ初めし前髪の 林檎のもとに見えしとき……
- (イ) 太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。次郎を眠らせ……
- (ウ) 小諸なる古城のほとり 雲白く遊子悲しむ……
- (エ) 僕の前に道はない 僕のうしろに道は出来る……
- (オ) ふるさとは遠きにありて思ふもの そして悲しくうたふもの……



28. 次の文章中のAの歌人は誰でしょう。その名前をひらがなで書きなさい。  
〔高知学芸高〕

やはらかに柳あをめる  
北上（きたかみ）の岸辺目に見ゆ  
泣けどごとくに

『一握の砂』（明四三）所収。幼少年期を送った故郷渋民（しぶたみ）村への愛と憎とは、北海道の流浪生活を経て東京へ出たAの中でますます強まっていた。Aは生活苦と病苦に追われ、小説家たらんとする希望も無残に打ち砕かれ、かつて石もて追われるごとくに逃亡した故郷をさえ、しみじみ恋しく思う日も多かった。『一握の砂』には、東京の借家であって泉のように噴（ふ）きあがってきた望郷の歌が、たくさん収められている。  
〔大岡信「折々のうた」より〕

29. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。  
〔和歌山県〕

幾山河越え去り行かば寂しさの果てなん国ぞ今日も旅行く  
という若山牧水の名歌は、私なども中学か高等学校のころから覚えていた歌です。が、それが今もやはりちゃんと出ています。かと思うと、ドイツのカール・ブッセという詩人の詩で、上田敏が有名な翻訳詩集「海潮音」の中に訳出している、

山のあなたの空遠く  
「幸ひ」住むと人のいふ。  
噫、われひとと尋めゆきて、  
涙さしぐみ、かへりきぬ。

山のあなたになほ遠く  
「幸ひ」住むと人のいふ。

という短詩なども、これまた私たちが中学生時代から暗唱していたものですが、これがやはり今の人にもよほど訴えるものとみえて、まず必ず入っています。  
〔中野好夫「文学を成り立たせるもの」より〕

◆語句注◆

- 越え去り行かば 越えて行ったとしたら。
- 果てなん国 なくなってしまう国。
- 訳出 翻訳すること。

- (1) 「幾山河……」の短歌と並んで、青春時代の感傷を歌った若山牧水の作品はどれですか。次から一つ選んで、記号に○をつけなさい。
- (ア) 死に近き母に添寝のしんしんと遠田のかはづ天に聞ゆる  
しらとりかな
- (イ) 白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まずただよふ
- (ウ) くれなるの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨のふる
- (エ) 海の上に立てる一つ岩その形怪しと見るにいよよ怪しも
- (2) 若山牧水と同じように、近代の歌人として活躍した人はだれですか。次から一つ選んで、記号に○をつけなさい。
- (ア) 島崎藤村 (イ) 高村光太郎 (ウ) 斎藤茂吉 (エ) 太宰治
- (3) 上田敏と同時代に、「邪宗門」や「思ひ出」などの詩集を著した詩人はだれですか。漢字で書きなさい。

○ 上田敏は、明治時代の末に、イタリヤ・イギリス・ドイツ・フランスの詩人の作品を翻訳し、詩集「海潮音」にまとめました。

よくがんばりましたね。答え合わせも忘れずに。

漢字／頻度順 二二二〜二四〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

- (1) 健やか □(2) 鋭い □(3) 惜敗
- (4) 遭遇 □(5) 操作 □(6) 添える
- (7) 損ねる □(8) 対象 □(9) 堪える
- (10) 耐える □(11) 蓄える □(12) 断つ
- (13) 魂 □(14) 保つ □(15) 秩序
- (16) 珍重 □(17) 償う □(18) 繕う
- (19) 摘む □(20) 貫く

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

- (1) はいけいに五重の塔を入れて写真を撮った。
- (2) 先生に頼まれて自習用のプリントをくばる。
- (3) 暴力をはいじよするため、人々は立ち上がった。
- (4) 市民の要望を政治にはんえいさせる。

--	--	--	--

- (5) 弟たちをともなつて野球場に行く。
- (6) 強い日差しをさけて木陰に入る。
- (7) 彼女は穏やかなびしよを浮かべた。
- (8) 禅智内供ははなの大きいことで有名だ。
- (9) この鳥は、おいにびんかんだ。
- (10) 駅前の八百屋は安くて新鮮だとひようばんだ。
- (11) 男の挙動にふしんを抱いてあとをつけた。
- (12) ちようの羽のふしぎな色彩に心を奪われる。
- (13) 医者は、彼の精神状態を細かくぶんせきした。
- (14) ぼくは、へいきんすると一日七時間眠っている。
- (15) 贈り物をきれいな紙でつつみ、リボンもかけた。
- (16) 委員会で決まったことを学級でほうこくする。
- (17) 来月首相がオーストラリアをほうもんする。
- (18) 彼女の提案にまよわず賛成した。
- (19) 時間をゆうこうに使いたい。
- (20) 泣いている子供をやさしく慰める。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ほくのハナだつて  
食へ物のおいには  
ピンカンだ。





第 13 日

12月23日

文学史 (3)

総合

第11・12日は、時代やジャンルに分けて文学史を学習しました。しかし、実際の入試では、どの時代、ジャンルに属するかを判断しなければなりません。第13日は、時代、ジャンルを考える問題からさらに広い時代、ジャンルにわたる総合問題に挑戦してみましよう。

基本例題

1 次の問いに答えなさい。

1は時代を考える問題で、特に入試によく出題されるものです。2は、三大随筆、三大和歌集に関する問題です。上段をしつかり覚えたら、下段に進みましょう。

(1)\* 山部赤人と同時代の作品を次の中から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 平家物語 (イ) 赤光 (ウ) 日本書紀 (エ) 源氏物語 (和歌山県)

(2)\* 「枕草子」と同時代の作品を次から二つ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 平家物語 (イ) 奥の細道 (石川県・一部改題) (ウ) 源氏物語 (エ) 万葉集 (オ) 徒然草 (カ) 古今和歌集

(3)\* 「宇治拾遺物語」は鎌倉時代にできた作品ですが、同じ時代にできた作品を次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 万葉集 (イ) 枕草子 (高知県) (ウ) 平家物語 (エ) 奥の細道

(4)\* 松尾芭蕉と同時代の俳人を次からふたり選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 小林一茶 (イ) 正岡子規 (沖縄県) (ウ) 高浜虚子 (エ) 山口誓子 (オ) 与謝蕪村

トレーニング

3\* 平安朝時代に書かれた作品を、次から二つ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 枕草子 (イ) 徒然草 (ウ) 奥の細道 (山梨県) (エ) 方丈記 (オ) 万葉集 (カ) 竹取物語

4\* 「江戸時代」に活躍した文学者名を、次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 清少納言 (イ) 紫式部 (滋賀県) (ウ) 吉田兼好 (エ) 井原西鶴 (オ) 森鷗外

5\* 与謝蕪村は江戸時代の有名な俳人であるが、他に江戸時代の代表的俳人を二人あげなさい。姓と号を漢字で記すこと。

[Blank box for answer]

[Blank box for answer]

「しつげさやきにしみ入る蟬の声」と「めでたさも中位なりおらが春」の作者だ。



(5)\* 「醒睡笑」は江戸時代に成立したものです。次の作品の中から江戸時代につくられたものを一つ選び、記号に○をつけなさい。

〔愛媛県／高知県類題〕

- (ア) 奥の細道 (イ) 徒然草 (ウ) 新古今和歌集 (エ) 枕草子

(1)は奈良時代、(2)は平安時代、(4)は江戸時代の作品や人物を選べばよいですね。次に三大随筆と三大和歌集を覚えておきましょう。

2 次の問いに答えなさい。

(1)\* 日本の古典の中で「三大随筆」といわれているものの作者名を後から選び、A・Bの空欄に記入しなさい。また、作品名をCの空欄に記入しなさい。

〔東大寺学園高・一部改題〕

	作者名	作品名
A		枕草子
B		方丈記
ト部兼好	C	

(2) 次から三大和歌集を選び、成立した時代に分けて「」に記入しなさい。

紫式部 清少納言 紀貫之 松尾芭蕉 鴨長明 西行法師

- ① 若菜集 古今和歌集 一握の砂 万葉集 新古今和歌集  
 ② 平安時代  
 ③ 鎌倉時代

6\* 次の文の□にあてはまる最も適当なことを(ア)～(オ)の中から一つ選び、記号に○をつけなさい。

〔福島県〕

「徒然草」は、清少納言の「枕草子」と並ぶ、わが国の代表的な□である。

- (ア) 紀行文学 (イ) 戦記文学 (ウ) 随筆文学 (エ) 説話文学  
 (オ) 物語文学

7\* 枕草子と同じ随筆文学を次から二つ選び、記号に○をつけなさい。

〔大分県〕

- (ア) 竹取物語 (イ) 源氏物語 (ウ) 今昔物語集 (エ) 大鏡  
 (オ) 方丈記 (カ) 平家物語 (キ) 徒然草 (ク) 奥の細道

8\* 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』は三大和歌集と言われるが、それぞれの和歌集の説明として正しいものを次の(ア)～(エ)から一つずつ選び、その記号を書きなさい。

〔高知県〕

- (ア) 十三世紀の初めに成立した歌集で、作者は源実朝（みなもとのさねと）であり、素朴な実感に根ざした発想と、自由で大胆な用語・句法の新鮮さに特徴がある。  
 (イ) 十三世紀の初めに編纂（へんさん）された歌集で、華やかで技巧に優れた歌が多い反面、この時代を反映してしめやかで内省的な傾向の歌もある。  
 (ウ) 十世紀の初めに編纂された歌集で、四季の風物や人の愛情などが機知に富んだ表現で優しくこまやかに歌われている。  
 (エ) 八世紀の後半ごろ編纂された歌集で、自然や人間に対する愛や情熱を率直におおらかに歌っている。

- ① 万葉集 (イ) (ウ) (エ)  
 ② 古今和歌集 (イ) (ウ) (エ)  
 ③ 新古今和歌集 (イ) (ウ) (エ)

トレーニング

9\* 「枕草子」の説明として正しいものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。  
〔福島県〕

- (ア) 平安時代に紫式部によって書かれた物語。
- (イ) 平安時代に清少納言によって書かれた物語。
- (ウ) 平安時代に清少納言によって書かれた随筆。
- (エ) 鎌倉時代に清少納言によって書かれた随筆。
- (オ) 鎌倉時代に紫式部によって書かれた物語。

10\* 次の中から軍記物語を一つ選び、記号に○をつけなさい。  
〔神奈川県〕

① 「軍記物語」とは、戦いをテーマにした物語のことです。

11\* 「古今著聞集」は、説話文学に属するが、これと同じ種類のものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。  
〔福井県〕

- (ア) 平家物語 (イ) 徒然草 (ウ) 万葉集 (エ) 源氏物語
- (オ) 今昔物語集

12\* 平安時代初期に紀貫之によって書かれた日記文学の書名は次のうちどれですか。一つ選び、記号に○をつけなさい。  
〔高田高〕

- (ア) 土佐日記 (イ) 枕草子 (ウ) 更級日記 (エ) 徒然草
- (オ) 十六夜日記



13\* 「新古今和歌集」について、次の問いに答えなさい。  
〔国立高専〕

(1) それはいつごろ成立したものですか。次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 奈良時代 (イ) 平安時代前期 (ウ) 平安時代後期
- (エ) 鎌倉時代 (オ) 室町時代

(2) それと同時代に成立した作品はどれですか。次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- (ア) 枕草子 (イ) 古事記 (ウ) 今昔物語集 (エ) 竹取物語
- (オ) 平家物語

14\* 「徒然草」と同じ時代で、同じ分野の作品と、その作者を次から選び、記号に○をつけなさい。  
〔早稲田高〕

- |        |          |           |          |
|--------|----------|-----------|----------|
| (1) 作品 | (ア) 花月草紙 | (イ) 今昔物語集 | (ウ) 枕草子  |
|        | (エ) 方丈記  | (オ) 十六夜日記 |          |
| (2) 作者 | (ア) 吉田兼好 | (イ) 阿仏尼   | (ウ) 松平定信 |
|        | (エ) 清少納言 | (オ) 鴨長明   |          |

15\* 「宇治拾遺物語」は今昔物語集より約百年ぐら以後に成立したものです。この「宇治拾遺物語」は文学の種類としては次のどれに属しますか。記号で答えなさい。  
〔立命館高〕

- (ア) 歴史物語 (イ) 説話 (ウ) 随筆 (エ) 紀行文

16\* 次のわが国の代表的な古典を、成立年代の古い順に並べるとどうなりま  
すか。正しいものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。〔福島県〕

- (ア) 源氏物語 ↓ 今昔物語集 ↓ 竹取物語 ↓ 平家物語
- (イ) 源氏物語 ↓ 竹取物語 ↓ 平家物語 ↓ 今昔物語集
- (ウ) 竹取物語 ↓ 源氏物語 ↓ 平家物語 ↓ 今昔物語集
- (エ) 竹取物語 ↓ 源氏物語 ↓ 今昔物語集 ↓ 平家物語
- (オ) 今昔物語集 ↓ 竹取物語 ↓ 源氏物語 ↓ 平家物語

17\* 作品の成立年時または作者の生存・活動年代を古い順に並べたものとし  
て正しいのは次のどれですか。記号に○をつけなさい。〔桐蔭学園高〕

- (ア) 万葉集 ↓ 新古今和歌集 ↓ 紫式部 ↓ 松尾芭蕉
- (イ) 柿本人麻呂 ↓ 枕草子 ↓ 平家物語 ↓ 井原西鶴
- (ウ) 大伴家持 ↓ 近松門左衛門 ↓ 平家物語 ↓ 小林一茶
- (エ) 源氏物語 ↓ 徒然草 ↓ 藤原定家 ↓ 与謝蕪村

18\* 次の問いに答えなさい。〔日本女子大附属高〕

(1) 次の作品の中から作者が男性であるものを選んで記号で答え、その作  
者名を書きなさい。

- (ア) 蜻蛉日記 (イ) 土佐日記 (ウ) 十六夜日記 (エ) 更級日記
- ① 単性による作品 ( )
- ② 作者名 ( )

(2) 次の作品の中から作者が女性であるものを選んで記号で答え、その作  
者名を書きなさい。また、鎌倉時代に書かれたものすべてを選び、記号  
で答えなさい。

- (ア) 徒然草 (イ) 方丈記 (ウ) 枕草子 (エ) 野ざらし紀行
- ① 女性による作品 ( )
- ② 作者名 ( )
- ③ 鎌倉時代 ( )

19\* 次の(1)～(3)の文学作品の作者を、後からそれぞれ選び、記号で書きな  
さい。〔群馬県〕

- (1) 道程 ( )
- (2) 坊っちゃん ( )
- (3) 枕草子 ( )
- (ア) 紫式部 (イ) 芥川龍之介 (ウ) 夏目漱石 (エ) 高村光太郎
- (オ) 島崎藤村 (カ) 清少納言

次は、奈良時代から  
現代までの  
広い時代にわたる問題だ。



20\* 次にあげる(1)～(4)の人物の作品を、後の(ア)～(ウ)の中から選び、それぞれ  
記号で答えなさい。〔京都女子高〕

- (1) 吉田兼好 ( )
- (2) 松尾芭蕉 ( )
- (3) 夏目漱石 ( )
- (4) 芥川龍之介 ( )
- (ア) 走れメロス (イ) 平家物語 (ウ) 吾輩は猫である
- (エ) 奥の細道 (オ) 杜子春 (カ) 源氏物語
- (キ) 徒然草 (ク) 道程

21\* 次の人物と関係あるものをA群B群からそれぞれ一つずつ選び、( )  
にA群、( )にB群の答えを記号で書き入れなさい。〔日出女子学園高〕

- (1) 紫式部 ( )
- (2) 夏目漱石 ( )
- (3) 太安万侶 ( )
- (4) 兼好法師 ( )
- 〈A群〉(ア) 吾輩は猫である (イ) 古事記 (ウ) 源氏物語 (エ) 徒然草
- 〈B群〉(ア) 奈良時代 (イ) 平安時代 (ウ) 鎌倉・室町時代 (エ) 明治時代

文学史をさらにくわしく勉強しようと思う人は、次の問題にチャレンジしましょう。

22.\* 次の問いに答えなさい。

〔慶應高〕

(1) 「万葉集」に關係のない歌人を選んで、記号に○をつけなさい。

- (ア) 柿本人麻呂 (イ) 山上憶良 (ウ) 藤原定家 (エ) 額田王

(2) 「小林一茶」は弱者への同情、強者への反抗を率直によんだ生活句を多く残しました。次は彼の作品ですが一句他の作者の作品があります。それを選んで、記号に○をつけなさい。

- (ア) 我と来て遊べや親のない雀  
 (イ) やれ打つな蠅が手をする足をする  
 (ウ) 旅に病んで夢は枯れ野をかけ廻る  
 (エ) めでたさも中位なりおらが春

(3) 「明治の新しい近代短歌」の改革をした人を次の歌人中より選んで、記号に○をつけなさい。

- (ア) 正岡子規 (イ) 斎藤茂吉 (ウ) 若山牧水 (エ) 与謝野晶子

23.\* 次の(a)~(d)の文について、「」には作者名を、「」には作品名を正しく書き入れなさい。

〔慶應女子高〕

- (a) つれづれなるままに、日暮らし硯にむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そ「はかどなく書きつくれば、あやしうこそ物狂ほしけれ。」  
 (b) 親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている。  
 (c) それから今度はトロッコを押し、もと来た山の方へ登り始める。  
 (d) 国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。

- (a) 「  
 (b) 「  
 (c) 「 トロッコ  
 (d) 「

24.\* 次の問いの「」に入るのに最も適当な語を後の(ア)~(エ)の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

〔豊島岡女子学園高・一部改題〕

(1) 行く春や鳥啼き魚の目は涙

この大旅行に備え、前年来、なまぐさものを断って心身を浄め、乞食の境涯を覚悟して出立した「」だが、世はまほろしと観じてはいても、さすがに知る人も多い江戸のちまたへの惜別の情は格別だった。

- (ア) 蕪村 (イ) 西行 (ウ) 一茶 (エ) 芭蕉

(2) ぬばたまの夜の更けゆけば久木生ふる清き川原に千鳥しば鳴く

「」に収められており、作者山部赤人は柿本人麻呂と並び称されてきた歌人。自然詠にすぐれていた。目も耳も深く澄んでいるのがその歌の特徴である。

- (ア) 万葉集 (イ) 古今和歌集 (ウ) 新古今和歌集 (エ) 金槐和歌集

(3) いくたびも雪の深さを尋ねけり

俳句の革新を目指した「」は脊椎カリエスでほとんど病床を離れ得なかった。珍しいほどの大雪が降ったという戸外の景色を思えば、いそぎつつ、何度も看護の母や妹に積雪の状態をたずねたのだ。

- (ア) 与謝野晶子 (イ) 夏目漱石 (ウ) 正岡子規 (エ) 高村光太郎

答え合わせをしたら、次のページの表を見ておきましょう。

||||||| チェックしよう 文学史 |||||

チェック欄を利用して、確実に覚えてしまいましょう。

※ 奈良～江戸時代の文学のまとめ ※

太字のものは、特に入試によく出題されます。

年	時代	和歌・俳諧(句)	物語	随筆	その他
710	奈良	<input type="checkbox"/> 万葉集 大伴家持 山部赤人 柿本人麻呂 山上憶良など			<input type="checkbox"/> 古事記 太安万侶 <input type="checkbox"/> 日本書紀 舎人親王
794		<input type="checkbox"/> 古今和歌集 紀貫之 小野小町 在原業平など	<input type="checkbox"/> 竹取物語 <input type="checkbox"/> 伊勢物語 <input type="checkbox"/> 源氏物語 紫式部	<input type="checkbox"/> 枕草子 清少納言	<input type="checkbox"/> 土佐日記(日記) 紀貫之 <input type="checkbox"/> 今昔物語集(説話)
1192	鎌倉・室町	<input type="checkbox"/> 新古今和歌集 藤原定家 西行法師など <input type="checkbox"/> 金槐和歌集 源実朝	<input type="checkbox"/> 平家物語 <input type="checkbox"/> 太平記 <input type="checkbox"/> 御伽草子	<input type="checkbox"/> 方丈記 鴨長明 <input type="checkbox"/> 徒然草 兼好法師	<input type="checkbox"/> 宇治拾遺物語(説話)
1603	江戸	<input type="checkbox"/> (俳諧) 松尾芭蕉 <input type="checkbox"/> (俳諧) 与謝蕪村 <input type="checkbox"/> (俳諧) 小林一茶	<input type="checkbox"/> (浮世草子) 井原西鶴 <input type="checkbox"/> 雨月物語 上田秋成 <input type="checkbox"/> 東海道中膝栗毛 十返舎一九		<input type="checkbox"/> 奥の細道(紀行文) 松尾芭蕉
1867					

※ 明治・大正・昭和の文学のまとめ ※

作品は、主なものに限られています。

時代	短歌・俳句	詩	小説
明治	<input type="checkbox"/> 与謝野晶子(歌人)「みだれ髪」 <input type="checkbox"/> 正岡子規 (歌人・俳人) <input type="checkbox"/> 若山牧水 (歌人) <input type="checkbox"/> 石川啄木 (歌人)「一握の砂」	<input type="checkbox"/> 島崎藤村 「若菜集」 <input type="checkbox"/> 上田敏 「海潮音」 <input type="checkbox"/> 北原白秋 「邪宗門」	<input type="checkbox"/> 二葉亭四迷 「浮雲」 <input type="checkbox"/> 樋口一葉 「たけくらべ」 <input type="checkbox"/> 森鷗外 「舞姫」「山椒大夫」 <input type="checkbox"/> 夏目漱石 「吾輩は猫である」 「坊っちゃん」「明暗」 <input type="checkbox"/> 島崎藤村 「破戒」「夜明け前」
	<input type="checkbox"/> 斎藤茂吉 (歌人)「赤光」	<input type="checkbox"/> 高村光太郎「道程」 「智恵子抄」 <input type="checkbox"/> 萩原朔太郎 「月に吠える」 <input type="checkbox"/> 室生犀星「抒情小曲集」 <input type="checkbox"/> 宮沢賢治 「雨ニモマケズ」	<input type="checkbox"/> 志賀直哉 「暗夜行路」 <input type="checkbox"/> 武者小路実篤「友情」 <input type="checkbox"/> 有島武郎 「生まれ出づる悩み」 <input type="checkbox"/> 谷崎潤一郎 「春琴抄」「細雪」 <input type="checkbox"/> 芥川龍之介 「羅生門」「鼻」 <input type="checkbox"/> 宮沢賢治 「風の又三郎」 <input type="checkbox"/> 川端康成 「伊豆の踊子」「雪国」 <input type="checkbox"/> 堀辰雄 「風立ちぬ」 <input type="checkbox"/> 太宰治 「走れメロス」「斜陽」
大正			
昭和	<input type="checkbox"/> 高浜虚子 (俳人)	<input type="checkbox"/> 三好達治 <input type="checkbox"/> 草野心平	

漢字／頻度順 二四一～二六〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

- (1) 匿名 □(2) 滞る □(3) 唱える
- (4) 眺める □(5) 鈍い □(6) 塗る
- (7) 逃れる □(8) 激しい □(9) 励む
- (10) きれ端 □(11) 発揮 □(12) 頒布
- (13) 繁茂 □(14) 浸る □(15) 風潮
- (16) 増える □(17) 平穩 □(18) 平生
- (19) 崩壊 □(20) 膨大

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

- (1) 来年の生産量をよそくする。
- (2) 道幅がせまいので車をとめておくよちがない。
- (3) 今日は午後からるすにします。
- (4) 目的地のいちを地図で確かめてから出発する。

--	--	--	--

- (5) 作者の伝えようとしているいとをつかむ。
- (6) こたつをかこんでみんなでかるたをする。
- (7) 高熱のため、いしきを失ってしまう。
- (8) 祖父ののこしたいさんを相続する。
- (9) 修学旅行のいんしょうを作文に書く。
- (10) 鏡に姿をうつしてみる。
- (11) うちゅう旅行も夢ではなくなってきた。
- (12) 先生はどんな質問にもおうじてくれる。
- (13) 雨のため試合がえんきになった。
- (14) 川にそつて下流に行くことやがて海に出る。
- (15) おんだんな気候のため一年中花が絶えない。
- (16) かのうなかぎり努力をしなさい。
- (17) 世界平和は人類にかせられた問題です。
- (18) 欠点をあらためるのは難しいことです。
- (19) いかつな彼はクラスの人気者です。
- (20) 戦後、農地いかくが行われた。

まちがえた字は  
きちんと書きあらためようね。



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◆ 言葉／慣用句 ④

チェックしよう

高校入試によく出題される慣用句をチェックします。解答の四圍にある由来も参考にしてください。

1 下の意味を表す慣用句を、後から選んで「」に書きなさい。

- (1) 「」  
〔用事の途中でむだ話をしたりして怠ける。〕
- (2) 「」  
〔その役目にふさわしくびったりしている。〕
- (3) 「」  
〔裏からあやつる。〕
- (4) 「」  
〔相手の方が優れていると認め一歩ゆずる。〕
- (5) 「」  
〔世間の注目の的となる。〕
- (6) 「」  
〔物事に決着がつく。〕
- (7) 「」  
〔あきらめて、やめてしまう。〕
- (8) 「」  
〔激しく争う。〕
- (9) 「」  
〔物事の進みぐあいを一段と速くする。〕
- (10) 「」  
〔じゃま者扱いにする。冷たくあしらう。〕
- (11) 「」  
〔知らないふりをしてほうっておく。〕
- (12) 「」  
〔すらすらとよどみなく話すこと。〕

そでにする	油を売る	糸を引く
けりがつく	脚光を浴びる	立て板に水
棚上げる	拍車をかける	しのぎを削る
板につく		

トレーニング

高校入試に出題された問題に挑戦します。終わったら、必ず答え合わせをしましょう。

2 次の一部の意味を、後から選んで記号に○をつけなさい。

(1)\* 世界地理で「チエコスロバキヤ」という地名を覚えたばかりの私は、おじさんがこの長くて言にくい外国の名を、まるで長年のつきあいのように口にするので、はじめから一目おいた。  
〔徳島県〕

- (ア) 不思議な気持ちで眺めた。 (イ) これはすごいぞと思った。
- (ウ) 意識してじっと見つめた。 (エ) 友達になれるぞと思った。

(2)\* まだごく若いのに、世慣れた、悟りきったようなことを言う人がいるが、それが板についている場合はまれであって、……。  
〔鹿児島県〕

- (ア) 見えすいている (イ) とりつくろっている
- (ウ) びったり合っている (エ) けじめがついている

3 次の□に適切な語句を後から一つ選び、記号に○をつけなさい。

(1)\* それ(スペイン風邪)はぐんぐん悪化し、宿痾の胃腸病がそれに拍車を  
□、九年二月初めには医者から危ないと言われた。〔神奈川県〕

- (ア) ひき (イ) おし (ウ) かけ (エ) さし

(2)\* 身体に関する語を用いた慣用句を十ばかり、□ごとく、すらすらと並べ立てられたら、りっぱな日本人であるという証明書をさしあげてもよい。  
〔難問〕

- (ア) 立て板に水の (イ) しのをけずる
- (ウ) 口車に乗る (エ) 耳にたこができる

第 14 日

12 月 24 日

作文 (1)

# 課題作文の基本

「課題作文」は、「○○○という題で作文を書きなさい」という形で出題される記述問題の王様です。字数は、百字から三百字程度です。

「課題作文」の配点は、百点満点中十点から二十点くらいで、かなり高い配点になっています。ですから、じっくり取り組んで、「課題作文」のコツを身につけておく必要があるわけです。

## 基本例題 1

上段の問題をやったあと、下段の説明を読んでおきましょう。  
\*のついたものは入試問題です。

■ 次のA・Bの課題作文の例題について、後の問いに答えなさい。

A\* 「出発」という題で、三百字以内の文章を書け。

〔大阪府〕

B\* 「ある日、学級で話し合ったこと」という題で、次の注意に従って文章を書きなさい。

〔山梨県〕

〔注意〕 ① 字数は二百四十字以内とする。

② 文章は二段落構成とし、前の段落には、中学校でのある日、あなたの学級で話し合ったことを、後の段落には、その話し合ったことについてのあなたの意見を書くこと。

③ 題名・氏名を書かないで、初めの行から書き始めること。

④ 原稿用紙の正しい使い方に従って書くこと。

(1) 次の中で、例題Aに書くべき内容としてふさわしくないものはどれですか。一つ選び記号で答えなさい。

(ア) 今、私たちは中学校生活を終え、新たな出発点に立とうとしている。節目ごとにやってくる人生の出発点を大切にしたい。

### 解説

次のことに注意して、課題作文を書きましょう。

「課題」をよく理解し、「主題」をはっきりさせて書く。

「課題作文」では、なぜこのような題で書かせようとしているのか、すなわち出題者の「意図」をしつかりと読み取ったうえで、「主題」（自分が一番書きたい事柄）をはっきりさせることが大切です。

例題Aを設問(1)をふまえて考えてみましょう。

例題A（「出発」）の出題意図は何でしょうか。この場合の「出発」は、単に「出かけること」ではないはずで、ある目標に向かって新しい一歩を踏み出すこと」が、ここで求められている「出発」なのです。

選択肢の(ア)は、いずれも人生における「出発」の意味が主題になっているので合格です。特に(イ)は、現在の自分の立場をふまえているので説得力があります。

(ウ)は、「出発」ではなく、「母親への感謝」が主題になっているので、書くべき内容としてふさわしくありません。

- (イ) 陸上競技では、どれだけよいスタートを切るかが勝敗の鍵である。人間は、何をやるときでも最初が肝心だと思う。
- (ウ) 朝、家を出るとき、母はいつも笑顔で私を見送ってくれる。この三年間楽しく過ごせたのは、そんな母がいてくれたからだ。

(2) 次は、例題Bの解答例ですが、示された条件を正しく守っていません。注意として示された①～④のうちのどの条件を守っていないのですか。番号で答えなさい。

一年生の二学期ごろから、クラスの忘れ物の数がぐんと増えてきた。最初、僕のクラスでは、班の中でお互いに注意し合うことにしていたが、それだけではやはり忘れ物は減らなかつた。話し合いの中で、班競争をして、一番忘れ物の少なかつた班を優秀班として表彰しようという意見も出たが、忘れ物はいつも決まった人がするのだから班競争なんてやっても意味がないという人もいて、なかなかよい方法が見つからなかつた。結局、三学期まで、同じ人が何度も忘れ物をするという状態が続いてしまい残念だつた。

課題につけ加えられた「条件」をしっかり守って書く。

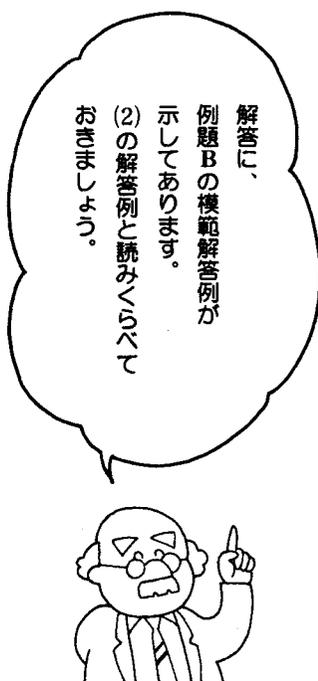
課題につけ加えられている「条件」には、

- ① 字数制限
  - ② 段落構成
  - ③ 題名の有無
  - ④ 原稿用紙の使い方
- などがあげられます。

例題Aでは①の字数制限だけが、例題Bでは①～④のすべてが条件として与えられていますね。

上段(2)の例題Bの解答例を検討してみましょう。

(2)の例題Bの解答例を見ると、②の二段落構成にしなさいという条件が守られていません。そのうえ、最後に「残念だつた」という感想があるだけで、話し合ったことについての意見も述べられていないことがわかります。



解答に、  
例題Bの模範解答例が示してあります。  
(2)の解答例と読みくらべておきましょう。

例題Bの注意にある二段落構成については、次のページで学習します。

基本例題 2

2

「読書」について、次の注意に従って書け。(解答欄は次ページ)

〔栃木県〕

〔注〕

- ① 題名は書かないこと。
- ② 二段落構成にし、前段は「自分の読書体験を中心とする段落」、後段は「読書に対する自分の考えを中心とする段落」にすること。
- ③ 字数は、二百四十字から三百字までとすること。

「課題作文」の解答欄は原稿用紙の形で与えられるのがふつうですから、指示のあるなしにかかわらず、いつも正しい使い方を守って書くようにします。

原稿用紙の使い方

書き出しや改行のときは一マスあける。

会話文の最後の「。」は一マスに書く。

ふつう会話文は改行する。

れ	賛	す	も	と		て	←	現
で	成	る	多	い		い		代
い	す	人	い	う		る		の
い	る	や	。	司		。		若
の	人	、	何	会				者
だ	が	よ	も	者				は
ら	ほ	く	意	の				、
う	と	考	見	声				話
か	ん	え	を	が				し
?	ど	も	言	、				合
?	な	せ	わ	教				い
私	の	ず	わ	室				が
は	だ	に	ず	に				苦
時	ほ	他	に	自				手
々	ん	の	分	勝				だ
疑	と	人	手	手				と
問	う	の	に	行				い
に	こ	意	動	く				わ
思		見		日				れ
う		に						

疑問符(?)や感嘆符(!)のあとは一マスあける。

句点(。)や読点(、)が行の頭にくるときは、前の行の最後の字と同じマスの中か、欄外に書く。

原稿用紙の使い方は、第2巻の第29日でもう一度学習します。

解説 次ことに注意して書きます。

二段落構成の書き方に慣れる。

上段②の「条件」について考えてみましょう。  
 課題作文で最も多いのが「二段落構成」で書けという指示です。これは、事実(体験やできごと)と意見を前段と後段に分けて書くのが大きな特徴です。  
 この例題の場合を図示すると、次のようになります。

前段……自分の読書体験

後段……読書に対する自分の考え

二段落構成をとることによって、意見がひとりよがりにならず、事実や経験に裏づけられた説得力のある文章になるわけです。

段落構成の指示がない場合でも、百字以上になったら、「二段落構成」で書くようにすると、まとまりのよい作文が書けるはずですよ。







◇ 漢字／頻度順 二六一～二八〇

1 漢字の横に読みを書きなさい。

- (1) 冒頭 □(2) 奔走 □(3) 免れる
- (4) 自ら □(5) 魅力 □(6) 専ら
- (7) 模倣 □(8) 唯一 □(9) 由緒
- (10) 容易 □(11) 流転 □(12) 雪崩
- (13) 飽きる □(14) 値する □(15) 操る
- (16) 幾重 □(17) 威厳 □(18) 意図
- (19) 引用 □(20) 伺う

2 部分を漢字に直して、□に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。

- (1) 実験の成功をかくしんしている。
- (2) 吹奏楽部への入部をすすめられる。
- (3) 群衆から晴れやかなかききの声が上がった。
- (4) きき一髪のところ、命が助かった。

--	--	--	--

- (5) 今後、どんなことがおこるか想像できない。
- (6) 英語のきそ的な構文を暗記する。
- (7) 運動きのうを測定する。
- (8) この物語は事実にもとづいて書かれた。
- (9) 建築のきじゅんが定められる。
- (10) 激しい波のよせる岩の上に立ち尽くす。
- (11) 交通きせいが緩和される。
- (12) ダンボール箱に本をつめる。
- (13) アフリカの飢饉をきゆうさいする。
- (14) 具体例をあげて説明してほしい。
- (15) 需要ときようきゆうのバランスが崩れる。
- (16) 製品の長所をきようちようする。
- (17) 二つの国のきようかいに大きな河がある。
- (18) 会社の今年度のきようせきを報告する。
- (19) 彼女はきんせいのとれた体つきをしている。
- (20) きよくたんな意見が、反発を招いた。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

意味を考えてから、漢字を書くようにしよう。



◆ 言葉／慣用句 ⑤

チェックしよう

高校入試によく出題される慣用句のチェックの最終回です。必ず正確に覚えるようにしましょう。

1 下の意味を表す慣用句を、後から選んで「」に書きなさい。

□ (1) 「」  
 「気が合う。」

□ (2) 「」  
 「本性を隠しておとなしそうに見せかける。」

□ (3) 「」  
 「小さな弱々しい声。」

□ (4) 「」  
 「そっくりであること。」

□ (5) 「」  
 「性質がさっぱりしている。」

□ (6) 「」  
 「次々と楽しい会話が行われる。」

□ (7) 「」  
 「じつと我慢してられない。」

□ (8) 「」  
 「金や権力があつて勢いがいい。」

□ (9) 「」  
 「いい加減なことを言つてごまかす。」

□ (10) 「」  
 「じやまをする。けちをつける。」

□ (11) 「」  
 「相手が話しはじめるようにしむける。」

□ (12) 「」  
 「まちがいがないように相手に確かめる。」

水をさす	猫をかぶる	念を押す	矢もたてもたまらず
馬が合う	水を向ける	お茶を濁す	蚊の鳴くような声
瓜二つ	話に花が咲く	羽振りがいい	竹を割ったよう

トレーニング

2 次(1)・(2)のそれぞれの文の意味を表す慣用句を、例にならつて「」の中にひらがな二字の動詞を入れて完成しなさい。  
 「青森県」

○ 人の言い分や意見などを聞く。――耳を「」かす「」

(1) 多くのものの中で、格別にすぐれている。――群を「」

(2) わきから邪魔をして物事を不調にさせる。――水を「」

3 〇に入れるのに適当な、使いならわされた言い方をしたことは(慣用句)を、五字以内で書きなさい。  
 「岡山県」

「話がにぎやかだった。」というのが、「話に〇。」となり、「ほまれを人に譲る。」というのが、「花をもたせる。」となり、「りっぱに仕事をやつのける。」というのが、「ひと花咲かす。」となるたぐいが、それである。

〇	〇	〇	〇
---	---	---	---

4 後の(ア)～(エ)のうち、〇にはどの言葉が入りますか。適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。  
 「岩手県」

なにかを欲しいと思つたら矢も楯も〇ほど欲しがる、…(途中省略)  
 …こういう人は、かりにどれほどたくさんいろんなことを知つていても、とても教養があるとは言えない。

(ア) とおらない (イ) わからない

(ウ) たまらない (エ) とまらない

これで慣用句の学習は終わりです。答え合わせをしなさい。

第 15 日

12月25日

第1日～第14日の総合

総合テスト

時間は50分

100点

第1日から第10日までは説明的文章の読解、第11日から三日間は文学史、第14日には作文を学習しました。そのほか、熟語の構成、四字熟語、慣用句といった言葉や、漢字も学習しましたね。  
今日は、どれくらい力がついたらかを試す総合テストに挑戦します。かなり長い文章も読みますが、制限時間内で、がんばりましょう。

1 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。(それぞれ記号を○で囲むこと)。(東京都)

我慢したらほめられたという経験を、子供時代に持っている人が多いだろう。あのおもちやが欲しいとねだって、おとなしく月末まで待つて買ってもらえた。注射や虫歯の治療に抵抗せず、泣かずに我慢できたといって、帰りにおもちやを買ってもらった。こういった類の経験は、我慢に報酬が与えられるということ共通している。反対に、我慢できなくて叱られた子供時代の経験を思い出す人も多いだろう。私の場合を言えば、来客が帰るまで待ちなさいと命じられたのに、待てずに「お腹空いたよお。」とおやつをねだって、あとでけんこつをもらった記憶がある。その時の私は、なぜこの客の時はいけなくて、あの客の時はお菓子に手を伸ばしても許されるのか、区別に納得がいらず、不満に思ったものである。①そのうちに私は、その場の雰囲気のようなものを嗅ぎ分けると、我慢するかしないかの手掛かりになることを学んだようだ。

(第一段)

我慢できてほめられ、我慢できなくて叱られたという経験は、人々が我慢を学ぶチャンネルの一つとなっていると考えることができる。我慢してその甲斐があったという経験は、我慢する習慣を形成する上で力を持つだろう。その反対に、我慢してもその甲斐がなかったという経験を重ねたなら、その人は我慢することはしなくなるだろう。②我慢はその効果、すなわちそれが引き起こす結果によって学習される、と考えることができる。(第二段)

我慢したら良いことがあったから我慢するようになったというのが、効果の法則あるいは結果による我慢の習得である。我慢しても少しも良いことがないのに我慢する人はいないだろう。ところで、良いこととは何だろうか。効果と良い結果と、とにかく本人に

(1) 【語句の意味】 ①「そのうちに私は、その場の雰囲気のようなものを嗅ぎ分けると、我慢するかしないかの手掛かりになることを学んだようだ。」とありますが、

ここでいう「嗅ぎ分ける」の意味に最も近いのは、次のうちではどれですか。

- (ア) 察知する
- (イ) 熟知する
- (ウ) 関知する
- (エ) 周知する

(4点)

(2) 【具体内容】 ②「我慢はその効果、すなわちそれが引き起こす結果によって学習される、と考えることができる。」とありますが、「我慢はその効果、すなわちそれが引き起こす結果によって学習される」とはどういうことですか。次のうちから最も適切なものを選びなさい。

(4点)

- (ア) 我慢することを繰り返し経験することによって、次第に我慢することのつらさが感じられなくなるということ。
- (イ) 我慢したことに対して報酬が与えられる経験を通さなければ、我慢の持つ本当の意味は分からないということ。
- (ウ) 我慢することの効果を経験することによって、我慢するかしないかの判断の手掛かりを身につけるということ。
- (エ) 我慢しても良い結果が得られないで我慢をやめたとき、

とって意味のあること、期待していたこと、歓迎すべきことが起こるから、あるいは予想された脅威が未然に防ぎ得たからこそ、次に再び我慢するのであろう。

(第三段)

そこで、良いことが起こったことによって、その行動——ここでは我慢すること——が再び起こりやすくなるという関係に注目すると、良いこととは、それを導いた行動、我慢を強めるという意味で、機能的に強化因子という言葉で表すことができる。何が本人にとって良いことかという問いは、したがって、何がその人にとってその行動、我慢への強化となるのか、と言い換えることができる。

(第四段)

強化となる出来事、つまり強化因子は、年少者と大人では異なる面があるのではなからうか。③大人にとつて良いと思えることと、年少者にとつて良いと思えることとは、何か重要な点で違いがあるように思える。その違いは何だろうか。子供は親の保護と管理の下で生活しているが、子供にとつては、親からほめられることと叱られないことが何よりの強化因子になるだろう。また欲しい品物をほうびに与えてくれるのも親である。「よく待っていたらね。ごほうびにおもちやを買ってあげよう。」などと親が言い、子供は大変に喜ぶ。このようなことから見て、子供の場合は強化因子が、大人たち、とくに親によって管理されていて、それを親の判断で与えてもらうという性質が強い。ところが大学生だったらどうだろう。親のほめ言葉が強化因子となることはあるとしても、もっと強力な強化因子がほかにあるのではなからうか。それは、一つには友人たちの評価であり、もう一つは、自分自身でその行動を評価することであろう。そこで、次のように考えることができる。何が、どのような性質のものが強化因子となるかは、人間の発達につれて変化する。そしてその変化は、一つには家庭から社会へという生活の広がりに対応し、第二には他者の管理から自己管理への自律の深まりに対応する。

(第五段)

かつて私の研究室で卒業論文を書くことになった学生の一人は、「根性ある」というせりふを大変に好む学生であった。彼は英文の論文一つ読み上げるたびに、「根性ある。」と自らをほめ、普段よりも高価な食事をとるのだった。彼は頑張る行動に対して、自ら強化因子——この場合は「根性ある」という自己評価と食事——を選択することで、頑張りを強化していったと考えることができる。この学生の例にも見られるように、人は、こうありたいという自分なりの目標を持っていて、その目標に近づいたかどうかで自分の行動を自分で評価し、近づき得たと判断すれば自分をほめるが、むしろ遠くなっていると判断す

我慢することの無意味さを知るようになるということ。

(3) 【内容吟味】——③「大人にとつて良いと思えること

と、年少者にとつて良いと思えることとは、何か重要な点で違いがあるように思える。」とありますが、筆者は年少者から大人にかけて我慢の強化因子はどのように変化すると説明していますか。次のうちから最も適切なものを選びなさい。

(4点)

(ア) 我慢の強化因子は、生活の広がりや自律の深まりに対応して変化する。

(イ) 我慢の強化因子は、親の保護の仕方や友人たちの評価によって変化する。

(ウ) 我慢の強化因子は、人間としての発達を自覚したことの喜びとともに変化する。

(エ) 我慢の強化因子は、親の判断で与えられるほめ言葉や評価を基準として変化する。

(4) 【指示する語句】——④「それは自己強化基準とか自己

評価基準と呼ばれ、モデル観察と強化の経験を通して身についたものと考えられる。」とありますが、「それ」に相当する内容として最も適切なのは、次のうちではどれですか。

(4点)

(ア) 他人の評価によって強化される我慢の基準。

(イ) 自分の判断で我慢の道を選択し、自分の目標と価値に照らして行う我慢の評価。

(ウ) 自分の我慢行動を自分で判断して自分で方向づけるための判断の基準。

(エ) 社会的モデルが見せてくれる我慢の見本。

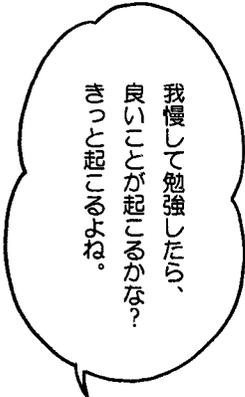
れば自分を叱る、そういう能動的・自律的生活者のようである。ここでは自分なりの目標は、行動目標として行動を動機づけるとともに、それが達成できたかどうかで行動を評価し、強化するための基準になっていることが分かるだろう。

(第六段)

我慢の習得の初期には、我慢の見本を見せてくれる社会的モデルの存在と、我慢したことをほめて我慢に強化を与えてくれる、社会化のエージェント(担い手)の存在が不可欠であろう。しかしそのような観察経験と直接経験を重ねるうちに、人々は次第に他人に依存しなくても我慢を学ぶようになる。すなわち、自分の判断で我慢の道を選択し、自分の目標と価値に照らして自分の我慢を評価し、更に我慢を重ねたり、別の我慢の方法を工夫したりするようになっていく。自分の我慢行動を自分で判断して自分で方向づけるためには、そうするための判断の基準が個人の中にでき上がっている必要がある。④それは自己強化基準とか自己評価基準と呼ばれ、モデル観察と強化の経験を通して身についたものと考えられる。そして自分の中に基準ができ上がっていくにつれて、他者への依存を卒業し、自分の判断で自分の行動を調整できるようにになっていく。自己評価基準によって自分の行動を調整する過程は、自分で良しとする行動を再び選び、良くないとする行動を次には自己修正する過程、自己強化(自分で自分の行動に強化因子を伴わせること)によって動いていると考えることができる。我慢が足りなかったと自己評価した後ではより我慢強くなり、我慢しすぎと判断したなら、次には我慢を控えるであろうことが予想される。また自分の我慢について考えて自己評価する人は、我慢について考えない人より我慢強く、我慢上手になり得る可能性が大きいと言えるだろう。

(第七段)

(福島脩美「我慢を学ぶ」より)



(5) 【段落相互の関係】 第五段と第六段との関係を説明したものとして適切なものは、次のどれですか。(4点)

(ア) 第五段で述べた内容に対して、第六段ではそれとは反対の内容を示して話題の転換を図っている。

(イ) 第五段で述べた内容を受けて、第六段ではその具体例を挙げて論の内容を分かりやすく説明している。

(ウ) 第五段で述べた内容を受けて、第六段ではそれとは別の内容を付け加えて論の展開を図っている。

(エ) 第五段で述べた内容に基づいて、第六段ではそれを順序よく整理して問題の所在を明らかにしている。

(6) 【要旨】 この文章の中で述べていることと合っているものを、次の(ア)～(オ)のうちから二つ選びなさい。(各2点、計4点)

(ア) 来客が帰るまで待ちなさいと親に命じられたのに待てないのは、我慢に対する報酬が約束されていないからである。

(イ) 我慢する習慣を形成する上で効果的な方法は、我慢してもなんの甲斐もないという体験を繰り返し持つことである。

(ウ) 我慢は、本人にとって意味のあることが起きて強化されるよりも、脅威を未然に防ぐことで強化されるものである。

(エ) 自分なりの目標は、行動目標として自分の行動を動機づけるとともに、行動を評価し強化する基準となるのである。

(オ) 人は、自分の中に基準ができ上がると、他人に依存することなく自分の判断で我慢を調整するようになるのである。

2 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

〔大阪府〕

人間の精神的な成長は、全くの真空状態のなかでは可能にはならぬし、むしろさまざまの体験を自己のなかにとり入れて、適応して行く過程のなかでのみ可能になるのだ。

そのことに気づいたのは、ぼくが孤独を愛し始めて数年経ってからのことだった。孤独が、外界の拒否が、もし自己の弱さをおしくす方便にすぎないとしたならば、その孤独は必ずしも健康であるとは言えないだろう。自己は棄てきれぬが、不断に自己中心な思考形式のうちのみとらわれていたならば、それはかえって自己の精神にとって有害である。それは、狭いわくのなかに自分を限定してしまうことになってしまふから。そこから

① 精神の必要も言えることになる。友情と愛、人間と人間を結びつける連帯の方向へと向かうことは、従って、自己に馴れる危険から自分を救い出すことになるだろう。

もちろん、② その場合でも、きびしい孤独の意識は不断に自己の内にある方がよい。孤独を大切にしながら、しかも連帯の素晴らしさを知り得るか、と、あるいは問い返されるかもしれない。だが、ぼくの考えによれば、この孤独を大切にすることと、連帯を信じるということとは、決して矛盾し合うものではない。連帯に過度の期待をかけ、そのことだけを重んじようとするから、かえって裏切られ、反動的に孤独に馴れようとするのではないか。連帯の感情は温かく、心をなごやかにする。そして、孤独を意識すればこそ、この連帯の貴重さも一そうひと味わえるのではないか。

孤独が、単純に自分以外の一切のものの拒否と考えられるうちは、その孤独は感情的な孤独である。理性的に考えられた孤独は、決して一方的な拒否ではない。

（小海永二「生きる悩みの中から」より）

(1) 【比喩吟味】本文中に、外界とのかかわりがないありさまをたとえていったことばがあります。そのことばをぬき出して書きなさい。（四字）


(2) 【語句の補充】①に最もよくあてはまることばを次から一つ選び、記号を○で囲みなさい。（3点）

- (ア) 孤独に徹する
- (イ) 外界を無視する
- (ウ) 孤独を拒否する
- (エ) 外界と対決する

(3) 【内容吟味】——②「その場合でも、きびしい孤独の意識は不断に自己の内にある方がよい」とありますが、ここで筆者が肯定したのはどのような孤独ですか。本文中からひとつづきのことばをぬき出して書きなさい。（十一字）


(4) 【要旨】次のうち筆者が本文で述べていることに最も近いと考えられるものはどれですか。一つ選び記号を○で囲みなさい。（4点）

- (ア) 人は、連帯を信じるために外界の一切を拒否して孤独になる必要がある。
- (イ) 人間の精神的な成長は、孤独に耐えるきびしい体験によってのみ可能となる。
- (ウ) 人は、孤独を意識しなくなったときはじめて真に連帯を理解したといえる。
- (エ) 人は、孤独を大切にしながらも連帯の方向へと向かうとき精神的に成長する。

3 【文学史】 次の(1)～(7)の問いに答えなさい。(各2点、計14点)

(1) 我が国の代表的古典である「枕草子」・「おくのほそ道」・「徒然草」を、成立年代の古い順にならべるとどうなりますか。正しいものを、次の(ア)～(オ)の中から一つ選び、記号を書きなさい。  
〔福島県〕

- (ア) 徒然草——枕草子——おくのほそ道
- (イ) 徒然草——おくのほそ道——枕草子
- (ウ) 枕草子——おくのほそ道——徒然草
- (エ) 枕草子——徒然草——おくのほそ道
- (オ) おくのほそ道——枕草子——徒然草

(2) 「枕草子」の作者はだれですか。次の(ア)から(エ)までのの中から一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。  
〔愛知県・一部改題〕

- (ア) 鴨長明 (イ) 紀貫之 (ウ) 紫式部 (エ) 清少納言

(3) 次の文の□に入る作者名を書きなさい。  
「おくのほそ道」は、江戸時代前期の俳人□によって書かれたものである。  
〔福島県〕

□

(4) 「徒然草」の作者名を書きなさい。  
〔大阪府〕

□

(5) 「太平記」「平家物語」「方丈記」の三つの作品は、鎌倉・室町時代のものですが、わが国の三大歌集のうち、これらと同時代の歌集名を漢字で書きなさい。  
〔奈良県〕

□

(6) 次のの中から夏目漱石の作品を一つ選び、その記号を書きなさい。  
〔福井県〕

- (ア) 走れメロス (イ) しろばんば (ウ) 最後の一句
- (エ) 吾輩は猫である (オ) 夕鶴

(7) 森鷗外の作品を次から一つ選び、その記号を答えなさい。  
〔穎明館高・一部改題〕

- (ア) 山椒大夫 (イ) 坊っちゃん (ウ) 羅生門 (エ) 走れメロス

4 【熟語の構成】 次の(1)・(2)の熟語と同じ構成になっている熟語を、後から選び、それぞれ記号を書きなさい。(各2点、計4点)

(1) 広大 (イ) 偉人  
〔愛知県〕

- (ア) 腹痛 (イ) 帰宅 (ウ) 安泰 (エ) 偉人

(2) 隣人 (イ) 鳥獣 (ウ) 土器 (エ) 所望 (オ) 既成  
〔佐賀県〕

- (ア) 繁栄 (イ) 鳥獣 (ウ) 土器 (エ) 所望 (オ) 既成

○ 「隣人」は上の語が下の語を連体修飾したもの。

5 【四字熟語】 次の四字熟語の空欄には、いずれも数字がはいります。一から十の数字を書き入れなさい。  
〔桐蔭学園高・一部改題〕

(各2点、計10点)

(1) □ 苦 □ 苦 (2) □ 里霧中

(3) □ 石 □ 鳥 (4) □ 転 □ 倒

(5) 十人 □ 色

6 【慣用句】 次の(1)・(2)のそれぞれの文の意味を表す慣用句を例にならって、「」の中にひらがな三字の動詞を入れて完成しなさい。(青森県)

(各2点、計4点)

- ① ひろがっている目標をせげめ限定する。—— 的を「しぼる」  
 (1) 細かい点まで十分に注意する。—— 念を「  
 (2) あいまいにして、その場を取り繕う。—— お茶を「

7 【漢字の読み】 次の(1)～(5)の——部分の読みを「」に書きなさい。

(各2点、計10点)

- (1) 先生の質問を聞いて納得した。 「  
 (2) 隣の部屋に人の気配がする。 「  
 (3) 紛<sub>ら</sub>わしい言い方をしないで欲しい。 「 らわしい」  
 (4) あなたには思いやりが欠<sub>か</sub>如<sub>じ</sub>している。 「  
 (5) エチケットに反することは慎<sub>ま</sub>みなさい。 「 み」

8 【漢字の書き】 次の(1)～(5)の——部分を漢字に直して、に記入しなさい。必要なものには、送りがなもつけること。(各2点、計10点)

- (1) 博士のせんもんは、哲学です。  
 (2) ふく<sub>ぞ</sub>つな問題を解決する。  
 (3) 家から駅までおう<sub>ふ</sub>くで一時間かかる。  
 (4) こんな所にごみをすててはいけません。

--	--	--	--

(5) 妹をさそって映画を見に行った。

9 【作文】 今、いろいろなところで「手づくり」という言葉が使われています。これは、ものが大量に出まわり、だれでも一樣に同じものを持つようになった結果、逆に個性的なものや味わいのあるものなどが見直されるようになって、最近注目されてきた言葉です。

このことを参考にして、私たちの生活の中から「手づくり」に関連した具体的な例をあげ、そのことについてのあなたの考えを、「作文上の注意」(1)～(4)に従って書きなさい。(解答用紙は次ページ。)

(岩手県)

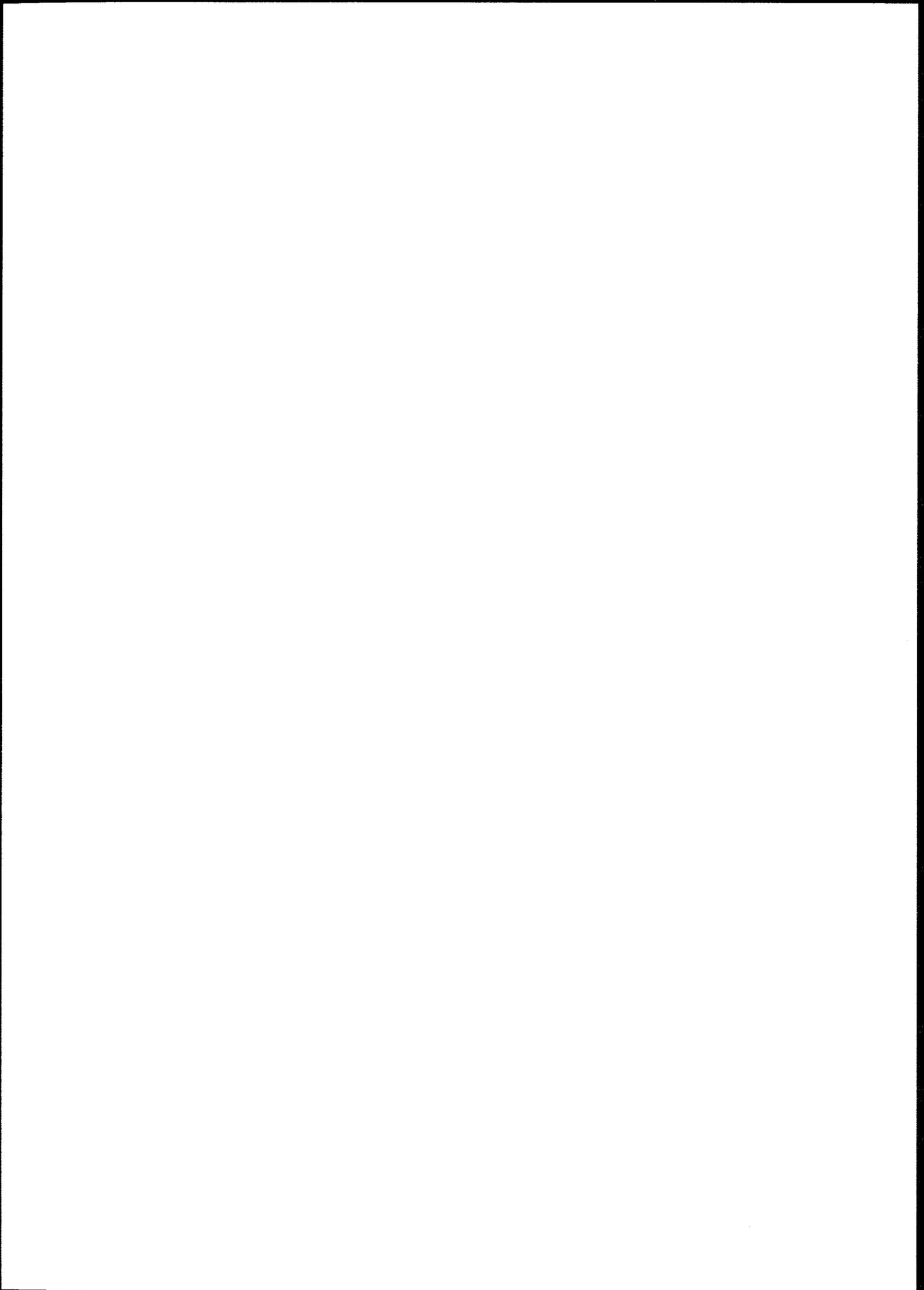
(10点)

【作文上の注意】

- (1) 二つの段落で構成すること。  
 (2) 第一段落では、「手づくり」について、見たり、聞いたり、おこなったりしたことなどを具体的に書くこと。  
 (3) 第二段落は、第一段落の内容をもとに自分の考えを書くこと。  
 (4) 原稿用紙の正しい使い方に従い、全体を五行以上七行以内にまとめること。







キョーイクソフト

発行人 加藤 譲  
発行所 株式会社 キョーイクソフト

TRAINING PAPER  
**DAILY PROGRAM**

高校入試60日間デイリープログラム

**中学3年 国語**

Printed in Japan